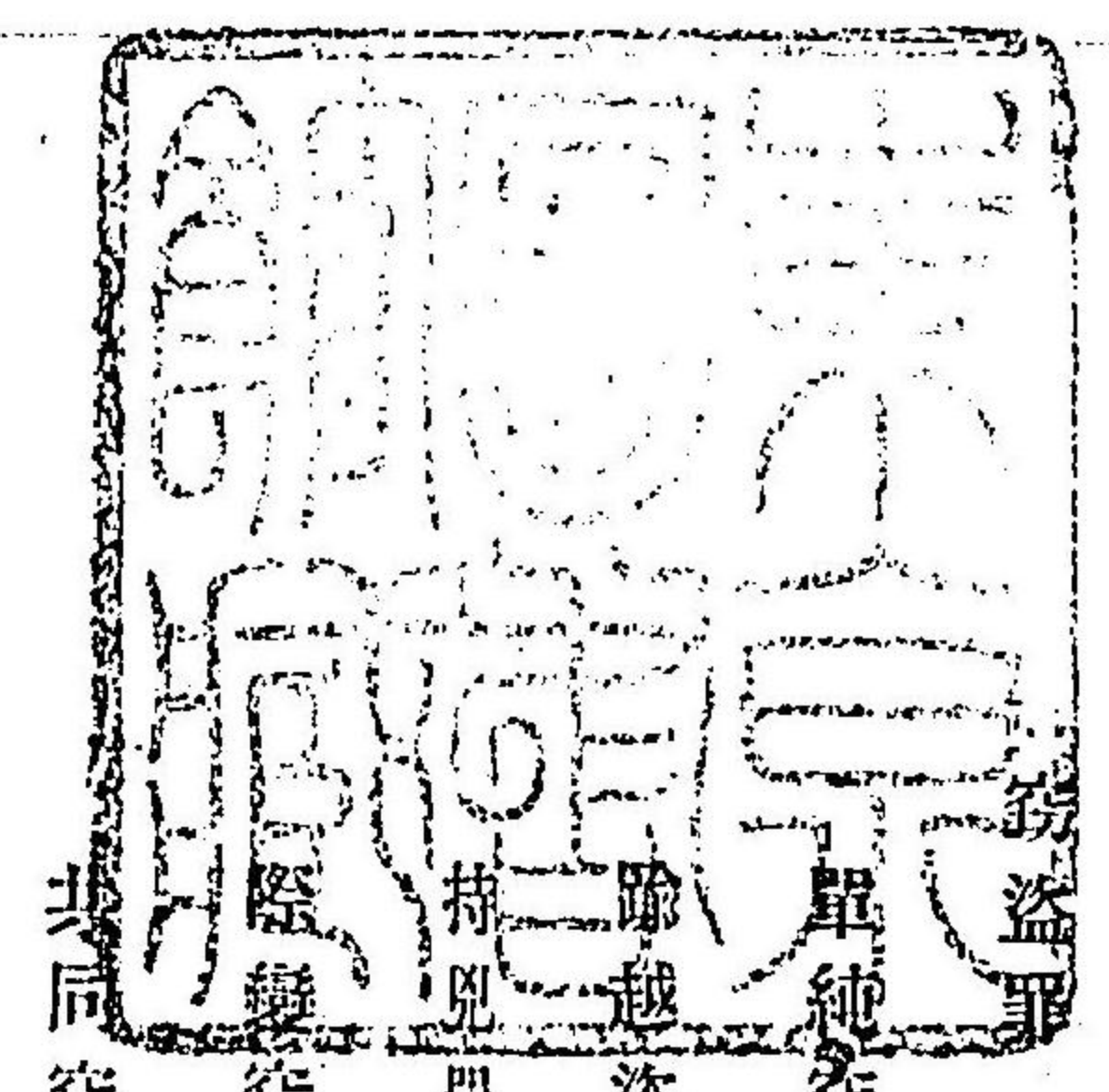


No 23039/22

刑法(本邦)(各論ノ部)

目次

私權利ニ對スル罪



- 竊盜罪
- 單純竊盜
- 踰越盜並鎖鑰盜
- 持器竊盜
- 變竊盜
- 共同竊盜
- 田野盜
- 山林盜河海盜

刑法(本部)(各論ノ部)目次

- 三丁
- 四丁
- 一五丁
- 一六丁
- 一七丁
- 一八丁
- 二〇丁
- 二一丁
- 二二丁

牛馬盜

二三丁

親族盜

全

其他ノ竊盜

二六丁

受寄財産費消罪

二六丁

強盜ノ罪

三四丁

詐欺取財ノ罪

三七丁

詐欺取財ノ種類

四六丁

家資分散ニ關スル罪

四九丁

贓物ニ關スル罪

五三丁

遺失物及埋藏物ニ關スル罪

五九丁

遺失物ニ關スル罪

全

二

五三

埋藏物ニ關スル罪

六四丁

財産毀損ノ罪

六六丁

生命ニ對スル罪

七三丁

總說

全

謀殺故殺ノ罪

八三丁

自殺ニ關スル罪

八八丁

過失殺

全

墮胎ノ罪

八九丁

身體ニ對スル罪

全

毆打創傷ノ罪

全

自由ニ對スル罪

九二丁

五三



脅迫ノ罪

全

逮捕監禁ノ罪

九四丁

幼者老疾者ヲ遺棄スル罪

九八丁

零取誘拐ノ罪

全

名譽ニ對スル罪

一〇一丁

祖父母父母ニ對スル罪

一〇三丁

祖父母父母ニ對スル通常罪

全

子孫孝養ヲ欠クノ罪

一〇四丁

社會ニ對スル罪

全

社會ノ靜謐ヲ害スル罪

一〇五丁

兇徒聚衆ノ罪

全

家宅侵入ノ罪

一一一丁

社會ノ危難ヲ醸成スル罪

一一八丁

放火失火ノ罪

全

決水ノ罪

一二六丁

船舶ヲ覆没スル罪

一二九丁

社會ノ健康ヲ害スル罪

一三〇丁

往來通信ヲ妨害スル罪

一三三丁

商業及農工ノ業ヲ妨害スル罪

一三七丁

公務ヲ行フコトヲ拒ム罪

一三九丁

公ノ信用ヲ害スル罪

一四一丁

貨幣ヲ偽造スル罪

全

貨幣偽造變造ノ罪

全 六

偽造貨幣ヲ收受行使スルノ罪

一五二丁

文書偽造ノ罪

一五三丁

印章偽造ノ罪

一六一丁

免狀鑑札及疾病證書ヲ偽造スル罪

一六三丁

度量衡ヲ偽造スル罪

一六五丁

身分ヲ詐稱スル罪

一六六丁

風俗道義ヲ紊乱スル罪

一六八丁

偽證ノ罪

全

誣告ノ罪

一七四丁

賭博犯及富籤興行ノ罪

一七七丁

賭博犯

全

富籤興行ノ罪

一八〇丁

猥褻姦淫重婚ノ罪

一八一丁

猥褻ノ罪

全

姦淫ノ罪

一八四丁

重婚ノ罪

一八八丁

宗教ニ關スル罪

一九〇丁

宗教ヲ蔑如スル罪

全

死屍ノ毀棄及墳墓發掘ノ罪

一九一丁

皇室ニ對スル罪

一九四丁

皇室ニ對スル國事犯

一九六丁



皇室ニ對スル常事犯

八

國家ニ對スル罪

一九八丁

國事犯

全

國事犯ノ性質

全

内乱ニ關スル罪

二〇三丁

外患ニ關スル罪

二一三丁

外國ニ對スル罪

二一五丁

官權ノ執行ニ抗スル罪

二一八丁

官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

二一九丁

抗命ノ罪

全

官吏侮辱ノ罪

二二二丁

囚徒逃走ニ關スル罪

二二四丁

罪人藏匿ニ關スル罪

二二八丁

附加刑ノ執行ヲ逃ル、罪

二三一丁

官ノ封印ヲ破毀スル罪

二三二丁

政權執行ニ關スル罪

二三三丁

公撰ノ投票ヲ偽ハル罪

全

官吏瀆職ノ罪

二三五丁

總說

全

官吏公益ヲ害スル罪

二三七丁

官吏人民ニ對スル罪

二四〇丁

官吏財産ニ對スル罪

二四五丁



違警罪

總說

刑典ニ於テ認メタル各種ノ違警罪

刑典以外ノ違警罪

一〇

二四六丁

全

二五〇丁

二五四丁

刑法(本邦)各論ノ部目次完

六〇

刑法(本邦)各論ノ部

法學士 江木 衷 講義

第一回



今ヤ各論ヲ講述スルニ當リ其講述ノ方法ハ汎論ト同一ノ方法ヲ採リ學術上ヨリ  
刑法原理ヲ研究スルヲ以テ目的トスルカ故ニ條ヲ逐フテ之ヲ講セス

日本刑法ノ順序ヲ見ルニ其第二編以下ニ於テ犯罪ヲ三ケニ區別セリ即チ第一公  
益ニ關スル重罪輕罪第二身體財産ニ對スル重罪輕罪第三違警罪是ナリ而シテ又  
之ヲ章ニ分テ章ヲ分テ節トセリ此區別タル果シテ如何ナルモノヲ根據トシテ立  
テタルカ余ハ其根據ヲ見出スニ苦ムナリ凡ソ犯罪ヲ構成スルニハ嘗テ汎論ノ部  
ニ於テ述ベタル如ク犯罪タル所爲ノ外三ケノ元素ヲ必要トス主体物体手段是ナ  
リ然ラバ則チ犯罪ヲ種別スルニハ宜シク所爲若クハ此三者ノ中ニ付テ區別ヲ立  
ツルヲ以テ至便ナリトス然ルニ本邦刑法ハ此等學理的ノ順序ヲ外ニシ専ラ便利  
上ヨリ區別シタルカ故ニ學理上ニ於テハ首尾轉倒スルノ嫌ナキニアラサルカ如  
シ今學理上ヨリ其一二ノ例ヲ舉示セハ人ノ身體ト生命トヲ混一シタリ則チ身體



ニ對スル罪篇中毆打犯ノ如キハ元ヨリ身体ニ對スルモノナリト雖モ謀殺故殺ノ罪ノ如キハ人ノ生命ニ對スルモノニシテ身体ニ對スルモノトハ言ヒ難カルヘシ又擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪ノ如キハ人ノ自由ヲ奪フノ罪ニアラスヤ猥褻姦淫ノ罪ノ如キハ風俗ニ關スル罪ナリ人身ニ對スルモノニアラス誹毀ノ如キハ名譽ニ對スルモノナリ然ルニ皆之ヲ身体ニ對スル罪編中ニ混入セリ又財産ニ對スル罪編中ニ付テ見ルニ即チ放火失火ノ如キハ世上公益ノ危難ニ關スルモノナレハ之ヲ公共ノ危難ニ關スル罪中ニ入ル、ヲ以テ至當ト爲サ、ルヘカラス若シ夫レ財産ニ對スル罪トセハ人家ヲ燒毀シテ直ニ自首シ其家屋ヲ建造償還スルニ於テハ總則第八十八條ニ由リ減刑セサルヘカラス是豈ニ學理ヲ得タルモノナランヤ其他身体ニ對スル罪編中祖父父母父母ニ對スル罪ヲ置キ父母ヲ以テ身体ト同視セルカ如キハ毫モ其理アルヲ知ラス故ニ余ハ此各論ヲ講スルニ全ク學術的ノ順序ニヨリ別ニ區別ヲ立テントス

本邦刑法ハ其重キモノヲ先キニシ輕キヲ後ニセリ是即チ立法官ノ立ツル順序トシテハ甚ダ可ナルカ如シ然レトモ學理上ヨリ論スルトキハ單純ノモノヲ先ニシ

私權利ニ對スル罪

テ復雜ノモノヲ後ニシ簡ヨリ煩ニ入り易ヨリ雜ニ進ムハ蓋講述ノ順序ニ於テ甚共當ヲ得タルモノナリ故ニ故殺ヲ先ニシテ謀殺ヲ後ニシ竊盜ヲ論シテ強盜ニ及ホサ、ルヘカヲサルノミナラス一般ノ順序ヨリスルモ國事犯ノ如キハ諸種ノ罪ヲ合蓄スル覆雜罪ナルカ故ニ最後ニ之ヲ論述スヘシ故ニ第一篇ニ私權利ニ對スル罪第二篇ニ公權利ニ對スル罪ヲ論スル等ノ如ク一ニ學理的ノ順序ニ依ラントスルナリ

○私權利ニ對スル罪

私權利ニ對スル罪ヲ分テ左ノ五種トス

- 第一 財産ニ對スル罪
- 第二 生命ニ對スル罪
- 第三 身体ニ對スル罪
- 第四 自由ニ對スル罪
- 第五 名譽ニ對スル罪

右ノ順序ニ從ヒ先ツ財産ニ對スル罪ヨリ論述セン

刑法(本邦)(各論ノ部)



○窃盜罪

窃盜ニ付學術上ノ定義ヲ與ヘルトキハ窃盜トハ他人ニ屬スル有形動産ヲ不正ニ領得スルノ意ヲ以テ之ヲ窃取スルノ所爲ナリトス今之ヲ解剖セハ

(第一) 窃盜罪ノ物体タルヲ得ヘキモノハ他人ノ占有内ニアル他人ノ有形動産ヲラサルヘカラス

尙之ヲ細説スルトキハ

(甲) 他人ノ占有内ニアルヲ要ス

他人ノ物件ニシテ自己ノ占有内ニ在ルモノハ背信罪又ハ受寄財産費消罪トナルモ窃盜罪ヲ構成セス又何人ノ占有ニモ歸セサルモノナルトキハ遺失物藏匿罪トナルモ盜罪ダラス

爰ニ注意スヘキハ占有ト監督トノ二者是ナリ學者或ハ之ヲ混同シテ論スルコトアリト雖モ宜シク之カ區別ヲ爲サ、ルヘカラス固ヨリ此占有ト云ヒ監督ト云ヒ各國法律ノ規定ニヨリ一定セスト雖モ本邦刑法ニ於テハ嚴ニ此二者ヲ區別セサルヘカラサルノ必要アリ

例ヘハ下婢カ主人ノ物品ヲ盜取シタルトキ又ハ山林ノ管守人其山林ノ木材ヲ盜取シタル場合ノ如キハ窃盜タルヤ否ヤ此場合ニ於テハ其雇使スル處ノ下婢ハ鍋釜茶碗等ノ什器ヲ管督ス又山林ノ管守人ハ其山林ヲ管督スルモノニシテ盜取ノ所爲ハ窃盜タルコアラステ何トナレハ先キノ理論ニ反スレハナリ然レトモ本邦刑法ニ於テハ之ヲ以テ窃盜トセリ何トナレハ其下婢及山林ノ管守人ハ其管督權ヲ有スルモ占有權ハ尙主人ニ屬スルモノナルカ故ニ其處爲ハ盜罪タルニ相違ナクレハナリ又余或ル封鎖シタル箱ヲ某ニ預ケタルニ某ハ其箱中ノ財物ヲ収取シタルトキハ是亦窃盜タリ何トナレハ其箱ハ自己ノ管督内ニアルモ占有權ハ委託者ニ存スレハナリ尙一步ヲ進メテ之ヲ説明センニ主人ハ特更其下婢ニ向ヒ此物件ヲ汝ニ委託スト明言シタルトキハ下婢タルノ資格ヲ脱シテ一人ノ資格ヲ有スルカ故ニ若シ之レヲ盜取スルモ窃盜トラサルナリ又嘗テ質入シタル品物ヲ更ニ新ナル廉價ノ品物ト取替ヘタル場合ノ如キハ他ノ犯罪ヲ構成スルモ窃盜トラサルナリ尙占有權ノ問題ニ付テハ困難ナル議論アリ例ヘハ漁獵ノ場合ニ於テ網ヲ投シテ漁スルノ際他人來リテ其魚ヲ取りタルトキハ盜罪タルヤ否ヤ又獸類ヲ獵シタル



者之ヲ追掛クルノ際横取スル者ハ盜犯者タルヤ否ヤ此等ノ事柄ハ一ニ民法ノ規定如何ニ屬スルモノニシテ刑法ノ關スル所ニアラサルナリ  
 尙注意スヘキノ一事アリ凡ソ竊盜ハ他人ノ占有内ニアル有形動産ヲ盜ムノ所爲ナリ其被害者ハ所有者タルヤ將占有者タルヤノコト是ナリ此ノ點ニ付テハ大ニ議論アリト雖モ予カ考フル處ヲ以テセハ其物件他人ノ所有物ニシテ正當ノ占有物タルトキハ假令占有者ノ所有ニアラサルモ之レカ被害者ハ占有者ナリトス例セハ質入シタル物品ヲ盜奪シタルモノアルトキハ何人ヲ以テ被害者ト爲ス乎刑法第四十八條ニ從ハ、贖物ハ被害者ニ還付ストアリ今此場合ニ於テ若シ質入主ヲ以テ被害者トスルトキハ所有主即チ質入主ニ還付セサルヘカラス若シ果シテ然リトセンカ質取主ハ保證物件ヲ奪却セラレ唯ニ貸金ノ訴ヲ爲シ得ルニ止マリ加之質取主ハ其物品ヲ所有主ニ賠償スルノ義務ハ民法上ヨリ其責任ヲ負擔セサルヘカラス果シテ然ラハ質取主ハ其權利ヲ失フノミナラス却テ質入主ニ對シ之レカ賠償ヲ爲サ、ルヘカラサルノ不幸ニ陷ル可シ故ニ本條ノ所謂被害者ナル語ハ通常所有者ナリト雖モ正當ノ占有者アル場合ニ於テハ所有者ニアラスシテ占有者ナ

リトス又治罪法第三百八條ニ被告入刑ノ言渡ヲ受ケタルト否トチ問ハス沒収ニ係ラサル差押物品ハ所有主ノ請求ナシト雖モ之ヲ還付スルノ言渡ヲナスヘシトアリテ文中ノ所有主ナル語ハ正當占有者ナキ時ノ事ニ解セサル可ラス  
 盜人他ノ盜犯者ノ物件ヲ盜ミタルトキハ被害者ノ地位ニ立ツモノハ誰ナルヘキヤ此場合ニハ正當ノ占有者ヲ有セサルヲ以テ被害者ハ必ス正當ノ所有主タラサルヘカラス然レトモ盜人ニアラス若シ正當ノ占有者ナルトキハ英國法ニ於テハ占有者所有者共ニ被害者ナリトセリ之カ外面ヨリ見ルトキハ稍疑ヲ生スヘシト雖モ仔細ニ考フルトキハ固ヨリ被害者ト雖モ一人ニ止ルコトナケレハ別ニ怪ムニ足ラサルナリ  
 動産不動産ノ區別ハ畢竟民法上ニ用ルコトニシテ刑法上ニ適用スルコトナシ刑法ニ於テハ凡テ移轉スルコトヲ得ルモノハ皆動産トスルカ故ニ園圃ノ木石ニ至テモ動カシ得ルヲ以テ動産トナシ盜罪ノ物件トナスナリ然レトモ英國ノ慣習法ニ於テハ動産ナル言ヲ嚴格ニ解釋スルヲ以テ苟モ不動産ニ付着スルモノハ盜罪ノ物件ニ非ストセリ



獨逸刑法第三百七十條ヲ按スルニ殆ト英國慣習法ノ主義ニ同ジト雖モ土地ノ一部分ヲ堀リ取リ或ハ芝草ヲ刈リ取ルカ如キハ特條ヲ設ケテ違警罪ニ屬スルモノトセリ然レトモ佛國法ニ於テハ之ヲ盜罪トス理論的ヨリ論スレハ同シク物品ヲ竊取スルモノナレハ盜罪トスルコソ却テ穩當ナルカ如シト雖モ刑ノ權衡上ヨリ之ヲ見ルトキハ違警罪トシテ罰スルコト或ハ可ナラソカ

三 有形ノ物品ナラサルヘカラス

凡テ契約上ノ權利或ハ物上權思想ノ如キ類ハ無形物ニシテ物体トスルコトヲ得ス然レトモ是等無形ノ權利ヲ表證スル證書類ハ盜罪ノ物体タルヲ得ルヤ否ニ關シ往々議論ノ生スル所ナリ今消極的ヨリ論スルトキハ畢竟證書ナルモノハ權利ヲ證明スルノ一片紙タルニ過キス其原質無形權利タルニ之ヲ代表スレハトテ直ニ有形物ニ變スルノ理ハ万アルヘカラサルナリ又積極的ヨリ之ヲ論スレハ假令一片ノ證書ト雖モ必ス若干ノ價值アルモノナレハ之ヲ竊取スレハ盜罪トナサルヘカラサルカ如シ是又一理アル論ニシテ何レカ法理ニ適スルヤ容易ニ決シ難キ問題ナリト雖モ現行法ニ從ヘハ素リ之ヲ竊取スルコトヲ得ヘキモノトセリ

四 他人ノ所有物タルコトヲ要ス

自己ノ所有物又ハ所有主ナキ物件ハ之ヲ盜ムモ固ヨリ一ノ罪科アルコトナシ故ニ典物トシテ或物件ヲ他人ニ交付シ之ヲ盜ムモ自己ノ物件ニシテ決シテ竊盜罪ヲ構成スルコトナシ然レトモ我刑法第三百七十一條ニ於テハ自己ノ所有物ト雖モ典物トシテ他人ニ交付シ又ハ官署ノ命令ニ因リ他人ノ看守シタル時之ヲ竊盜ニシタル者ハ竊盜ヲ以テ論ストアリテ竊盜罪ニ準シテ刑ヲ科スルモノ、如シコハ唯實際上立法官カ特ニ此條ヲ設ケタルモノニシテ學理上ヨリ論スルトキハ固ヨリ竊盜ノ性質ヲ帶ルコトナシ

第二 惡意アルコトヲ要ス

凡テ竊盜罪ニ關スル惡意ナルモノ、定義ヲ下ストキハ他人ノ所有物ヲ不正ニ領得スルノ意ナリ而シテ之ヲ分析スルトキハ左ノ三個ヲ生ス

(一) 他人ノ所有物ナルコトヲ知ラサルヘカラス

抑モ竊盜トハ他人ノ物件ヲ盜ムノ云ヒニシテ自己ノ物件又ハ所有主ナキモノハ之ヲ盜ムモ罪トナルコトナキハ前ニ陳述シタルカ如シト雖モコトニ又實際他人



ノ所有物ナルコトヲ知ラスシテ自己ノ物件ナリト確信シテ領得シタル場合ニ於テハ竊盜罪ヲ組成スルモノニアラサルナリ

(二) 所有主ノ承諾ナキコト即チ占有スルノ權利ナキコトヲ知ルヲ要ス明諾ナルト黙諾ナルトヲ問ハス承諾ノ所爲アリタルトキハ竊盜罪ヲ組成スルコトナシ然レトモ實際所有主ノ承諾ヲ得ス自己ニ於テ之ヲ占有スルノ權利ナキヲ知リテ領得スルトキハ即竊盜ナレトモ權利アルモノト自信シテ之ヲ取レハ決シテ竊盜罪トナルコトナシ

(三) 竊取シタル物品ヲ所有主ノ如ク處理スルノ意アルコトヲ要ス凡テ竊盜罪ヲ組織スルニハ恰モ所有主ノ如ク處理スルノ意ナカルヘカラス而シテ學者徃々竊盜ニハ占有ヲ奪フノ意アルヲ要スト云フモノアレトモ欠點アルヲ免レス何トナレハ竊盜ノ惡意ハ單ニ占有ヲ奪フノ意ノミニアラサレハナリ例ヘハ人アリ金若干ヲ某ニ貸與セリ然ルニ彼其金ヲ返還セス因テ貸金ノ抵當トシテ彼ノ家ニ入りテ或物件ヲ持テ還レリ此場合ニハ佛獨共ニ竊盜トナサ、ルノ先例アリ然レトモ前例ヲ少シク變スルトキハ竊盜罪トナルコトアリ甲某囊中金錢ノ

乏シキヲ憂ヘ乙某ノ物品ヲ携ヘ來リテ之ヲ典物ニ入ントスルカ如キハ其意思ノ如何ヲ問ハサルナリ何トナレハ他人ノ所有ニ屬スル物品ヲ典スルハ該所有主ノ外何人ト雖モナスヘカヲサルノ所爲ナレハナリ故コ只所有主ノ如ク物品ヲ處理スルノ意アレハ其目的ニ至テハ之ヲ破壊スルト保存スルトヲ以テ區別スルコトナシ

右ノ如ク竊盜罪ニ付キテハ惡意ヲ組成スル三箇ノ要素アリ而シテ其中第一他人ノ所有物ナルコトヲシテサルヘカヲサルコト第二所有者ノ承諾ナキコト即チ占有ノ權利ナキコトヲ知ルヲ要スルノ二事ヲ不正ト云ヒ第三竊取シタル物品ヲ所有主ノ如ク處理スルノ意アルコトヲ要スルノ一事ヲ領得ノ意ト云フ

第三 竊取ノ所爲

竊取トハ所有主ノ承諾ナク且占有スルノ權利ナクシテ該物品ヲ他人ノ監督内ヨリ自己若クハ第三者ノ監督内ニ移スノ働作ヲ云フ而シテ竊取トハ通常物件ヲ掌握スルノ云ヒナレトモ其方法ハ種々アリテ管ニ掌握ノミニアラサルナリ例ヘハ隣壁ニアル酒樽ヲ穿テ管ヲ以テ之ヲ自己ノ樽内ヘ注入シ又ハ他家ニ貯フ所ノ瓦



斯ヲ管ニテ自家へ引入スルカ如キハ皆竊盜ノ所爲ナリトス  
 之ヲ要スルニ其方法ノ如何ヲ問ハス一方ニ於テ他人ノ監督ヲ脱セシメ一方ニ於  
 テハ自分ノ監督内ニ引入ル、ノ所爲サヘアレハ直ニ竊盜罪ヲ組成スルモノトス  
 今例ヲ以テ之ヲ證明センニ他人ノ牛ヲ放テ又ハ河岸ニ繫ケル釣舟ヲ海洋ニ漂流  
 セシムルカ如キハ竊盜ニアラス何トナレハ唯他人ノ監督内ヲ脱セシメタルノミ  
 ニシテ自己ノ監督内ニ移サ、レハナリ然レトモ當時之ヲ自己ノ監督内ニ移スノ  
 意思アレハ竊盜罪ノ未遂ヲ以テ問フヘキナリ又某甲ノ養ヘル鳥ヲ乙家ノ窓内ヨ  
 リ吹矢ヲ以テ之ヲ落シタル場合モ竊盜罪ヲ組成セサルモノトス何ントナレハ他  
 人ノ監督内ヲ脱セシメタルノミニシテ毫モ自己ノ監督内へ入ル、ノ意思ナケレ  
 ハナリ而シテ又一例ヲ取テ之ヲ説明セシニ村落ニテ密蜂ヲ取ルノ場合ニ於テモ  
 只其巢ヲ打落シテ散亂セシメタルノミニシテハ竊盜罪ニアラサルモ若シ一度密蜂  
 ヲ驚シテ其還ルヲ待テ之ヲ捕フルトキハ最早竊盜罪ヲ組成スルナリ  
 是ヨリ既遂未遂ノ因テ起ル所ニシテ一言以テ之ヲ云ヘハ竊盜ノ所爲一度成立ス  
 レハ既遂トナルモノニシテ今隣家ニ入りテ鶏ヲ盜ント欲シ之ヲ捕レハ直ニ之ヲ

放ツモ既遂トナルカ如シ而シテ法曹之カ區別ニ關シ凡三主義ヲ唱フ

第一 接觸主義 (Contaction theory.)

此ノ主義ニ因ルトキハ犯人カ物件ニ手ヲ觸レハ直ニ既遂ナリトスルニ在リ

第二 奪去主義 (Abduction theory.)

犯人ノ手ヲ物件ニ觸レタルノミヲ以テ未タ既遂トハナサス犯所ヨリ物件ヲ取テ  
 逃レ去ルニアラサレハ既遂トナサ、ルニ在リ

第三 獲得主義 (Apprehension theory.)

前ノ二主義ヲ折衷シタルモノニシテ手以テ物件ニ觸レ又物件ヲ以テ逃レ去ルヲ  
 モ要セス只犯者カ他人ノ物件ヲ自己ノ監督内ニ移シタル事實ヲ以テ既遂トスル  
 ニ在リ

第三獲得主義ハ近世歐洲ニ於テ行ハル、所ノモノニシテ我刑法モコノ折衷主義  
 ヲ用ヒタルモノ、如シ

印度刑法ハ第一接觸主義ヲ用ヒタルニ近シ今人アリ予カ愛スル所ノ獵犬ヲ竊取  
 セント欲シ牛肉ノ一片ヲ以テ彼ヲ遠ク誘ヒ機ヲ見テ之ヲ捕ントスル場合ニ於テハ



何時ニ其罪ヲ組成スルヤ印度刑法ニ因ルトキハ獵犬ヲ余カ門前ヨリ誘引シ始メタルトキヨリ成立スルモノトス之レ接觸主義ニヨルモノト云フヘシ今之ヲ第二奪去主義ニ從フトスレハ該獵犬ヲ自己ノ有トナスニアラサレハ成立セサルカ故ニ犯人若シ長崎ノ人ト假定スレハ山川數百里ヲ跋渉シテ家ニ携ヘ還ルマテ竊盜罪ヲ組成セサルモノトス故ニ此ノ主義ニ從フトキハ實ニ不便ノ甚クシキモノト云フヘシ然ルニ又第三獲得主義ニ從フトキハ第一第二主義ノ如キハ畢竟事實ノ問題ナリトシテ只實際自己ノ監督内ニ入ルヘキ位地ニアレハ充分ナリス又一例ヲ引テ之ヲ印度刑法ニ照サン甲某ナルモノ乙某ノ家ヲ訪ヒ嘗テ其卓上ニ指環アルヲ認メ之ヲ盜ント欲ス然レトモ直ニ之ヲ竊取セハ必ス疑レンコトヲ恐レ潛ニ之ヲ暖室爐ノ傍ニ匿シ置キ乙某ノ忘レタルヲ窺ヒ他日再ヒ來リテ之ヲ領得セントスルカ如キハ何時ヨリ其犯罪ヲ組成スルヤ印度刑法ニヨルトキハ指環ヲ動かシタルトキ既ニ成立シタルモノトスルナリ言ヲ換ヘテ之ヲ云ヘハ一タヒ之ヲ動かセハ直ニ犯罪ヲ組成シテ既遂トナルモノナリ然トモ第三獲得主義ニ從フトキハ竊盜罪ノ未遂トナルニ過キサルナリ何トナレハ未ダ乙某ノ監督内ヲ離

レタルモノニアラサレハナリ  
竊盜罪ヲ區別スルトキハ凡左ノ如シ

#### 單純竊盜

單純竊盜トハ通常ノ竊盜罪ニシテ加重若クハ減輕ノ情狀ナキモノナリ我刑法第三百六十六條人ノ所有物ヲ竊取シタルモノハ竊盜ノ罪ト爲シ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ストアルモノ之ナリ而シテ單純竊盜ヲ區別セサルモノ、如シ然レトモカロリヤ法典并我舊法改定律例竊盜例第百卅五條ヲ閱スルニ凡竊盜三百圓以上及三百五十圓以上絞ニ處スル律ヲ改メ並ニ懲役終身トストアリテ贓物ノ多寡ニ因テ之カ區別ヲナシタリ又英國ニ於テハ盜罪ヲ分テ大竊盜小竊盜ニ分テリ之ヲ理論的ヨリ論スルトキハ決シテカ、ル區別アルコトナシ然レトモ實理的ヨリ論スルトキハ裁判管轄ノ點ニ關シテ大ニ便利ナリ今豕肉一斤ヲ取り洋酒一本ヲ取ルモ皆輕罪裁判所ヲ煩ストナスハ太々嚴格ナルカ如シカ、ル輕小ナル罪ハ即決裁判ヲ以テナセハ可ナリ固ヨリ純然タル理論的ヲ以テ論スルトキハ一錢ヲ盜ムモノト十萬圓ヲ盜ムモノト性質上毫モ異ルコトナシ然レトモ前ニ陳ヘタル



如ク裁判管轄ノ點ヨリ之ヲ論スレハ英法典ノ區別ハ治罪上著シキ便宜ヲ與フルモノト云フヘシ

踰越盜并ニ鎖鑰盜

我刑法第三百六十八條ニ門戶牆壁ヲ踰越損壞シ若クハ鎖鑰ヲ開キ邸宅倉庫ニ入リ竊盜ヲ犯シタル者ハ亦前條ニ同シトアリテ此場合ニ注意ヲ要スルノ點ハ左ニ臚列スル五箇條ナリトス

(第一) 或場所ニ入ル目的ニシテ踰越損壞セサルヘカラス  
踰越トハ暴力ヲ用ヒスシテ入込ノ事實ヲ云ヒ損壞トハ暴力ヲ用ヒテ障害物ヲ除去スルヲ云フナリ

(第二) 踰越損壞スルハ門戶牆壁ヲラサルヘカラス  
門戶牆壁トハ外圍ノ堅牢ナルモノヲ云フ故ニ繩張又ハ欄干ノ如キモノハ固ヨリ牆壁トスルコト能ハス

(第三) 進入スヘキ場所ハ邸宅倉庫ナラサルヘカラス  
邸宅倉庫トハ共ニ動スヘカラサル建築物ヲ指シテ云フ故ニ自由ニ運轉スヘキ船

三

舶露店ノ如キハ固ヨリ邸宅倉庫ト稱スルヲ得ス

(第四) 全身ヲ容ル、ニ足ルヘキ場所ナラサルヘカラス  
本罪ヲ組成スルニハ強テ全身ヲ容ル、ヲ要セス身体ノ一部分ヲ容レハソレニテ既ニ組成スルモノトス然レトモ其場所ハ無論全身ヲ容ル、ニ足ルヘキモノヲ云フ故ニ犬房へ入ルモ固ヨリ其罪ヲ組成スルコトナシ然レトモ今家屋ノ窓戶ヨリ手ヲ容ル、トキハ其家屋ハ全身ヲ容ルニ足ルヘキヲ以テ身体ノ一部ヲ入ル、モ直ニ其罪ヲ組成スルモノトス此罪ニ對シテ我刑法ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處スルモノトス

三

持兇器竊盜

我刑法第三百六十條兇器ヲ携帯シテ人ノ住居シタル邸宅ニ入り竊盜ヲ爲シタル者ハ輕懲役ニ處ストアリ而シテ此場合ニ於テ二箇ノ注意スヘキ點アリ

(第一) 人ノ住居シタル邸宅ナルヲ要ス

(第二) 兇器ヲ携帯スルヲ要ス

第二一回



余ハ尙ホ引續キ竊盜罪ノ種類ヲ講述セントス借竊盜罪ニ就テハ數種ノ區別アリ  
テ其通常ノ區別法ハ措テ論セス法律上ニ於テハ竊盜ヲ區別シテ數種トナシ既ニ  
前回ニ於テ單純竊盜、踰越盜及偽鍵盜並ニ持兇器竊盜ノ三種ヲ論述ナセリ今其第  
四種即チ際變竊盜ヨリ講セン

際變竊盜

抑際變竊盜ノ罪ナル名稱ハ歐米各國ノ刑法ニ於テハ之ヲ見ルコトヲ得ス唯我刑  
法ニ之ヲ見ルノミ諸君ハ從來種々ノ竊盜罪アルコトハ聞カレタルナラン然レト  
モ未タ際變竊盜ナルモノアルコトハ聞カレサルヘシ此種ノ竊盜罪ハ水火震災其  
他ノ變ニ乘シテ他人ノ財物ヲ竊取スルヲ云フ之ヲ通常竊盜罪ニ比スレハ其刑  
罰較々重シトス是刑ノ權衡其當ヲ失フモノト云ハサルヲ得サルナリ何チ以テ斯  
ノ如ク刑ヲ重クスルヤト云フニ此場合ニ於テハ我立法官ハ一ニ社會ノ重キヲ置  
クニ依ルナリト蓋火災ノ起ルニ當ツテハ罹災者又ハ其近隣ノ人等ハ自己ノ財物  
ヲシテ灰燼ニ歸セザムルコトヲ欲セス之ヲ戶外ニ投出スヘシ然レトモ周章ノ餘  
一々之ヲ監督スル能ハサルヲ以テ之ニ乘シテ竊取スルモノアルモ之ヲ防クコト

ハ甚タ困難ナリト云ハサルヲ得ス從テ重刑ニ處セサル可カラサルナリ是レ我立  
法官ノ精神ナリ然レトモ正義上ヨリ論スルトキハ際變竊盜ノ如キモノハ其情狀  
憐ムヘキモノナリ彼レ竊取ノ深意アルニアラス會々財物路傍ニ露出セラレテ  
其監督者ナキヲ以テ之ヲ竊取シタルノミ蓋火災アラハ之ニ乘シテ竊盜ヲ爲サン  
ト企ツルモノハ一人トシテ無カルヘシ到底此種ノ犯罪者ハ其心術上ヨリ論スル  
トキハ却テ刑ヲ輕フシテ至當ナリト云フ可シ而シテ此罪ニ關スル我立法官規  
定ハ刑ノ權衡其當ヲ得タルヤ否ヤハ刑罰權ノ主義ヲ講述スルトキニ讓ル尙ホ際  
變竊盜ノ刑罰其當ヲ得サルコトヲ一言センニ例ヘハ火災ノ起ルニ當リ罹災者ハ  
故ラニ其財物ヲ放棄シ去リ毫モ懸念セズシテ之ヲ火災ノ犠牲ニ供セシムル場合  
ニ於テ其家ニ闖入シ財物ヲ竊取スルモノアルモ此場合ニハ毫モ竊取シ易キ情  
ルニアラス通常ノ人家ニ入りテ竊盜ヲ爲スモノト一般ナリ然ラハ其刑ヲ重フス  
ル理由ナキ明瞭ナルヘシ又地震ノ起リタルニ乘シ竊盜ヲ犯サハ其刑ヲ重フス  
ルハ實ニ解スヘカラサルコトニシテ之ヲ重刑ニ處スヘキ關係ハ毫モ存在セサルナ  
リ



之ヲ要スルニ公衆ノ信義ニ委テタル物件即チ火災アルニ際シ燒失ヲ防クカ爲メニ路傍ニ投出シタル物件ノ如キモノヲ竊取スルモノアラハ社會ノ利益ノ點ヨリ論スルトキハ之カ刑ヲ重フスルノ理由アリト雖モ退テ之ヲ純理上ヨリ論スルトキハ其理由ヲ發見スルニ由ナカル可シ

共同竊盜

蓋歐米ノ刑法ニ於テ共同竊盜ヲ重刑ニ處スル所以ハ其犯罪者タルヤ終年竊盜ヲ業トナシ二三四伍相團結シテ一ノ竊盜組ヲ組織シ四方ニ出沒スルカ故ナリ然レトモ我刑法ハ此理由ヲ本トシテ之カ刑ヲ重フシタルニアラス二人以上ニテ竊盜ヲ犯サハ其刑ヲ重フスルニアリ右述ヘタル如ク竊盜組ヲ組織シテ以テ竊盜ヲ爲ストキハ其國家ノ秩序ヲ破ルヤ尠少ナラス然レトモ唯二人ニテ竊盜ヲ犯シタルノミナ以テ其刑ヲ重フスルハ如何ナル理由ニ本ツクヤ之ヲ了解スルニ苦ム處ナリ尤モ二人ニテ共ニ竊盜ヲ犯ストキハ金錢ト其他ノ財物トヲ問ハス之ヲ多量ニ竊取スルコトヲ得ヘシ然レトモ此點ヲ以テ重刑ノ理由ト爲シ難シ何トナレハ縱令多量ニ竊取スルトナスモ其一人毎ニ刑罰ヲ科スルカ故ニ數理上ヨリ論スルトキ

ハ毫モ不權衡ノコトは無キナリ即チ特ニ刑ヲ重フセサルモ單純竊盜ノ刑チ一人毎ニ科スルトキハ充分ナレハナリ又我刑法第三百六十九條ニ於テハ單純竊盜除越盜偽鍵盜及際變竊盜ノ場合ニ限リ二人以上ノ共犯アルトキハ各一等ヲ加フヘキモノトナスノミニシテ田野盜山林盜等ノ場合ニハ斯ル規定ナシ是理論相抵觸スルモノト云ハサルヲ得サルナリ

田野盜

田野盜トハ總テ田野ニ於ケル穀類野菜其他ノ產物ヲ竊取スルヲ云フ其刑タルヤ之ヲ單純竊盜ニ比スレハ大ニ輕クシテ唯一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處スルノミ此點ヨリ觀察スルトキハ田野盜ノ場合ト際變盜ノ場合トハ其理由相抵觸スルモノト云ハサルヘカラス何トナレハ際變盜ノ刑ヲ重フスルノ理由ハ前ニ述ヘタルカ如ク火災又ハ其他ノ變ニ際シ公衆ノ信義ニ委テタル財物ヲ竊取スルニアリ然ルニ同シク公衆ノ信義ニ委テタル田產物ヲ竊取スルトキハ其輕チ輕フスレハナリ到底田野盜ノ刑ヲ輕フスルノ理由ハ公衆ノ信義ニ委ネタル物件ヲ竊取スルノ點ニ於テ發見スルコトヲ得ザルヘク又田產物ハ竊取シ易シト云フ點ニ於テモ



之ヲ發見スルヲ得サル可シ之ヲ要スルニ我刑法ノ沿革之ヲ然ラシメタリト云フ  
 ノ外ナシ即チ田野ノ產物ヲ竊取スルモ其價格タル實ニ瑣々ナルモノナレハ從テ  
 其刑ヲ輕クシテ可ナリト云フニアリ然レトモ凡ソ價格ノ多寡大小ニ依リテ刑ヲ  
 定ムルハ其當ヲ得タルモノニアラス加之我刑法ノ規定ニヨレハ一ノ木屨ヲ竊取  
 スルトキハ單純竊盜ニシテ其刑重ク田野ニ於テ數畝ノ米穀ヲ竊取スルトキハ田  
 野盜ニシテ其刑輕シ實ニ理由ナキコトト謂フヘキナリ此點ニ就テハ佛國刑法モ  
 同一ノ規定ニシテ又同刑法ニテハ機具ヲ携ヒ行キ田產物ヲ竊取スルモノハ其刑  
 ナ加重スルカ如シ然レトモ此種ノ竊盜ハ之ヲ特別ノモノトセス通常竊盜罪ノ範  
 圍内ニ在テ充分ニ之ヲ罰スルコトヲ得ヘキモノナリ

山林盜河海盜

山林ニ生スル竹木、鑛物即チ石炭ノ如キモノ、又ハ其他ノ產物ヲ竊取スルモノ之ヲ  
 山林盜ト云ヒ河海沼澤湖水等ニ於テ人ノ生養若クハ營業ニ關スル產物ヲ竊取ス  
 ルモノ之ヲ河海盜ト云フ此種ノ盜罪ハ田野盜トハ別罪トシテ列舉セラルト雖モ  
 其刑ハ共ニ田野盜ト同一ナリ而テ此ニ注意スヘキコトハ如何ナル物件タルヲ

ハス唯山林ニ於テ竊取シタル點ノミヲ以テ山林盜ナリヤ否ヤヲ決スルコトヲ得  
 サルナリ此盜罪ヲ構成スルニハ現在山林ニ生スル產物ヲ竊取スルヲ要ス從テ既  
 ニ其產物ヲ採集シ又ハ伐採スルトキハ山林物タル性質ヲ失フヲ以テ之ヲ竊取ス  
 ルモ此種ノ盜罪ニハアラスシテ單純ノ竊盜罪ニ過キサルナリ例ヘハ樹木ヲ伐採  
 シテ之ヲ材木トナシ又ハ薪炭トナストキハ之ヲ竊取スルトモ單純ノ竊盜ナリト  
 ス

牛馬盜

牧場ニ於テ牧畜ノ獸類ヲ竊取シタルモノハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス然  
 ルニ同一ノ獸類ト雖モ若シ通常ノ家屋ニ在ルトキニ之ヲ竊取シ來レハ單純竊盜  
 トナリ其刑重シ是レ亦失當ノ點ナリト云ハサルヲ得ス又牛乳ヲ一盃搾取シ來レ  
 ハ單純竊盜ニシテ一月以上四年ノ重禁錮ニ處セラルヘシ實ニ刑ノ權衡其當ヲ得  
 サルモノト云フヘキナリ

親族盜

鄙諺ニ曰ク親ノモノハ子ノモノ子ノモノハ親ノモノト勝手ナル哉此言乎蓋子ニ



シテ父ノ財物ヲ竊取スルモ盜罪ノ原素ニ於テハ一モ欠クル所ナク純然タル犯罪ヲ構成スルモノトス然レトモ此場合ニ於テ被害者ナル父カ決シテ懸念セサルニ拘ハラス警察官吏ハ直チニ其子ヲ拘引シ去ルトキハ一家ノ安寧ヲ害スルヤ尠少ナラス故ニ歐米ノ刑法ニ於テハ父ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論スト規定セリ反之我刑法ニ於テハ其第三百七十七條第一項ニ祖父母父母夫妻子孫及ヒ其配偶者又ハ同居ノ兄弟姉妹互ニ其財物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ヲ以テ論スルノ限ニアラスト規定セリ斯ノ如ク我刑法ニテハ親族盜ハ罪ハアレトモ刑ハ加ヘサルヲ以テ無罪ト一般ナリ然ルニ唯兄弟ナル點ノミニテハ免刑セス必ス同居ノ兄弟ナルヲ要スルハ如何ナル理由ニ本ツクヤ之ヲ了解スルニ苦ム處ナリ

蓋舊律ヨリ出タルモノナルヘシ斯ル規定ナルカ故ニ苟クモ同居ノ一事アル以上ハ其兄弟タル如何ニ不和ナルモノニテモ竊取罪トナラス又如何ニ親密ナル兄弟ト雖モ一朝分襟スレハ純然タル竊盜罪トナルヘシ要スルニ親族盜ハ告訴ヲ待テ其罪ヲ論スルハ尙ホ可ナリ至ク之ヲ無罪トスルニ至テハ其當ヲ失スルヤ大ナリ又我刑法ニ於テハ免刑ニ關シテ親族ノ區域ヲ劃定スルコト或ハ廣キニ失セサル歟之ヲ父子夫

婦間ニ限ルヲ以テ至當トス其祖父母子孫ニ至テハ其區域廣漠ニ失セルモノナリ上來講述スルカ如ク親族間ニ在テハ竊盜罪ヲ犯ストモ其刑ヲ免セリ然ルニ他人共ニ犯ストキハ如何ニ處分スヘキヤト云フニ之ヲ理論上ヨリ見レハ余カ曾テ刑法汎論ニ於テ講述シタル如ク共犯者ノ一人ノ身分ニヨル加重減輕ハ他ノ犯人ニ及ハサルヲ以テ原則トナスカ故ニ親族盜ノ共犯者ハ有罪タルコトハ論ヲ俟タサルナリ然レトモ我刑法ニアリテハ少シク趣ヲ變シ財物ヲ分チタルコトアラサレハ竊盜ヲ以テ論セスト規定セリ則チ配分ヲ受ケタルトキハ有罪トナリ之ヲ受ケサレハ無罪ナリ豈ニ失當ノコト、云ハサルヲ得ンヤ凡ソ財物ヲ配分スルコトハ犯罪ノ成立ニハ關係スル所ナシ既ニ一タヒ竊取シ來レハ直ニ犯罪成立スルニ至ルヘク財物配分ノ如キハ其結果タルニ過キサルナリ又此場合ニハ未遂犯ハ之レ無シトス例ヘハ他人ノ子ト相圖リ共ニ其父ノ有スル時計ヲ竊取セントシタルニ之ヲ遂ケスシテ逃走シタル場合ニ於テハ其他入タルモノハ竊盜罪ノ未遂犯ヲ爲シタルモノナリト云フヲ得ス何トナレハ財物ヲ配分セサル以上ハ未タ犯罪成立セサルモノトスレハナリ實ニ奇怪ナルコト、謂フ可シ



其他ノ竊盜

以上ニ講述シタル九個ノ種類ノ竊盜罪ハ我刑法ニ於ケル竊盜罪ノ細別ナリ然レトモ我刑法外ニ涉リ廣グ之ヲ觀察スルトキハ尙ホ此他ニ其種類ナキニアラス即チ其罪狀ノ重キモノニハ夜間盜又ハ雇人盜アリ雇人盜トハ婢僕其主人ノ物件ヲ竊取スルヲ云フ又罪狀ノ輕キモノニハ食物盜ノ如キモノアリ食物盜トハ少量ノ食物ヲ竊取スルヲ云フ然レトモ我刑法ニ於テ特ニ名稱ヲ設ケサル以上ハ是等ノ竊盜罪ハ皆單純竊盜ニ屬スルモノトス

右ニテ竊盜罪ノ講義ヲ了リタルヲ以テ之レヨリ費消罪ヲ論セム

○受寄財産費消罪

受寄財産費消ノ罪ハ刑法第三百九十五條乃至第三百九十八條ニ於テ之ヲ規定セリ今其一般ノ性質ヲ云ハント此罪タルヤ竊盜罪ト異ナルナシト雖モ唯其差異アルノ點ハ竊盜罪ノ成立ニハ盜奪ヲ以テ必要トナスヲ以テ他人ノ物件ヲ其人ノ監督占有内ヨリ脱却シテ之ヲ自己ノ占有内ニ入ル、ヲ要ス然ルニ受寄財産費消ノ罪ニアツテハ他人ノ物件既ニ自己ノ占有内ニアル場合ナリ即チ既ニ自己ノ占有内

三三

ニアル他人ノ有形動産ヲ惡意ニテ費消スルヲ云フ此罪ハ竊盜罪ヨリハ其刑輕ク一月以上二年以下ノ重禁錮ニ止マレリ例ヘハ他人ノ書籍ヲ預リ其承諾ヲ得スシテ之ヲ典物ト爲シ又ハ之ヲ賣却シ依テ得タル金錢ヲ費消スルモ是レ其物件ヲ竊取シタルモノト云フヲ得サルナリ何トナレハ其書籍ノ占有權ハ既ニ受托者ニ存スレハナリ

三三

我刑法ハ受寄財産費消ナル文字ヲ掲ケタリ今遂一其意義ヲ論究セシム

第一 受寄財産トハ占有權ノ自己ニ存スル物件ヲ云ヒ必スシモ他人ヨリ預リタル物件ニ限ラサルナリ之ヲ詳述セハ受寄トハ明言ノ委託ニ限ラス又默諾ノ委託ヲモ含蓄スルモノニシテ兎ニ角其占有權ヲ有スレハ足レリトス蓋此ニ受寄ナル文字ヲ使用シタルハ穩當ニアラザルナリ今少シク場合ヲ換ヘ之ヲ述ヘンニ茲ニ一疑問アリ即チ竊盜カ他人ノ物件ヲ自己ノ占有内ニ入レタル後之ヲ賣却シ又ハ毀損スルトキハ其賣却毀損タルヤ既ニ占有内ニ入レタル後ニアルカ故ニ此點ヨリ論スルトキハ竊盜ハ總テ受寄財産費消罪ヲ犯スモノト云フヘシ然レトモ竊盜ノ有スル占有ハ受寄ニヨリ之ヲ得タルニアラス何トナレハ無斷ニテ奪ヒ去



リタルモノナレハナリ從テ此場合ニハ受寄財産費消罪ハ一モ成立セサルナリ畢  
 竟受寄ノ財産トハ必ス不正ノ方法ニ依ラスシテ自己ノ占有内ニ入りタル財産ナ  
 ラサルヘカラス例ヘハ余或店ニ至リ莫入ヲ遺忘シテ歸リ來リシ場合ニ其店ノ主  
 人ハ之ヲ奇貨トシテ其莫入ヲ賣却シ依テ得タル金錢ヲ費消スルトキハ是レ即チ  
 受寄財産費消罪ナリトス此場合ノ如キハ余ニ於テ莫入ノ保監ヲ該主人ニ委託シ  
 タルニアラス然レトモ之ヲ其家宅内ニ遺忘シ置キタル以上ハ主人ハ之ニ對シテ  
 占有權ヲ有スヘク而シテ其占有タルヤ余ノ遺忘ニ基ツクカ故ニ敢テ不正ノ方法  
 ニ依リタルモノニアラサルナリ然ラハ之ヲ費消スルトキハ其罪多クヤ無論ナル  
 ヘシ之ヲ要スルニ其占有ハ正當ノ方法ニヨリ之ヲ得タルニアラサルモ之ヲ不正  
 ノ方法ニ依リ得タルニアラサレハ可ナリトス

第二 財産トハ有形動産ナルヲ要ス例ヘハ他人ノ家屋ヲ借受ケタルトキハ其占有  
 權ハ借主ニアルハ無論ナリトス然ルニ其借主ニシテ借受ノ家屋ヲ毀損スルモ是  
 レ受寄財産費消罪ニハアラス他ノ罪即チ他人ノ家屋ヲ毀損スル罪トナルヘシ又  
 如何ニ借受ノ土地ヲ荒廢スルモ受寄財産費消罪トハナラサルナリ何トナレハ右

ノ二個ノ處爲ハ同シク不動産ニ關スルモノナレハナリ  
 第三費消トハ何ソヤ曰ク菓子ナラハ之ヲ食フカ如キヲ云フ然ルニ理學的ヨリ論  
 スルトキハ總テ物件ヲ消滅セシムルコトハ之ヲ爲シ難シトス即チ縱令菓子ヲ食  
 スルモ其菓子タルヤ敢テ消滅シタルニアラス唯人ノ腹中ニ入りテ種々ノ變化ヲ  
 受クルニ過キサルナリ又他人ヨリ借受ケタル物件ヲ賣却スルモ其物件ハ消滅シ  
 タルニアラサルナリ然ラハ費消トハ果シテ何ヲ指スヤ或ハ曰ク使用ノ目的ヲ以  
 テ使フモノ是レ費消ナリト例ヘハ行厨ヲ使フトハ飯ヲ食スルニ外ナラス又書籍  
 ナラハ之ヲ讀ムハ即チ使用ノ目的ニ使フニアリ然レトモ此說ニ依ルトキハ實ニ  
 奇怪ナル結果ヲ生スヘシ何トナレハ他人ノ書籍ヲ預リテ之ヲ讀ムトキハ直ニ受  
 寄財産費消罪トナレハナリ到底費消ノ眞ノ意味ハ使用ノ目的ヲ以テ受寄ノ物件  
 ナ手離シ再ヒ原所有主ニ返還スル能ハサルニ至ラシメタルヲ云フ換言セハ原地  
 位ニ復スル能ハサルニ至リタルヲ云フ此點ニ關シ注意スヘキコトハ他人ノ物件  
 ナ借受ケ其承諾ヲ經スシテ之ヲ典物トナシ其金錢ヲ費消シタル後貸主ヨリ返還  
 ノ督促アルニ當リ借主ハ之ヲ典物ニナシタルコト發覺セハ其借主ハ受寄財産費



消罪ニ問ハル、ヤト云フニ此場合ニハ元金及利子ヲ支拂ヒ之ヲ受戻ストキハ貸主ニ返還スルヲ得ルカ故ニ毫モ罪ノ問フヘキナキカ如シ果シテ然ラハ他人ヨリ物件ヲ借受シテ之ヲ典物トナスモノ雖チ接シテ起ルニ至ルヘシ此場合ニ關シテ或論者ハ曰ク貸主ヨリ返還ヲ請求セラレタルトキ之ヲ受戻シテ返還スレハ敢テ犯罪トナラスト然レトモ余ヲ以テ之ヲ見レハ受寄財産費消罪ナルモノハ此説ノ如ク後ノ結果ニハ關係ナキモノナリ若シ夫レ人ノ物件ヲ借受シ之ヲ典物ニナシタル後金策立タサルヲ以テ受戻ス能ハサルトキハ其有罪ナリヤ否ヤハ借主カ典物トナスノ際如何ナル意思ヲ有シヨルヤヨリ之ヲ定メサルヘカラス即チ之ヲ受戻スノ意思ナカリシナラハ縱令後日之ヲ受戻スト雖モ尙ホ其罪ヲ免レス是他人ノ物件ヲ竊取シテ後日之ヲ返還スルモ其罪ヲ免レサルト一般ナリ反之縱令受戻スコト能ハスト雖モ典物ニナスニ當リ之ヲ受戻ス意思ナリシトキハ毫モ罪トナラサルナリ斯ク論シ來レハ人或ハ云ハシ他人ノ物件ヲ典物トナシ之ヲ受戻スト否トハ貸主ニ取リテハ大ニ利害ヲ感スル處ナリ若シ斯ル借主ニシテ警察官吏ニ捕ヒラル、トキハ余ハ其始メ受戻ス意思ヲ以テ典物ニ爲シタリト云ヒ以テ罪ヲ

免ル、ヲ得ヘシ豈ニ不當ナラスヤト今之ヲ證據法ヨリ論スルトキハ後日ニ至リ受戻スコト能ハサルトキハ之ヲ典物ニナスノ際受戻ノ意思ヲ有セサリシモノト推測スルコトヲ得ヘシ然レトモ是レ證據法上ノ推測ナルノミ之外ニシテ理論上ヨリ云フトキハ借主カ典物トナス當時ノ意思如何ニヨリ有罪無罪ヲ定メサルヘカラルナリ

受寄財産費消罪ハ佛國ニ於テハ之ヲ背信罪ト稱シ英國ニテハ之ヲ「ブリーチ、オフ、トラスト」(Breach of trust)ト云フ今學術的ヨリ論スルトキハ受寄財産費消罪ハ背信罪トハ相異なるモノニシテ却テ竊盜罪ニ近シトス何トナレハ此罪ハ他人ヨリ委託セラレタル物件ヲ使用シテ之ヲ返還スル能ハサルニ至リ又ハ之ヲ賣却スルコトヲ云フニアレトモ學理上ノ所謂背信罪ナルモノハ費消ナル原素ヲ有セス唯人ノ信用ニ反スルヨリ起ルモノナレハナリ即チ後見人管財人又ハ代言人等カ惡意ヲ以テ其己レニ委託セラレタルモノヲ不利益ノ地位ニ置クトキハ背信罪トナルヘシ今例ヲ舉ケテ之ヲ説明センニ總テ幼者ハ其財産ヲ管理スルコト能ハサルカ故ニ後見人ヲ撰定シテ一ニ之ヲ委任スルヲ常トス此場合ニ於テハ後見人ハ幼者ノ



不利益ヲ來サ、ルコトニ注意シテ其財産ヲ管理セサルヘカラス然ルニ其後見人ハ或ル銀行ノ頭取ニシテ其銀行タルヤ世上ニ信用ヲ失シ將ニ倒産ヲ爲サントスル情況ナリトセハ之ニ預金ヲ爲ストキハ損失ヲ蒙ルヤ必然ナリ苟クモ幼者ノ利益ヲ計ランニハ其財産ヲ確實ノ銀行ニ預クヘキハ當然ナルヘシ然ルニ此頭取ハ故ラニ之ヲ自己ノ銀行ニ預ケタリトセハ是レ未タ其財産ヲ費消シタルニハアラサ  
 ルモ該所爲タルヤ財産處有主即チ幼者ニ不利益ナルモノニシテ學術上所謂背信罪トナルヘシ然レトモ斯ノ如キ所爲ハ佛國流ノ背信罪ニアラス又受寄財産費消罪ニモアラス必竟之ヲ罰スル法律ノ正條ナク單ニ德義上ノ罪人タルノミ在レトモ是等ノモノハ之ヲ不問ニ措クヘカラサルナリ學者或ハ之ヲ佛國流ノ背信罪ニ含蓄セシントスレハ其當チ得タルモノニアラス寧ロ我刑法ノ缺點トシテ之ヲ罰スルノ道ナシトスルニ如カサルナリ

又受寄財産費消罪タルコトハ其物件ハ確定物ナルヲ要ス蓋確定物不確定物ノ區別ハ諸君既ニ之ヲ學ハレタルヘシ而シテ不確定物ハ金錢ヲ以テ其最モナルモノトス例ヘハ他人ヨリ千圓ノ金額ヲ預リ之ヲ己レノ囊中ニ投入セハ彼我相混同シテ

分別スヘカラス即チ他人ノ預ケタル金額ハ之ナリト區別スルヲ得サルナリ從テ其金錢ヲ使用スルトモ毫モ罪ナシトス畢竟スルコト金錢ノ如キハ人ヲ信用シ之ヲ預ケタル以上ハ其返還ノ場合コトハ受託者ノ何レノ財産ヲ以テスルモ可ナリトス然レトモ受寄財産費消罪ハ必シモ確定物ナルヲ要スルノ原則ハ之ヲ定ムルヲ得サルナリ唯金錢ノ如キモノハ不確定物ナルカ故ニ委託者ハ受託者之ヲ使用スヘカラスト云フニアラス却テ之ヲ使用スルコトヲ默諾シタルモノナレハ從テ之ヲ費消スルモ無罪ナリトス是レ法律上ノ推測然ラシムルノミ理論上ニ至テハ必シモ確定物ナルヲ要スル原則ヲ立ツルヲ得サルナリ

上來講述セルカ如ク受寄財産費消罪ヲ構成スルニハ左ノ諸原素ヲ要ス

- 第一 其財産ハ有形動産ナラサル可カラス
- 第二 其財産ハ犯罪者ノ占有内ニアルヲ要ス
- 第三 其財産ハ他人ニ屬スル物件ナルコト
- 第四 惡意ヲ以テ費消スルコト

又我刑法ニ於テハ自己ニ屬スル物件ナル場合ニ於テモ受寄財産費消罪トナルコト



トアリ即チ第三百九十六條ニ自己ノ所有ニ係ルト雖モ官署ヨリ差押ヘタル物件  
 チ藏匿脱漏シタルモノハ一個月以上六月以下ノ重禁錮ニ處スト規定セリ然レト  
 モ此處爲ハ縱令受寄財産費消罪ノ内ニ含蓄セラル、ニ拘ハラス其性質ニ至テ  
 ハ全ク相異ナレルモノニシテ唯便宜上之ヲ列擧シタルニ過キサルヘシ終リニ臨  
 ミ一言スヘキハ受寄財産費消罪ト竊盜罪トハ立法ノ目的ヨリ論スルトキハ法律  
 ノ保護スル點ニ於テ差異アリトス即チ受寄財産費消罪ニアツテハ法律ハ有形動  
 産ノ所有權ヲ保護スルヲ以テ目的トシ竊盜罪ニ於テハ所有權及占有權ヲ保護ス  
 ルヲ以テ目的トス

強盜ノ罪

強盜ノ罪ハ我刑法第三百七十八條ニ其定義ヲ掲ケタリ曰ク人ヲ脅迫シ又ハ暴行  
 チ加ヘテ財物ヲ強取シタルモノハ強盜ノ罪トナスト今此定義ヨリ觀察スルトキ  
 ハ強盜ノ性質タルヤ之ヲ竊盜罪ニ比スルニ唯暴行脅迫アル點ニ於テ相異ナルノ  
 ミ其他ノ原素ニ至テハ二罪同一ナリトス則チ強盜ハ暴行脅迫ヲ加ヘタル盜罪ナ  
 リト云フ可シ然レトモ強盜ハ竊盜トハ全ク特種ノ罪ニシテ單ニ竊盜ノ刑ヲ加重

シタルモノニアラサルナリ今強盜罪ニ關シテ注意スヘキ要點ヲ講述スヘシ

第一、暴行及脅迫ハ共ニ人ニ對シテ行フタルモノナルヲ要ス何トナレハ強盜罪  
 ノ定義ニ依レハ人ヲ脅迫シ又ハ暴行ヲ加ヘ云々トアレハナリ然ルニ人ニ對スル  
 暴行ニアラスシテ物ニ對スル暴行ナルトキハ強盜ノ罪ハ成立セサルナリ例ヘハ  
 戸障子ヲ蹴テ之ヲ破リ以テ人家ニ闖入シ財物ヲ盜奪スルモ是レ決シテ強盜ニハ  
 アラサルナリ何トナレハ此場合ニ於ケル暴行ハ人ニ對スルモノニアラサレハナ  
 リ

第二、暴行脅迫ヲ受クル者ハ必スシモ財物ノ所有主ナルヲ要セサルナリ則チ他  
 人ノ物件ノ受托者ニ暴行ヲ加ヘ其受托物件ヲ強取スル場合ト雖モ是レ同シク強  
 盜罪トナルヘシ又主人ノ不在ナルトキニ於テ其婢僕ニ對シテ暴行ヲ加ヒ財物ヲ  
 強取スルトキハ其財物ノ所有主タル主人ハ毫モ暴行ヲ受ケタルニアラスト雖モ  
 尙ホ強盜罪ハ成立スヘシ

第三、暴行脅迫ハ必ス占有ヲ奪取スルノ手段ト爲シタルモノナラサルヘカラス  
 例ヘハ盜アリ人家ニ侵入スルニ際シ其家ノ主人ト爭論ノ末之ヲ毆打スルモ強盜



罪トハナラサルヘシ必竟スルニ唯暴行脅迫ヲ加ヘタル點ニヨリ直チニ強盜罪ナ  
 リト決スルヲ得サルナリ暴行脅迫ハ他人ノ占有内ニアルモノヲ自己ノ占有ニ入  
 ル、ノ手段トシテ用井サルヘカラサルナリ

又他人ノ財物ヲ竊取シテ逃走スルノ際其所有主ヲ毆打スルモ強盜罪ニハアラサ  
 ルナリ何トナレハ此場合ニ於テハ既ニ占有ヲ奪取シ終リタル後ノ暴行ニシテ之  
 ヲ奪取スル手段ニ用井タルモノニアラサレハナリ然レトモ我刑法ニハ強盜ヲ  
 ルモノアリ則チ現行竊盜ヲ發覺セラレタル際其財物ノ取還ヲ防シ爲メ臨時暴行  
 ヲ加ヘタル場合ヲ云フ然ルニ此場合ニ於ケル暴行ハ占有ヲ奪取スルノ手段ニ用  
 井タルニアラサルカ故ニ純然タル強盜ニアラサルナリ我刑法カ之ヲ強盜トナ  
 スハ是レ特別ノ規定ニ過キスシテ其性質ニ至テハ決シテ強盜ト同一ニアラサル  
 ナリ

第四、強盜罪ヲ構成スルニハ必スシモ暴行脅迫ニ限ラサルナリ即チ藥酒等ヲ用  
 井人ヲ昏迷セシメ依テ其財物ヲ奪取スルモノモ亦強盜ヲ以テ論セラルヘシ是刑  
 法ノ特ニ規定スル所ナリ

### 第三回

#### 詐欺取財ノ罪

前回ニ於テ強盜罪ノコトヲ講了シタルヲ以テ今回ハ詐欺取財ニ付テ講述スヘシ  
 刑法第三百九十條ニ於テ詐欺取財ノ定義及其制裁ヲ掲ケテ曰ク人ヲ欺罔シ又ハ  
 恐喝シテ財物若シハ證書類ヲ騙取シタルモノハ詐欺取財ノ罪ト爲シ二月以上四  
 年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス因テ官私ノ文書ヲ偽  
 造シ又ハ増減變更シタル者ハ偽造ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷スト今此定義  
 ヲ見ルニ詐欺取財及恐喝取財ノ二個ノ罪ヲ包含セリ而シテ之ヲ一讀スレハ實ニ  
 明瞭ニシテ一點ノ疑ナキカ如シト雖モ凡ソ犯罪ノ中ニ就キ其性質ヲ知了スルコ  
 トノ困難ナルモノバ此罪ヲ以テ第一ト爲サ、ルヲ得サルナリ蓋如何ナルモノヲ  
 以テ詐欺ト云フヤ容易ニ之ヲ知ルヘカラス然ルニ我刑法ニ於テハ右ノ如ク其定  
 義ヲ掲ケタレトモ之ヲ以テ詐欺ノ何タルヤヲ明ニスル能ハサルカ故ニ寧ロ之ヲ  
 掲ケサルノ優レルニ如カサルナリ彼ノ英國法學者ハ定義ヲ下スコトヲ好ムヤ甚  
 シト雖モ詐欺及恐喝ニ付テハ一ノ定義ヲ下サ、ルナリ是蓋故意ニ出テタルモノ



、如シ何トナレハ詐欺ナルモノハ千情万態實ニ端倪スヘカヲサル性質ヲ有スル  
カ故ニ豫メ立法官ニ於テ之ヲ一定スルコト能ハサルモノトス若シ之ヲ豫定スル  
モ狡見惡漢ハ容易ニ之ヲ濫ルヲ得ルヲ以テ立法官ノ規定ハ水泡ニ屬スレハナリ  
然ルニ我刑法ハ斯ク容易ニ其定義ヲ下シタルハ或ハ其當ヲ失スルモノニアラサ  
ル歟余ハ是ヨリ純然タル學理ニ據リ詐欺取財ノ性質ヲ論究セントス

又  
(第二)人ヲ欺罔スルトハ何ソヤ曰ク全ク存在セサル事實ヲ虚構シ、現在セル處ノ事  
實ヲ隠蔽シ又ハ其模様ヲ變造シ以テ被害者ノ心ニ疑惑ヲ起サシメ或ハ錯誤ヲ生  
セシムル是欺罔ナリ此定義ハ學理上ヨリ下シタルモノナルカ然ラハ恐喝トハ何  
ヲ指スヤト云フニ恐喝ハ欺罔ニ比スレハ少シク其趣ヲ異ニスルモノニシテ現在  
若クハ過去ノ事實ニ拘ハラス全ク未來ノ事實又ハ人ノ意見ニヨリ他人ニ恐レテ  
抱カシムルヲ云フ

以上掲ケタル處ノ定義ヨリ觀察スルトキハ欺罔ト恐喝トハ其相異ナル點二個ア  
ルコトヲ知ルヘシ則チ欺罔トハ現在セル事實ヲ隠蔽シテ其事實アラスト云ヒ又  
ハ存在セサル處ノ事實ヲ捏造シ或ハ之ヲ變造スルヲ云ヒ反之恐喝ハ未來ノ事實

又ハ人ノ意見ニヨリ他人ヲ恐レシムルヲ云フ是二者ノ差異アル第一點ナリ又欺  
罔ハ被害者ノ心ニ疑惑ヲ起サシメ又ハ錯誤ヲ生セシム然ルニ恐喝ハ恐レテ生セ  
シム是二者ノ差異アル第二點ナリ今右ノ二者ヲ例解スヘシ  
例ヘハ余カ此刑法治罪法ヲ他人ニ賣ラントシ是ハ刑法治罪法ナリ之ヲ一讀セハ  
忽チニシテ陶朱猗頓ノ富ヲ致スヤ必セリト云フカ如キハ則チ現在セル事實ヲ  
虚構セルモノニシテ所謂欺罔ナリトス又面積二十坪ニ超ヘサル地面ヲ賣ルニ當  
リ對手人ノ算數ヲ知悉セサルヲ奇貨トシ詐テ面積二百坪アリト説クカ如キハ是  
現在セル事實ヲ隠蔽シテ他人ニ賣却シタルモノニシテ其對手人ニ錯誤ヲ生セシ  
メ以テ二百坪ノ價格ニテ買得セシメタルモノニシテ前例ト同シク欺罔ナリトス  
反之恐喝トハ例ヘハ此ニ惡漢アリテ一ノ怯懦ナル愚夫ニ向ヒ喃々説出シテ曰ク  
汝ハ劍難ノ相アリ不日鬼籍ニ登ルヤ必セリ若シ余ニ百金ヲ與ヘハ余ハ救濟方法  
ヲ熟考シ神佛ニ祈誓シテ汝ノ災厄ヲ除クヘシト此場合ノ如キハ事實ノ虚實ニ拘  
ハラス自己ノ意見ニヨリ其愚夫ヲシテ其命旦夕ニ迫レルトノ恐レテ抱カシムル  
モノナリ然レトモ單ニ意見ヲ述フルニ過キサルトキハ欺罔ニモアラス又恐喝ニ

人



モアラサルナリ例ハ予カ所有ノ地所ハ二百坪アリ條約改正又ハ市區改正アルニ於テハ予ノ近傍ハ繁華ヲ致シ地面ノ價值大ニ騰貴シ其利益ヲ受クルヤ大ナルニシテ請フ一坪十圓ノ割合ヲ以テ之ヲ買得セヨト云フ如キハ是唯意見ニ止ルモノニシテ事實ヲ隱蔽シタルニアラス錯誤ヲ生セシメタルニアラス又恐レテ生セシメタルニアラサルナリ從テ一ノ刑罰ヲ受クルコトナカルヘシ故ニ狡兒アリテ他人ニ恐レテ生セシメヌ又之ヲ欺カサル以上ハ其術計ニヨリ金錢ヲ取ルコトアルモ法律上一ノ制裁ヲ科スルヲ得サルナリ然レトモ苟クモ恐レテ生セシムルニ至リテハ意見ナルト又未來ノ事實ナルトヲ問ハス恐喝トナルヘシ尙ホ恐喝ノ一例ヲ舉ケンニ例ヘハ他人ニ向ヒ汝ハ賭博犯ノ嫌疑ヲ受ケタリ余ニ金錢ヲ與ヘハ巡查ニ告發スルコトヲ止ムヘシト云フカ如キハ其人ニ恐レテ抱カシメ充分ニ犯罪ヲ構成スルモノトス又果シテ欺罔ナリヤ或ハ恐喝ナリヤ事實ニ於テ困難ナル問題ヲ生スルコトアリ苟クモ意見ニ止マリ對手人ニ恐レテ生セシメサル以上ハ毫モ罪ナカルヘシト雖モ少シク場合ヲ變ヘ之ヲ論ゼンニ例ヘハ一ノ遊冶郎アリ容姿輝媚タル或豪商ノ女子ヲ欺キテ利益ヲ占メントス然ルニ其女子ハ該男子ニ戀慕シ説

クニ伉儷ノ契ヲ以テス男子之ヲ承諾シ女子ニ向テ其金融逼塞ノ事情ヲ縷陳シ遂ニ金錢ヲ與ヘシメタル場合ノ如キハ欺罔ニモアラヌ又恐喝ニモアラサルナリ何トナレハ其女子ハ恐レテ抱カヌ又其男子ハ現在及過去ノ事實ヲ虚構シ又ハ隱蔽シタルニアラサルナリ去レトモ之ニ反シテ其男子ニ於テ既ニ妻ヲ有シナカラ余ハ未タ妻ヲ娶ラヌト云フトキハ則チ過去ノ事實ヲ隱蔽スルコト、ナリ欺罔トナルヘシ到底單ニ契約違背ノ點ヲ以テハ何等ノ罪ヲモ構成セサルモノニシテ例ヘハ人ヨリ金錢ヲ借受スルコト當リ債主ハ債主ニ向ヒ若シ返済期日ニ至リ不都合アラハ余所有ノ家産ヲ賣却シテ以テ償却ニ充ツヘシト説キ還ニ金錢ヲ借リタル場合ノ如キ若シ其債主ニシテ眞ニ家屋ヲ所有スルトキハ敢テ罪ノ問フヘキナシト雖モ一ノ家屋ヲモ有セサルニ於テハ純然タル詐欺取財トナルモノトス論者アリ曰ク恐喝ハ現在セル事實ヲ以テスルトキハ成立セス則チ事實無根ナラサルヘカラスト蓋誤謬ノ説ト云ハサルヲ得サルナリ余ヲ以テ見レハ恐喝ナルモノハ事實ノ有無ニ拘ハラサルモノト信スルナリ例ヘハ現ニ賭博ヲ爲シ又ハ實際盜罪ヲ犯シタル者ニ對シテ汝ハ何月何日賭博ヲ爲シタリ又ハ盜罪ヲ犯シタリ余



ニ百圓ヲ投セスハ告發ヲ爲スヘシト云ヒ以テ其金錢ヲ與ヘシムルトセハ此場合ニ於テハ其惡漢カ依テ以テ手段ト爲シタル處ノ賭博罪又ハ盜罪ハ現在セル事實ナリ而シテ之ヲ一見スレハ欺罔ノ如クナリト雖モ而モ心ニ疑惑ヲ生セシメタルニアラス又錯誤ヲ起サシメタルニアラス唯其者ノ心中ニ告發セラレ、ノ恐レヲ生セシムルノ點ニ因リ恐喝取財トナルニ充分ナリト然ラハ恐喝ノ用ニ供スル事實ハ無根ナラサルヘカラストスルノ說ハ其當ヲ得タルモノニアラサルナリ又學者往々恐喝ト脅迫トヲ混同シ爲メニ誤謬ニ陷ルコト多シ例ヘハ強盜アリ大喝一聲人ヲ威嚇シテ金錢ヲ提出セサレハ汝ノ身首其處ヲ異ニセント叫ビ以テ財物ヲ強取スルトキハ其被害者ノ心中ニ恐怖ノ念ヲ生セシメタルカ故ニ恐喝取財ノ如シト雖モ之ヲ熟考スルトキハ其然ラサルヲ覺ユヘシ即チ此場合ノ如キハ所謂脅迫ヲ加ヒタルモノニシテ強盜ノ罪ヲ犯シタルモノナリ然ラハ脅迫ト恐喝トハ如何ナル區別アリヤト云フニ脅迫ニ於テハ其害ハ現在且忽然ニ被害者ニ及フヲ要ス反之恐喝ナルモノハ其害ハ未來ニ來ルモノナリ以上講述セル處ヲ以テ欺罔及恐喝ノ何タルコトハ明瞭ナリト信スレトモ序ニ一言スヘキコトハ諸君ハ往々或

刑法注釋書ニ於テ強盜ト恐喝取財ノ區別ヲ爲シ強盜ハ相識ノ間ニ行ハル、モノニアラス反之恐喝取財ハ相識ノ間ニ行ハルト論スルヲ知ラル、ナラン然レトモ余ハ斯ル說ヲ以テ未ク兩罪ノ區別ト爲スニ足ラサルモノト信スルナリ何トナレハ恐喝取財ハ敢テ相識ト否トニ關係ナキモノニシテ一面識ナキモノヲ欺罔シ又ハ恐喝スルモ亦此罪ヲ構成スルニ充分ナリ又親密ナル知己ノ間ニ於ケルモ純然タル強盜罪成立スルコトアルヘシ而シテ論者ハ右ノ區別ニ例外ヲ設ケ夜間又ハ山中無人ノ境ニ於ケルカ或ハ覆面シテ犯ス場合ニ於テハ相識ノ間ニ於ケルモ強盜罪構成セラレヘシト論セリ去レトモ斯ノ如キ小説的ノ區別ニヨリ法律上ノ區別ト爲スノ價值ナキモノナリ阿々

(第二)詐欺取財ノ物體トハ何ソヤ前面ニ於テ講述シタル強盜罪、竊盜罪及受寄財産費消罪ノ物體ハ總テ有形動産ニ限レリトス然ルニ詐欺取財ノ物體ハ有形動産ノミナラス又不動産ヲモ含蓄ス蓋不動産ナルモノハ之ヲ盜奪シ又ハ費消スルコト能ハサルモノナレハ右ニ述ヘタル三個ノ物體タル能ハサルナリ則チ詐欺取財ノ罪カ他ノ盜罪ト相異ナル點ハ犯罪ノ物體其一ニシテ其動産、不動産、又ハ有形物、無



形物ヲ問ハサルナリ而シテ我刑法ハ財物若クハ證書類ヲ騙取シタル者ト記載セ  
ルカ此證書類トハ何ヲ指スヤト云フニ所謂債主權即チ負債ノ證書ノ如キ無形物  
モ亦詐欺取財ノ物體トナルヲ得ヘク從テ之ヲ騙取スルコトヲ得ルヲ示シタルナ  
リ又證書類ハ之ヲ一見スレハ有形物ナルカ如シト雖モ法律上ニ於テハ無形ノ物  
ナリトス其詳細ハ後回ニ於テ講述スヘシ

(第三)騙取トハ何ソヤ其字義ヲ云ハ、騙ハ「カタル」ナリ取ハ「トル」ナリ前回ニ於テ講  
述シタル盜罪ニ於ケル竊取又ハ強取ノ取ハ他人ノ監督内ヨリ其財物ヲ自己ノ監  
督内ニ入ル、テ云フ然ルニ我刑法ニヨレハ證書類即チ無形物ヲ騙取スルコトヲ  
得ルカ如シト雖モ凡ソ無形物ヲ取ルコトハ天帝又ハ鬼神スラ尙ホ能ハサルノ業  
ナルヘシ之ヲ學理的ヨリ云フトキハ騙取トハ「カタル」ナリ則チ他人ノ財産ヲ害ス  
ルヲ云フ畢竟我立法官ハ總テ詐欺取財ノ物體ヲ有形物ニ思惟シタルヤ疑ナク縱  
令無形物ハ此罪ノ物體タルヲ得ヘシト雖モ無形物ハ之ヲ取ルコトヲ得サルカ故ニ  
其證據タルヘキモノヲ有形的ニ證書類ト記載シ從テ取ルト云フ字ヲ使用シタル  
カ如シ然レトモ是熟考ヲ加ヘタル定義ニアラサルナリ又或佛國法學者ハ騙取ト

ル字ヲ用ユルハ其當チ失ス寧ロ交付ト書スルノ優レルニ如カスト論スレトモ此  
交付モ亦有形物ニ付テ云フモノナリ而シテ我刑法草案ニ於テモ交付ノ字ヲ使用  
セラレタルカ到底上來講述シタル語弊ヲ避クルヲ得サルナリ

(第四)人ヲ欺罔シ又ハ恐喝シテ財物ヲ騙取スルハ其犯罪者自身又ハ他人ノ利益ヲ  
圖ルノ意ニ出ツルヲ要ス換言セハ犯罪者ニ於テ利益ノ目的アルヲ要スルナリ

(第五)詐欺取財ノ被害者則チ欺罔又ハ恐喝ヲ受クル人ハ必スシモ其財物又ハ證書  
類ノ所有主タルヲ要セサルナリ猶ホ強盜ノ脅迫ヲ受クルモノハ財物ノ所有主タ  
ルヲ必要トセサルカ如シ例ヘハ余他人ニ向ヒ本校閱覽室ニ備付ケラル、書籍ハ  
悉皆我所有物ナリ極メテ廉價ヲ以テ賣却スヘシト詐リ僅カニ五十圓ノ代價ヲ以  
テ之ヲ賣買シタリトセハ余ハ詐欺取財ノ罪ヲ犯シタルヤ明カナリ何トナレハ事  
實ヲ變造シテ其他人ニ錯誤ヲ生セシメタレハナリ然ルニ此場合ニ於ケル被害者  
ハ書籍ノ所有者タル學校ニアラスシテ余ニ欺カレタル他人ナリトス何トナレハ  
學校ハ其書籍上ニ對世權ノ一種ナル所有權ヲ有シ從テ追跡權ヲ有スルヲ以テ余  
ノ所爲ニ依リ毫モ損害ヲ被ラス唯余ニ欺カレタル他人ニ於テ損害ヲ受クルノミ



ナレハナリ又甚シキニ至テハ裁判官ヲ欺罔シテ金錢ヲ騙取スルコトアリ例ハ人ニ金錢ヲ貸與シタルコトナキニ虛妄ノ證書ヲ作爲シ之ヲ以テ其人ヲ訴ヘタル場合ニ於テ其被告人トナリタル者ハ自己ノ印影アル證書ニ對シテ反證ヲ舉グルコト能ハサルニヨリ裁判官ハ被告人ニ對シテ借金返濟ノ判決ヲ下シタルトキハ其裁判官ハ即チ詐欺取財ノ手段トナリタルモノニシテ換言セハ犯罪ノ用ニ供セラレタルモノナリ

以上講述シタル處ヲ以テ詐欺取財ノ罪ニ關スル全体ノ性質ハ明瞭ナルヘシ依テ是ヨリ詐欺取財ノ罪ノ種類ヲ講述セントス

### 詐偽取財ノ種類

(第一)前ニ述ヘタルカ如ク詐欺取財ナルモノハ精密ニ之ヲ區別スレハ欺罔取財及恐喝取財ノ二個トナスヲ得ヘシ然レトモ我刑法ハ別ニ之ヲ區別セズシテ共ニ同條ノ中ニ含蓄セシム是單純ノ詐欺取財ナリトス其刑罰ノ如キハ前ニ掲ケタルヲ以テ再ヒ此ニ贅セス

(第二)刑法第三百九十一條ニ曰ク幼者ノ知慮淺薄又ハ人ノ精神錯亂シタルニ乘シ

テ其財物若クハ證書類ヲ授與セシメタルモノハ詐欺取財ヲ以テ論スト則チ此種ノ詐欺取財ハ必スシモ欺罔又ハ恐喝ノ原素ヲ要セス唯法文ノ示スカ如ク幼者ノ知慮淺薄又ハ人ノ精神錯亂ニ乘シテ金錢ヲ取ルヲ云フ而シテ幼者ノ知慮淺薄トアルカ故ニ大人ニシテ愚者ナル場合ニハ縱令其財物ヲ授與セシムルモ罪トナラサルモノトス又精神錯亂トハ大人ナルト幼者ナルトヲ問ハサルナリ之ヲ要スルニ本條ハ其本質詐欺取財ニアラス唯之ヲ詐欺取財ニ准スルニ過キサルナリ

(第三)刑法第三百九十二條ニ曰ク物件ヲ販賣シ又ハ交換スルニ當リ其物質ヲ變シ若クハ分量ヲ偽テ人ニ交付シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論スト則チ此種ノ詐欺取財ノ單純詐欺取財ニ異ナルノ點ハ契約ヲ締結スルトキニ惡意アルニアラスジテ之ヲ實行スルニ當リテ惡意ヲ生スルニアリ例ヘハ正當ニ米穀一俵ヲ賣買セント約定シ其代價ノ支拂アリタル後愈々米穀ヲ交付セントスルトキ即チ契約ヲ實行セントスルトキニ於テ其物質ヲ變シテ劣等ノモノトナシ又ハ其量ヲ減ズルヲ云フ是レ第三種ノ詐欺取財ナリ

(第四)他人ノ動産不動産ヲ冒認シテ販賣交換シ又ハ抵當典物トナシタル者ハ詐欺

X



取財ヲ以テ論ストハ是刑法第三百九十三條第一項ニ規定スル所ニシテ所謂冒認罪ナリ蓋此罪ニ就テハ學者間ニ議論紛々タルカ如シ余ヲ以テ見レハ他人ノ動産ヲ以テ己ノ所有物ナリト欺キ之ヲ賣却スルカ如キハ純然タル詐欺取財ナリトス又之ヲ抵當ニ入レタル場合モ同一ナリ加之我刑法ニ於テハ同條第二項ニ自己ノ不動産ト雖モ既ニ抵當典物トナシタルモノヲ欺隠シテ他人ニ賣與シ又ハ重子テ抵當典物トナシタルモノ亦同シト規定スレトモ是亦純然タル詐欺取財ナルカ故ニ何ノ必要アリテ本條ヲ設ケタルヤ余ハ之ヲ了解スルニ苦ムナリ而シテ此場合ニ於テ注意スヘキハ被害者タルモノハ其財物ノ所有主ニハアラスシテ則チ欺隠セラレタル人ナリトス何トナレハ其所有主ハ自己ノ追跡權ヲ實行シ何人ノ手ニ存スルヲ問ハス之ヲ恢復シ來ルヲ得ルヲ以テ毫モ損害ヲ受クル所アラレハナリ又第二項則チ二重抵當ノ場合ニ於テハ第一抵當取主ハ敢テ損害ヲ受ケスシテ第二抵當取主ハ則チ被害者ナリトス何トナレハ第一抵當取主ハ自己ノ抵當權ヲ追跡スルコトヲ得ルヲ以テナリ又此二重抵當ニ付テハ公證ノ關係アリテ二個ノ抵當各公證ヲ經タルモノナラハ如何之ニ反シテ一方ノミ公證ヲ經タルモノナラ

ハ如何等ノ問題アリトス我刑法ニ於テハ自己ノ不動産ト雖モ既ニ抵當典物ト爲シタルモノヲ欺隠シテ云々ト規定スル以上ハ二個ノ抵當各公證ヲ經テ以テ負債ヲ爲シタルトキハ借主ニ於テハ毫モ欺隠シタル點ナキナリ從テ何等ノ罪ニモ問ハレサルモノトス反之第一抵當ハ公證ヲ經スシテ第二抵當ノミ之ヲ經タル場合ニハ借主亦其罪ナシ何トナレハ法文ニ所謂欺隠トハ第二ノ抵當取主ニ對シテ云フモノナレハナリ換言セハ第二ノ抵當取主ヲ欺キタル場合ノミ有罪トナルカ故ニ第一ノ抵當ハ公證ヲ經ス第二ノ抵當ハ之ヲ經タルモノナルトキハ其損害ヲ受クルモノナカルヘシ何トナレハ第二ノ抵當ハ有効ノ抵當トナレハナリ而シテ此場合ニ於テハ第一抵當取主ハ損害ヲ蒙ルヤ知ルヘカラスト雖モ借主ニ於テハ敢テ第二抵當取主ニ欺隠シタルニアラス從テ二重抵當ノ罪ニ問フヘキ點ナシトス以上四種ノモノハ我刑法ニ於テ定ムル詐欺取財ノ罪ナリ

### 第四回

### 家資分散ニ關スル罪

家資分散ニ關スル罪ハ刑法第三百八十八條並ニ第三百八十九條ニ於テ規定セラ



ル其法文ニ曰ク家資分散ノ際其財産ヲ藏匿脱漏シ又ハ虚偽ノ負債ヲ増加シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス情ヲ知テ虚偽ノ契約ヲ承諾シ若クハ其媒介ヲ爲シタル者ハ一等ヲ減スト抑モ此條ノ如キハ實ニ明瞭ナルヲ以テ敢テ之カ説明ヲ要セスト雖モ先ツ其要點ヲ講述セントス

(第一)家資分散ノ際トハ何時迄ヲ指シタルモノナルヤ學者ノ間議論紛々タリ則チ一旦身代限ノ言渡アリタル後チ云フヤ其前後如何法文ニヨレハ言渡ノ際トアルカ故ニ申渡ノ前後ヲ問ハサルカ如シト雖モ之ヲ申渡ノ後ナリトスルトキハ實ニ重大ナル結果ヲ生スルニ至ルヘシ又申渡ノ前ハ何時迄ヲ云フヤ等ノ疑問アリ然レトモ我刑法ニ於テハ何時ヨリ家資分散ノ際トスヘキヤ法文ノ之ヲ示スモノナキヲ以テ到底適當ナル事實ニヨリ之ヲ定ムルノ外ナシトス然ラハ其犯罪ハ如何ナル時ニ成立スルヤト云フニ負債主カ其財産ヲ藏匿スルハ債主ノ爲メニ取ラレ、チ避クルニアリ故ニ藏匿ノ後十年ヲ經テ身代限ノ申渡ヲ受クルニ至ルモ其有罪ナルコトハ論ヲ俟タス又數十年ノ後ニ於テ身代限ノ申渡ヲ受クルナラント豫想シテ其財産ヲ藏匿スル場合ト雖モ犯罪ハ亦藏匿ノ時ニ成立スルモノニシテ毫モ

申渡ノ前後如何ヲ問ハサルナリ然レトモ是極端ノ論ニ過キスシテ此犯罪成立ニ關シテハ自ラ適當ナル時アリテ之ヲ定ムルニハ法律ノ推測ニ依ラサルヘカラス則チ縱令負債主カ財産ヲ藏匿スルモ之ヲ以テ百年ノ後ヲ計リタルモノト云フヲ得サルナリ唯身代限ノ處分前ニ於ケル所爲ニシテ確然債主權ヲ害スルノ目的ニ出テタルモノト推測スルニ足レハ此犯罪ハ其時ニ於テ成立スルモノナリ故ニ此罪ハ財産藏匿ノ當時ニ成立スルモノナレトモ之ヲ所分スルハ身代限申渡ノ後ナルヲ要ス換言スレハ身代限ノ處分カ實際存在セサルヘカラサルナリ又家資分散前ニ於ケル所爲ナルモ早晚家資分散ノ起ルコト必然ナル場合ナレハ其後身代限ノ申渡アルトキハ有罪トセラル、ニ至ルヘシ然レトモ財産藏匿ノ時日ト身代限ノ時日トノ間隙ニシテ頗ル曠久ナルトキハ負債主ニハ惡意ナカリシモノト云ハサルヘカラス到底惡意ノ立證頗ル困難ナルヘシ

(第二)此犯罪ニ於テハ如何ナル意思ヲ必要トナスヤ法文ヲ見ルニ唯家資分散ノ際財産ヲ藏匿脱漏シ又ハ虚偽ノ負債ヲ増加シタルモノト記載セラル、ノミニシテ別ニ惡意ヲ要スルコトヲ規定セス然レトモ法律ノ精神トスル所ハ此犯罪ハ債主



ナシテ適法ノ分配ヲ受ケシメサルノ意思アルヲ要スルニアリ若シ此意思無シハ此罪ハ成立セサルナリ

(第三)藏匿脱漏トハ何ソヤ藏匿トハ債主ニ於テ身代限ノ申渡ヲ受クルヲ知り其財産ヲ取ラル、ヲ恐レテ之ヲ他ニ轉スルヲ云ヒ脱漏トハ封印アル物件ヲ採取ルカ如キヲ云フ而シテ藏匿脱漏ノ中ニハ充分ノ約因ナクシテ賣買又ハ質入シ或ハ債主ヲシテ其利益ヲ得セシメサル爲メニ債主カ他人ニ貸附シタル貸金ノ返済ナキニ其抵當物ヲ返還シ又ハ更ニ負債ナキニ拘ハラス負債アリト假裝スルカ如キ所爲ヲ含蓄スルモノトス

(第四)刑法第三百八十八條第二項ニ曰ク情ヲ知テ虚偽ノ契約ヲ承諾シ若クハ其媒介ヲ爲シタル者ハ一等ヲ減スト抑モ虚偽ノ負債ヲ作ルニハ之カ對手人ナカルヘカラス而シテ此場合ニ於テ虚偽ノ契約ノ承諾ヲ爲スモノハ正犯ニシテ其媒介ヲ爲スモノハ從犯ナリトス然ルニ我刑法ニ於テハ此場合ニ限り正犯從犯共ニ一等ヲ減スト規定セリ是特別ノ共犯例ナレトモ毫モ其理由ヲ發見スルヲ得サルナリ苟モ正犯タル以上ハ分散者ト同等ニ之ヲ罰セサルヘカラス敢テ一等ヲ減スルニハ及ハサル

ナリ又從犯ハ二等ヲ減スルヲ得ルモノナルニ茲ニハ唯一等ヲ減スルノミニシテ正犯從犯チ同一視シタルハ如何ナル理由ノ存スルニヤ法文上之ヲ知ルニ由ナキナリ(第五)家資分散ニ關スル罪ノ第二種ト云フヘキモノハ即チ刑法第三百八十九條ノ場合是レナリ曰ク家資分散ノ際牒簿ノ類ヲ藏匿毀棄シ若クハ分散決定ノ後債主中ノ一人又ハ數人ニ其負債ヲ私償シテ他ノ債主ヲ害シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處スト倍此罪ハ前條ノ場合ト如何ナル差異アルヤト云フニ此罪ハ財産ヲ藏匿スルニアラス唯牒簿類ヲ藏匿シ又ハ毀棄スルニアリ而シテ牒簿類ハ財産ニハアラサルナリ則チ此罪ハ財産權ニ關係セスシテ唯之ヲ證明スル所ノ證據ヲ湮滅スルヨリ成立スルモノニシテ畢竟倒産所分ノ整頓ヲ妨害スルモノナリ

### 贓物ニ關スル罪

我刑法ニ於テハ贓物ニ關スル罪チ分テ二種トナス即チ其第一種ハ第三百九十九條ニ規定セラル其文ニ曰ク強竊盜ノ贓物ナルコトヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若クハ牙保ヲ爲シタル者ハ一月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加スト第二種ト云フヘキハ第四百一條ノ場合是ナリ即チ詐欺取



財其他ノ犯罪ニ關シタル贓物ヲ受ケ又ハ其寄藏故買等ヲ爲ス罪ヲ云フ先ツ其第一種ヨリ講述セントス

(第一)抑モ贓物トハ如何ナルモノナリヤト云フニ此問題ハ頗ル重要ナルモノトス而シテ贓物ノ定義ハ余ノ著書刑法各論第三百八十一葉ニ掲載セリ曰ク犯罪ニ依テ其ノ占有ヲ得タル物件ナリト然レトモ余ハ今其ノ適當ナラサルコトヲ知レリ通常學者ノ定義ニ依レハ犯罪ニ依リ得タル物件ナリト云ヒ或ハ余カ下シタル定義ノ如ク云フ者アリト雖モ斯ノ如キ定義ハ皆其當ヲ失スルモノト云ハサルヲ得ス今贓物ハ犯罪ニ依テ得タル物件ト云フハ何ヲ以テ其當ヲ得サルヤト云ハ、受寄財産費消費ノ場合ニ於ケル贓物ニ對シテ之ヲ適用スルヲ得サレハナリ例ヘハ余カ他人ヨリ預リタル物件ヲ擅マ、ニ賣却スルトキハ其贓物ハ何ナリヤト云フニ則チ其賣却ニ依リテ得タル金錢ニ外ナラズ然ルニ金錢ハ贓物ニアラサルナリ其詳細ハ後ニ講述セントス既ニ金錢ハ贓物ニアラストモ受寄財産費消費ニハ贓物ナキニ至ルヘシ然レトモ受寄ノ物件ヲ擅マ、ニ他人ノ物件ト交換スル場合ニ於テハ其交換ニ依リテ以テ得タル所ノ物件ハ即チ贓物ナリ例ヘハ他人ヨリ預

リタル「コップ」チ第三者ノ瓶ト交換シタルトキハ其瓶ハ犯罪ニヨリテ得タル物件即チ贓物トナルヘシ然ルニ尙ホ不權衡ナル點アリ即チ贓物ハ之ヲ沒收セサヘカラサル場合ニ於テモ受寄財産費消費ニ在テハ其犯罪者カ領得シタル物即チ金錢ハ贓物トナラスシテ他人ノ物件ト交換シテ得タル處ノ物件カ贓物トナルコト是レナリ而シテ他人所有ノ瓶ヲ預リ私ニ之ヲ賣却スルトキハ其瓶ハ贓物タルヤ疑ナシト雖モ受寄財産費消費ノ贓物ニアラス贓物ヲ故買スル罪ノ贓物トナルヘシ例ヘハ不正品買人ニ賣却スルニ受寄ノ瓶ヲ以テスルトキハ受寄財産費消費ノ贓物ハ其金錢ナリト雖モ其瓶ハ贓物ニ關スル罪ノ贓物ナリトス是前ニ掲ケタル定義ヨリ生スル結果ニシテ其誤謬ナルコトヲ知ルニ足ルヘシ然ラハ贓物ノ眞ノ定義ハ果シテ如何ナルモノナク云フヤ蓋之ヲ下スニ二様ノ方法アリ即チ一ハ積極的(Positive)即チ働キ方ヨリ定義ヲ下シ一ハ消極的(Negative)即チ受ケ身ヨリ定義ヲ下スナ云フ今其積極的ノ定義ニヨレハ贓物トハ盜奪シ、費消シ、詐欺シ、其他總テ犯罪ノ所爲ヲ行フテ以テ得タル所ノ物件ナリト云フヲ得ヘク又消極的即チ受働的ヨリ云フトキハ贓物トハ盜奪セラレ消費セラレ又ハ詐欺セラレタル物件ナリト云フヲ得ヘ



シ以上二個ノ定義ハ畢竟同一ナルモノニシテ贓物トハ不正ノ道ニ引入レラレタル物件ヲ云フニ過キサルナリ則チ右ノ如キ定義ヲ下ストキハ何レノ場合ニ於テモ不都合ナキニ至ルヘシ又贓物タルニハ其物件ハ必ラス確定物ナルヲ要ス不確定物即チ金錢ノ如キモノハ贓物トナラサルモノトス例ヘハ甲者其所有ノ金錢ヲ竊取セラレ乙者及丙者モ亦之ヲ竊取セラレタルトキハ其竊盜ノ領得シタル金錢ハ贓物ニハアラサルナリ到底贓物トハ其物件ニ付テ追求權ヲ行フコトヲ得ヘキモノナラサルヘカラス故ニ確定物ナルヲ要スルナリ

(第二贓物ニ關スル罪ヲ構成スヘキ所爲ハ贓物ヲ受ケ又ハ之ヲ藏匿シ或ハ之ヲ賣買スル等ニアリ而シテ此罪ニ付テ諸君カ注意スヘキ點ハ此犯罪ノ範圍ナリトス法文ヲ見ルニ強竊盜ノ贓物ナルコトヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買ストアルカ故ニ此罪ヲ構成スルニハ贓物ナルコトヲ知テ受ケルヲ必要トスルハ論ヲ俟タサルナリ倍知テ受ケルコトハ贓物ヲ受ケルノ意アルヲ云フニ外ナラス故ニ最初ニ於テハ強竊盜ノ贓物ナルコトヲ思惟セスシテ之ヲ買受ケ其後ニ至リ之ヲ知リタル場合ニ於テハ此罪ハ成立セサルモノトス換言スレハ其物件ヲ受ケルニ當リテハ毫

モ贓物ヲ受ケルノ意思ナク正當ノ物件ヲ受ケルノ意思ナリシカ其後ニ於テ之ヲ知リタルトキハ其物件ヲ如何ニ永ク所持スルモ敢テ罪トナラサルナリ

(第三贓物ニ關スル罪ノ第二種ハ刑法第四百一條ニ規定セラル曰ク詐欺取財其他ノ犯罪ニ關シタル物件ナルコトヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若クハ牙保ヲ爲シタル者ハ十一日以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加スト抑モ此罪ニ付テハ別ニ説明スヘキコトナク其第一種ト異ナル所ハ唯刑期ト罰金ノ額ノミ

(第四)尙ホ贓物ニ關スル罪ニ付學者ノ疑ヲ容ル、點アリ法文ノ示ス如ク此罪ハ強竊盜ノ奪取シタル物件ナルコトヲ知テ之ヲ受ケサルヘカラス又其物件ハ實際強盜又ハ竊盜ノ奪取シタルモノナラサルヘカラスナリ故ニ心ニ不正品ナルコトヲ知リナカラ之ヲ買フモ實際不正品ニアラサル場合ニ於テハ此罪ハ成立セサルモノトス然ルニ茲ニ贓物故買ノ罪ヲ犯シタル者アリ裁判官ヨリ贓物ナルコトヲ知テ之ヲ賣買シタルヤト訊問セラル、ニ當リ之ニ答ヘテ是贓物ニアラス即チ犯罪ニ係リタル所ノ物件ニアラサルナリト云フトキハ裁判官ハ其物件ヲ奪取シタ



ル強盜又ハ竊盜ヲ逮捕セシメ之ヲ裁判シ其罪ノ有無確定シタル以上ニアラサレハ未タ以テ贓物故買罪ノ有無ヲ判定スヘカラスト云フモノアレトモ此說ニ從フトキハ實ニ不便ナルコト、ナルヘシ例ヘハ強竊盜カ奪取シタルモノナルコトヲ知テ或物件ヲ買取リタル者アリトセンニ其後該強盜又ハ竊盜カ死亡スルトキハ其贓物故買ノ罪ハ之ヲ裁判スルコトヲ得サルニ至ルヘシ故ニ贓物ニ關スル罪ハ強盜罪又ハ竊盜ノ罪等ニ關係ナク之ヲ處分スヘキモノトス何トナレハ此罪ハ特別ニ規定セラル、カ故ニ之ニ依ラサルヘカラサレハナリ然レトモ此罪ヲ判定スル爲メニ同時ニ強竊盜ノ罪ヲ取調ルコトハ便宜之ヲ爲スヲ得ヘシ又既ニ強盜又ハ竊盜カ逮捕セラレテ有罪ノ判決ヲ受ケタル後ニ於テ其贓物ナルコトヲ知テ故買スル者アリ其後檢察官ノ爲メニ起訴セラル、ニ當テハ其物件ハ強盜又ハ竊盜ノ贓物ニアラサルコトヲ證明スルヲ得ヘシ何トナレハ其強竊盜ニ對スル裁判ハ別人ニ對スルモノナレハナリ又裁判官ニ於テモ贓物ニ關スル罪ヲシテ判決スルコトヲ得ヘシ斯ノ如ク論シ來レハ抵觸ヲ起スカ如シト雖モ毫モ妨ケナシトス故ニ強竊盜ノ罪ニ對シテハ有罪ノ言渡ヲナシ贓物ニ關スル罪ニ付テハ無罪ノ言渡ヲ爲スヲ得

ヘク又贓物ニ關スル罪ニ對シテ有罪ノ言渡ヲ爲シ強竊盜ノ罪ニ付テハ無罪ノ言渡ヲ爲スヲ得ヘシ即チ二者ノ間毫モ相關係スル所アラサルナリ

遺失物及埋藏物ニ關スル罪  
遺失物ニ關スル罪

遺失及漂流ノ物品ヲ拾得テ隱匿シ所有主ニ還付セス又ハ官署ニ申告セサル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス是刑法第三百八十五條ノ定ムル所ナリ蓋シ此罪ハ人ノ屢犯ス所コシテ而モ又發見シ難キ犯罪ナリトス

(第一)遺失物トハ何ツヤ曰ク何人ノ占有内ニモアラサル所ノ他人ノ所有物ナリ故ニ遺失物タルニハ(一)何人ノ占有内ニモ存セサルコト(二)他人ノ所有物ナルコト(二)個ノ原素ヲ要ス夫ノ占有權ノ何人ニモ存在セサル落シ物又ハ海中ノ漂流物等ハ是即チ遺失物ナリトス若シ其物件ニシテ他人ノ占有内ニアルトキハ之ヲ取ルモノハ竊盜罪ヲ以テ罰セラルヘシ又自己ノ占有内ニ存在スルトキハ受寄財産費消罪トナルヘシ即チ三個ノ罪ノ分ル、所ハ竊盜罪ハ他人ノ占有内ニアル物件ヲ取



ルニヨリ成立シ受寄財産費消罪ハ自己ノ占有内ニアル他人ノ物件ヲ費消スルニヨリ構成セラレ遺失物ニ關スル罪ハ何人ノ占有内ニモアラサル物件ヲ拾得シテ之ヲ隱匿スルニヨリ罰セラル、點ニアリトス彼ノ田畠ニ成長スル所ノ菜果ヲ以テ何人ノ占有内ニモアラサル遺失物ナリトシ之ヲ取ル者又ハ山林ニ產生スル物件ヲ以テ遺失物ナリトシテ之ヲ取ル者ハ竊盜罪ヲ犯シタルモノトス何トナレハ田畠ノ菜果又ハ山林ノ產生物ハ占有者ナキニアラサレハナリ又終年物件ヲ拾得スルコトヲ以テ職業トスル者偶々美服ヲ着シテ頗ル富裕ノ形狀アル所ノ官吏カ其「ボツケツト」ヨリ財囊ノ將ニ落去ラントスルヲ知ラス揚々然トシテ歩ミツ、アルニ遭遇シ奇貨置クヘントナシテ其背後ヨリ徐歩シ心專ラ財囊ノ落ツルヲ欲望シタルニ遂ニ其落チタルヲ幸トシ之ヲ取去ルトキハ遺失物ニ關スル罪ニアラスシテ純然タル竊盜罪ナリトス何トナレハ其財囊ヲ落シタル人ニシテ未ダ其所ヲ去ラサル以上ハ占有ハ其人ニ存在スルヲ以テナリ而シテ占有ニ關シテ困難ナル問題ヲ生スルコトアリト雖モ是ハ民法上占有ノ部ニ屬スルカ故ニ茲ニ之ヲ贅セス又他ニ注意スヘキハ忘失物ノコトナリ或學者ハ遺失物ト忘失物トヲ混同シ忘失

四二

三三

物ヲ以テ遺失物ニ含蓄セシムト雖モ是誤謬ナルヲ免レス抑モ遺失物ナルモノハ何人ノ占有内ニモ存在セサルモノヲ云フ之ニ反シテ忘失物トハ其所有主ニ於テ唯之ヲ忘レ來リシニ過キス例ヘハ余カ本校ノ机上ニ書籍ヲ忘レテ歸宅シ又ハ他人ノ家ニ葺入ヲ忘レテ歸リタル場合ニ於テ其書籍及葺入ハ遺失物ニハアラサルナリ故ニ之ヲ取ルモノハ竊盜罪タルヲ免レス何トナレハ占有ハ余カ忘レ來リタル所ノ家ノ所有主ニアレハナリ故ニ忘失物ハ遺失物ト同一視スヘカラス二者全く相異ナル所ノ性質ヲ有スルモノナリ

(第二遺失物タルニハ他人ノ所有物ナルヲ要ス若シ自己ノ所有物ナルトキハ之ヲ拾得スルハ己レノ權利ヲ實行スルニ外ナラス何ソ罪ノ問フヘキアラシヤ故ニ遺失物ハ他人ニ屬スルモノニシテ且其所有物ナラサルヘカス從テ何人ニモ所有權ノ存在セサルモノヲ拾得スルトキハ毫モ罪ナシトス夫ノ紙屑拾カ街道ニ散布セル紙屑ヲ拾集スルハ是人ノ拋棄セル物件ヲ拾フモノナルヲ以テ遺失物ニ關スル罪ヲ以テ論スルヲ得サルナリ

(第三遺失物ニ關スル罪ハ如何ナル意思ヲ以テ必要トスルヤト云フニ遺失物ヲ拾



フノ意思即チ何人ノ占有内ニモ存在セサル所ノ物件ヲ拾得スルノ意思アルチ必要トス故ニ街路ニ於テ拾得スルノ際其物件ハ自己ノ所有物ナリト思惟シタレトモ其後熟考シテ他人ノ所有物ナルコトヲ知り之ヲ隠匿スルトキハ遺失物ニ關スル罪トハナラサルヘシ何トナレハ此罪ハ物件ヲ拾得スル當時ニ於テ遺失物ヲ拾フ意アルチ要スルハ右ニ述ヘタルカ如シ然ルニ右ノ場合ニ於テハ拾得ノ當時ハ其意思ナカリシチ以テナリ若シ之ヲ遺失物ニ關スル罪ニ問フ如キアラハ擬律ノ錯誤モ又甚シキモノト云フヘシ

(第四)遺失物ニ關スル罪ヲ構成スル所ノ所爲ハ如何ナルモノチ云フヤ我刑法ニ於テハ單ニ遺失物ヲ拾得スルノミチ以テ罪トナサス之ヲ隠匿シテ官ニ申告セス又ハ所有主ニ還附セサルトキ始メテ此罪ハ成立スヘシ而シテ道遺ヲ拾ハストハ古人ハ之ヲ昭代ノ徵憑トシテ誇リタレトモ是決シテ嘉スヘキコトニアラサルナリ往來ニ於テ他人ノ遺失物ヲ拾フハ善行ト云ハサルチ得サルナリ唯之ヲ着服シテ官ニ申告セス又ハ正當所有主ニ還附セサルニ至リテハ有罪タルチ免レス以上講述シタル如ク解釋スルトキハ條理明晰更ニ疑點ナキカ如シト雖モ左ニ奇

異ナル例ヲ掲ケテ以テ此罪ト他ノ罪トノ關係ヲシテ益々明瞭ナラシメントス右ニ述ヘタルカ如ク我刑法ニ於テハ拾得ノ所爲アルノミチ以テ足レリトセスシテ之ニ加フルニ官ニ申告セス又ハ所有主ニ還附セサルチ要ス然ルニ余カ或物件ヲ拾得スルヤ否ヤ直チニ食シ其後ニ至リ届出テタル場合ノ如キハ共ニ遺失物ニ關スル罪トナラサルナリ何トナレハ此罪ハ所謂不爲犯ニ屬スルモノニシテ申告セス又ハ還附セサルニヨリ成立スルモノナレハナリ又菓子或ハ其他ノ物件ヲ街道ニ於テ拾得シ之ヲ自宅ニ攜帶シ警察署ニ申告シテ歸宅シタル後直チニ食シ又ハ賣却スル場合ノ如キ是亦遺失物ニ關スル罪ニアラサルナリ則チ是等ノ場合ハ皆受寄財産費消費トナルモノトス蓋拾得トハ自己ノ占有内ニ入ル、チ云フ故ニ拾得後ニ其物件ヲ食シ又ハ賣却スルハ即チ自己ノ占有内ニ存スル他人ノ物件ヲ費消スルモノト云ハサルヘカラス其受寄財産費消費ナルコトハ識者ヲ待テ後知ラサルナリ而シテ此罪ハ敢テ所有主ノ明諾ニ係ル受托物件ナルチ要セス苟シモ其占有ニ入りタルハ不正ノ所爲ニ出テサリシ所ノ物件ヲ費消シタル場合ニ於



テモ成立スルモノナレハ右ニ述ヘタル論結ハ其正當ナルコト論ヲ俟タサルヘシ然ルニ反對論ヲ主張スルモノナキニアラス左レトモ余ノ説ニ從フヲ以テ刑罰其權衡ヲ得ルニ至ルヘシ例ヘハ余往來ニ於テ一ノ糞入ヲ拾得シ之ヲ三日内ニ届出タルカ又ハ所有主ニ還附セサルトキハ遺失物ニ關ズル罪ニ問ハレ重禁錮又ハ罰金ノ刑ニ處セラル、ヘシ故ニ自由刑ヲ受ケスシテ唯罰金ノ刑ヲ受クルニ止ルコトアリ是頗ル正常ノコト、云フヘシ何トナレハ此罪ハ申告又ハ還附ヲ爲サ、ル怠慢ヲ罰シテ以テ其拾得物ヲ原所有主ニ還附セシムルヲ目的トスレハナリ然レトモ拾得物ヲ費消スルニ至テハ斯ノ如キ輕刑ヲ加フルヲ以テ未タ足レリトスヘカラス之ヲ受寄財産費消罪ニ問ヒ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處スルヲ以テ立法上刑ノ權衡ヲ得タルモノト云フヘシ

第五回

埋藏物ニ關スル罪

刑法第三百八十六條ニ曰ク他人ノ所有地内ニ於テ埋藏ノ物品ヲ掘得テ隱匿シタル者ハ亦前條ニ同シト此前條トハ前回ニ於テ講述シタル遺失物隱匿ノ罪ヲ規定

シタルモノナリ

埋藏物及遺失物ハ之ヲ皮相ヨリ論スルトキハ殆ント異ナル處ナキカ如シト雖モ之ヲ沈思熟考スルニ於テハ二者ノ間大ナル區別ノ存スルヲ知ルヘシ即チ前回ノ講義ニ於テ述ヘタルカ如ク遺失物ハ何人ノ占有内ニモ在ラサル物品ノ謂ナレトモ之ニ反シテ埋藏物ハ必ス其占有者アリトス而シテ我刑法ハ埋藏物ニ關スル罪ヲ以テ他人ノ所有地内ニ於テ掘得タルモノニ限ルカ故ニ其物品ノ占有權ハ地主ニ存在ス到底法律ノ目的ハ遺失物ニ就テハ其物品ノ所有主ヲ保護シ埋藏物ニ就テハ地主ノ占有權ヲ保護スルニアリ故ニ此原則ヲ推究スルトキハ左ノ如キ結果ヲ生スヘシ

(第一)埋藏物ハ占有者アルヘキモノナルヲ以テ掘得ノ所爲ハ先ツ他人ノ占有ニ屬スルモノヲ剝奪シ而シテ後之ヲ自己ノ占有ニ歸スルコアリ若シ其物品ニシテ他人ノ所有ニ屬シ且ツ惡意ヲ以テ掘得スルトキハ即チ竊取ニシテ直ニ盜罪ヲ構成スヘシ之ニ反シテ遺失物ニ在テハ何人モ占有スルモノナキカ故ニ縱令拾得ノ際惡意アリト雖モ其後之ヲ隱匿スルコアラサレハ未タ罪トナラサルナ



(第二)埋藏物ニ關スル罪ニ在テハ法律ノ保護スルモノハ地主ノ占有權ニシテ直接ニ埋藏物品ヲ保護スルコトアラサルナリ故ニ縱令埋藏ノ物品ハ自己ノ所有物ナルモ尙ホ此犯罪ヲ構成スヘシ然レトモ自己ノ所有地内ナル以上ハ他人ノ物品ヲ掘得ルモ其占有ハ既ニ己レニ存在スルヲ以テ埋藏物ニ關スル犯罪ハ成立セサルヘシ唯之ヲ費消シタルトキハ受寄財産費消罪トナルニ過キサルヘシ

(第三)占有權ニシテ苟モ地主ニ存在スル以上ハ地主若クハ掘得者ノ埋藏物アルコトヲ知ルト否トニ關係ナシ左レトモ之ヲ知ルト否トニ依リ占有權ノ有無ニ關係ヲ及ホスヘキ場合ハ此限ニアラス

財産毀損ノ罪

財産毀損ノ罪トハ權利ナクシテ他人ノ財産ヲ毀ツ所ノ罪ニシテ屢々人ノ犯ス所ナリ此罪ハ我刑法第四百十七條乃至第四百二十四條ノ八條ニ於テ規定セラル今其要點ヲ講述スヘシ之ニ先テ注意スヘキハ財産ナルモノハ千種万様ナルヲ以テ我刑法ニ於テハ財産ノ種類ニ依テ罪ヲ區別シタルコト是ナリ

(第一)茲ニ所謂財産トハ動産及不動産即チ家屋土地等悉ク之ヲ含蓄ス然レトモ總テ有形ナラサルヘカラス無形ノ財産ハ茲ニ包含セサルナリ蓋無形的即チ權利ヲ毀損スルハ到底爲シ能ハサルノ業ナルヘシ而シテ苟クモ財産ナル以上ハ價值ナルヘカヲラサルハ無論ナリト雖モ其價格ハ敢テ金錢ニ見積ルコトヲ得ルモノナルヲ要セス即チ賣却セント欲スルモ買主ヲ得サルカ如キ物件ニテモ可ナリトス例ヘハ家重代ノ由緒アル物件ノ如キ是ナリ之ヲ要スルニ心情上ノ價值ナルト實際上ノ價值ナルトヲ論セサルモノトス

(第二)毀損トハ何ソヤ財産ノ實質ヲ絶無ニ歸セシメ又ハ其形狀ヲ變更シ或ハ其外觀ヲ變スルハ是レ即チ毀損ナリ然ルニ此定義ニ付テ疑問アルハ例ヘハ瓶ヲ碎テ紛末トナスモ其紛末ニシテ殘存スル以上ハ實質ヲ絶無ナラシメタリトナシ難ガルヘシト云フノ點ナリトス左レトモ合密力ヲ假リテ以テ實質ヲ絶無ナラシムルハ實ニ容易ナルヘシ又熱火ニ依リ氷塊ヲ融解シテ水トナシ或ハ壘ノ形ヲ變シテ彎曲ナラシムルカ如キハ即チ形狀ヲ變スルモノナリ然ルニ墨ヲ以テ美畫ヲ塗沫スルカ如キハ敢テ其美畫ヲ毀チタルニアラスシテ唯其外觀ヲ變シタルモノナレト



モ是亦毀損罪ナルヲ免レズ而シテ毀損ハ之ヲ生活物ニ加フルヲ得ヘシ例ヘハ牛角又ハ牛鼻ヲ截斷シ或ハ豕ノ足ヲ切斷スルカ如キヲ云フ斯ノ如ク牛馬等ハ毀損スルコトヲ得ヘシト雖モ我刑法ニ於テハ其毀損ヲ罰セスシテ唯其殺害ノ罪ヲ規定スルノミ即チ牛馬等ヲ殺害セサル以上ハ如何ニ之ヲ傷害スルモ敢テ罪トナラズト雖モ若シ其切斷シタル肉ヲ取來ルコトアラハ盜罪ヲ構成スヘシ余ハ亦此點ニ於テ刑ノ權衡ノ奇怪ナルニ驚カサルヲ得サルナリ

(第三)毀損ハ必ス暴行ヲ以テスルヲ要スルヤ例ヘハ他人所有ノ墾ヲ破碎セシハ必ス腕力ヲ以テスヘキヤト云フニ物理上又ハ舍密上ノ手段ヲ以テスルモ尙ホ毀損罪トナルヘシ加之溫度ヲ以テ此罪ヲ構成スルコトアリ例ヘハ氷塊ヲ貯藏スル倉庫ノ壁ニ極小ナル穴ヲ穿テ以テ空氣ヲ流通セシムルトキハ空氣中ニ包含スル溫度ニ依テ氷塊ハ融解スルニ至ルヘシ是純然タル毀損罪ナリトス又硫酸ナルモノハ物件ヲ腐蝕セシムル性質ヲ有スル藥劑ナリ之ヲ街路等ニ於テ通行人ノ衣服ニ注キ又着用スヘカラサルニ至ラシムルカ如キ是亦毀損罪ヲ構成スヘシ又電氣力或ハ光線ヲ假リテ以テ財產ヲ毀損スルヲ得ヘシ之ニ付テハ民事裁判所ニ於テ

四〇

四一

有名ナリシ所ノ實例アリ今之ヲ略述セシニ府下下谷區御成街道ニ於テ互ニ相對スル藥劑店及鏡店アリ其鏡店ハ鏡ノ大招牌ヲ店頭ニ掲クルヲ以テ日々午後三四時ノ交日光之ニ直射シ藥店ノ藥劑ニ反射ヲ與ヒ藥劑ヲ破裂シテ大ナル損害ヲ蒙ラシメタルカ故ニ藥店主ハ訴訟ヲ提起シテ招牌取除ヲ請求スルニ至レリ斯ノ如キ場合ニ於テ故意ニ其招牌ヲ掲ケタリトセハ純然タル毀損罪ヲ構成スヘシ

(第四)財產毀損ハ故意ニ出ツルヲ要ス故ニ單ニ過失ニ基ツクトキハ民事上ノ損害賠償ニ止マリ毫モ刑法上ノ責任ナシトス

(第五)財產毀損ノ罪ハ毀損シタル物体ノ種類ニ從テ區別セラレ又其刑ヲ異ニスルコト左ノ如シ

(イ)人ノ家屋其他ノ建造物ヲ毀壞シタル者ハ一月以上五年以上ノ重禁錮ニ處シ

二圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第四百十七條)

(ロ)人ノ家屋ニ屬スル牆壁及園池ノ裝飾又ハ田圃ノ樊園牧場ノ柵欄ヲ毀壞シタル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス(第四百十八條)



- (ニ)人ノ稼穡竹木其他需用ノ植物ヲ毀損シタル者ハ十一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス(第四百十九條)
- (三)土地ノ經界ヲ表シタル物件ヲ毀壞シ又ハ移轉シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第四百二十條)
- 元來此種ノ罪ハ財産毀損ノ罪ニアラスシテ其性質ハ全ク異ナリタルモノナレトモ唯我刑法ハ之ヲ毀損罪ニ准スルノミ
- (ホ)人ノ日用ニ供スル處ノ器物ヲ毀棄シタル者ハ十一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス(第四百二十一條)
- (ヘ)人ノ牛馬ヲ殺シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第四百二十二條)
- (ト)牛馬以外ノ家畜ヲ殺シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス但被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス(第四百二十三條)
- (チ)人ノ權利義務ニ關スル證書類ヲ毀棄滅盡シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第四百二十四條)抑モ此罪ハ

無形ナル權利ヲ毀壞スルノ罪ニアラサルナリ無形ナル物ハ何ヲ以テ毀壞スルヲ得ンヤ唯其權利義務ヲ證明スル處ノ一片ノ紙ヲ毀壞スルニ過キサリナリ

我刑法ニ於テ規定スル處ノ財産毀損ノ罪右ノ如シ然レトモ深ク考察スルトキハ尙ホ脱漏ナキニアラス即チ他人ノ土地ヲ穿掘スルカ如キハ我刑法中明條ナキモノナリ左レトモ是看過スヘキ罪ニアラサルヘシ而シテ我刑法ニ依レハ人ノ家屋建築物等ヲ毀損シ又ハ人ノ物件ヲ費消スルトキハ有罪トセラルレトモ人ノ米俵ヲ水中ニ投入スルカ如キ所爲ハ之ヲ罰スル正條ヲ欠キタリ蓋米俵ノ如キハ日用ノ器具ト云フヲ得ス又家屋ト云フ文字ノ内ニモ含蓄セサルナリ而シテ米俵ヲ水中ニ投入スルハ純然タル毀損罪ナルコトハ明白ナリトス然ルニ之ニ付テ一モ規定セサルハ亦我刑法ノ一ノ缺點ナリトセサルヲ得ス

他人ヨリ委託セラレタル物件ニ對シテ尙ホ毀損罪ヲ構成スルヲ得ヘシ而シテ消費罪ト毀損罪トハ之ヲ區別セサルヘカラサルナリ或論者ノ說ニ依レハ毀損罪ト消費罪ノ分ル、所ハ占有權ノ有無ニアリトセリ然レトモ此說ハ取ルニ足ラサルナリ何トナレハ受寄財産費消費ニ在テハ犯人ハ占有ヲ有スルヤ明カナリト雖モ斯ル



物件ニ付テモ尙ホ毀損罪ヲ見ルヲ得ヘケレハナリ例ヘハ余ニシテ他人ノ家屋ヲ借受スルトキハ其家屋ハ余ノ占有内ニアルハ無論ナリ然ルニ若シ之ヲ毀壞スルトセハ如何ニ論者ト雖モ余ハ家屋ヲ費消シタリト云フヲ得サルヘシ是純然タル毀損罪ナリ然ラハ消費ト毀損トハ占有ノ有無ニヨリ區別スルヲ得サルコトハ明白ニシテ二罪ノ眞ノ區別ハ處爲ニ依ラサルヘカラサルナリ即チ消費ハ財産ノ目的ニ從テ之ヲ使用スルヲ云フ例ヘハ菓子ハ之ヲ食ヘ金錢ハ之ヲ費シ其他總テノ有價物ハ之ヲ賣却スルカ如キ是消費ナリ然ルニ使用ノ目的外ニ滅盡セシムルハ即チ毀損ナリトス例ヘハ他人ヨリ物件ヲ預リテ之ヲ毀壞シ又ハ家屋ヲ借受シテ之ヲ毀壞スルカ如キ即チ是ナリ又人ヨリ委託セラレタル米穀ニテモ之ヲ賣却シ或ハ之ヲ食スルトキハ消費罪ヲ成立セシムルヤ明カナレトモ之ヲ水中ニ投入スルカ如キハ毀損罪ヲ構成スヘシ此場合ノ如キ犯人ハ其財産ニヨリ利益スル處秋毫モ之レ無シト云フヘシ尙ホ注意スヘキコトハ毀損罪ハ如何ナル手段ニ依ルヲ問ハサルナリ即チ舍密力又ハ物理力等ニ依ルモ可ナリトス是前ニ述ヘタル所ニシテ諸君ハ記憶セラル、ナラン然レトモ火力或ハ水力ヲ用ヘテ財産ヲ毀損スル

トキハ一種ノ別罪ヲ構成スルモノナリ英國刑法ノ如キハ放火罪ヲ以テ財産毀損罪ノ一種トナセトモ是其當ヲ得タルモノニアラス左レトモ火力ヲ使用スルノミヲ以テ直チニ放火罪トナシ又水力ヲ使用スルノミヲ以テ直チニ決水罪ナリト判定スルヲ得サルナリ即チ此二罪ヲ構成センコトハ各別ノ手段ト各別ノ物体トヲ要ス例ヘハ火力ヲ以テ他人所有ノ「マツチ」ヲ燒燬スルカ如キハ是亦一ノ毀損罪ナリト雖モ他人ノ家屋ヲ燒燬スルトキハ放火罪ヲ構成スヘシ

### 生命ニ對スル罪

#### 總說

生命ニ對スル罪ハ之ヲ分テ四種トス第一謀殺故殺ノ罪第二過失殺ノ罪第三自殺ノ罪第四墮胎ノ罪是ナリ然レトモ予ハ此等ノ各罪ニ付キ論スルニ先チ生命ニ對スル罪ノ普通一般ノ性質及此等ノ犯罪ニ固有ナル不論罪并ニ宥恕ノ原因ヲ論述セントス

#### 第一 殺人罪一般ノ性質

凡ソ殺人罪ハ權利ナクシテ他人ノ生命ヲ奪フ所爲ヨリ成ルモノナリ今此罪ニ一



般ナル原素ヲ舉シレハ左ノ如シ

一 殺人罪ノ物体ハ生活スル處ノ有形人ナリ故ニ苟モ生命アル人類タル以上ハ廢疾其他異形ノモノ若クハ到底生存ノ見込ミナキモノタルト否トチ分ダスト雖モ死屍若クハ妖怪ノ如キニ至リテハ殺人罪ノ物体タルヲ得サルナリ

二 權利ナクシテ生命ヲ奪フタルモノニ非レハ殺人罪ヲ構成スルコトナシ故ニ彼ノ正當防衛ニ依リ人ヲ殺シ若クハ獄吏ノ犯罪人ヲ死刑ニ處スルカ如キハ殺人ノ罪ヲ以テ問フヲ得ス

三 生命ハ天帝ノ賦與スル所ニシテ天帝ノ外何人ト雖モ能ク生命ヲ奪フコトヲ得ス所謂殺人ノ所爲ナルモノハ人ノ生命ヲ喪失スルノ結果ヲ生スヘキ原因ヲ作爲スルニ過キサルナリ例令ハ予刀ヲ以テ人ヲ兩斷スルモ予ハ其生命ヲ奪フコトヲ得ス生命ハ只兩斷ノ所爲ニ依リ自ラ消滅シ去ルニ外ナラサルベシ故ニ殺人罪ノ所爲ハ單ニ生命ヲ喪失スルノ原因ヲ與フルモノナリト解スヘシ然レトモ其源因タルニハ一般ノ犯罪ニ要スル責任アルノ外尙ホ必ス直接ニシテ且確定シタルモノダラサルヘカラス若シ之ヲ否ラストセハ呪咀其他ノ怪力ヲ以テ人ヲ誑死セ

シメ又ハ貧者ノ究迫ニ依リ自殺スルヲ傍觀シテ之ニ金錢ヲ惠與セサル如キハ勿論凡ソ人ノ父母タルモノハ盡ク殺人犯タルヲ免レサルニ至ラン何トナレハ生ハ死ノ原因ナレハ人ニシテ苟モ死アル以上ハ父母ハ則チ其子ヲ生ムト同時ニ死亡ノ原因ヲ作爲スルモノナレハナリ而シテ其死亡ト死亡ノ原因トノ關係ヲ稱シテ因果ノ連結ト云フ但シ其原因タルヤ直接且確定ナラサレハ因果ニ非ラサルナリ左ニ連結ニ關スル二三ノ原則ヲ示サン

第一則 結果ノ發生スヘキ方向ニ對シ外形上ノ原因ヲ與ヘタルトキハ之ヨリ生スル遠大ノ結果ニ就テモ亦因果ノ連結ヲ斷絶セシムルニ足ラストス譬ヘハ人ヲ毒殺セント欲シ毒物ヲ以テ食卓上ニ置キタル以上ハ被害者自ラ之ヲ飯食シ爲メニ其死亡ヲ來ストキハ犯者自ラ其毒物ヲ被害者ニ飲マシメサルモ尙之ヲ毒殺ノ罪アルモノトセサルヲ得ス是レ結果ノ起ルヘキ方向ニ外形上ノ原因ヲ與ヘタルモノナレハナリ又水泳ニ巧ミナルモノ水泳ヲ知ラサル人ヲ欺キ河中ニ誘ヒ之ヲ放任シテ顧ミサル如キモ亦同一理タルヘシ要之此原則ハ一度或ル積極的ノ所爲ヲ爲シタル以上ハ單ニ之ヲ自然ノ結果ニ放任スルヨリ發生ス



ヘキ結果ニ對スル責任ヲ免ル、コトヲ得サルト云フニアリ

第二則 因果ノ連結ハ迅速ニシテ且練熟ノ技術ヲ施シ生命ヲ全フシ得ヘキ場合ニ之ヲ實行セサルノ故ヲ以テ斷絶スルコトナカルヘシ例令ハ予汝ノ腕ヲ斬リタルニ直ニ醫師ノ治療ヲ受クレハ死亡ノ結果ハ來サ、リシナラニ之ヲ治療セシテ死シタルモノナレハ予ハ殺人罪ノ責ナシト云フヲ得サル如シ然レトモ該傷ヲ自然ニ放任スルモ遂ニ全癒スヘキ場合ニ於テ庸醫ノ有害ナル治療ヲ受ケ爲メニ死亡シタルトキハ原因結果ノ關係ヲ絶ツニ足ルヘシ蓋シ此場合ニ於テハ死亡ノ原因ハ單ニ治療ノ所爲ニ基キタルモノナレハナリ

第三則 被害者ノ身体上構造ノ不完全又ハ他ニ生命ノ喪失ニ加効スル狀況アルカ爲メ死亡ノ結果ヲ來スモ尙ホ因果ノ連結ヲ絶ツ者ニ非ス例令ハ老衰者若クハ虛弱者ヲ毆打シ爲メニ其死ヲ來タシタル場合ノ如シ此場合ニ於テ加害者ハ該毆打タルヤ通常人ナレハ死亡セサルモ被害者ハ虛弱ナルカ爲メニ死亡セリトテ之ヲ口實トシ責ヲ辭スルヲ得ス又人ヲ地上ニ突キ倒シタルニ巖石アリタルカ爲メニ死亡シタル場合モ同一理ナリトス但シ偶然ナル他ノ原因ヨリ死

亡ヲ來タシタリシ場合ハ此限ニアラス譬ヘハ人ヲ轉倒シタルトキ岩石ノ天上ヨリ落下スルカ又ハ他ヨリ轉動シ來リタル爲メニ死亡シタル如キハ偶然ノ出來事ヨリ生シタルモノナレハ責任ヲ負フコトナカルヘキナリ

第二 正當防衛則チ特別ノ不諭罪

正當防衛トハ自己若クハ他人ノ身体財産ニ對シ現在受クル所ノ不法ノ攻撃ヲ除却スルニ欠クヘカラサル防禦ノ爲メニ他人ヲ害スルモ法律ノ罪トシ認メサル所ノモノナリ而シテ其一般ノ性質如何ニ就テハ已ニ汎論ヲ講スルニ當テ詳述シタルヲ以テ茲ニハ之ヲ省略シ今左ニ正當防衛ニ必要ナル條件ヲ示サン

第一攻撃ハ必ス不法ナラサルヘカラス故ニ逮捕官吏令狀ヲ以テ人ヲ逮捕シ獄吏檢事ノ命ヲ受ケテ犯人ヲ收監スルカ如キハ法律上權利ヲ有シテ爲スモノナレハ此等ニ對シテハ正當防衛ノ權ナシ斯クノ如ク正當防衛ニ於テハ必ス攻撃ノ不法ナルコトヲ要スルヲ以テ其攻撃モ亦必ス人力ニ出ツルモノタルヲ要ス自然力若クハ禽獸ニ對スル正當防衛ノ權アルヘキモノニ非ス蓋シ道理ヲ具備セサル自然力若クハ禽獸ノ所爲ニ正不正ノアルヘキ理ナケレハナリ又是非ノ辨別ナキ幼者



瘋癲等刑法上ノ不能力者ノ暴行ニ對シテハ正當防衛ノ權ナシ何トナレハ幼者瘋癲者ノ如キハ是非ノ辨別ナキモノニシテ從テ其行フタル所爲ニ就テ正不正ヲ區別スルヲ得サレハナリ果シテ然ラハ幼者瘋癲者ノ如キハ丁年者ヨリモ一層廣大ナル權ヲ有スルカ如シト雖此等ノ者ノ暴行ニ對シテハ只タ其防禦ノ所爲ニシテ不得止ニ出テタルトキハ總則第七十五條ニ從ヒ抗拒スヘカラサル強制又ハ天災若クハ意外ノ變ニ遇ヒ自己若クハ親屬ノ身軀ヲ防衛スルニ出テタルノ所爲トシテ不論罪トスルノ外ナカルヘシ

攻撃ノ不法ナルヲ知ルト否トニ就テハ學者間多少議論アリテ往々其不法ナルコトヲ知ラサル場合ニ於テハ之ヲ惡意ナキモノトスルノ學者ナキニ非スト雖正當防衛ニ出ツルノ所爲ハ謀故殺等ニ過キサルヲ以テ殊ニ惡意アルヲ要セス又其所爲ノ法律ニ反スルト否トニシテ法律ノ問題ニ屬スルトキハ其不識ヲ以テ惡意ナキモノトスルコトヲ得サルヲ以テ予ハ盡ク此論ニ服スルヲ得スト雖モ事實上ノ不識ニ關シテハ予ハ「ビシヨブ」氏ノ說ヲ以テ最モ其當ヲ得タルモノト信スレハ左ニ之ヲ掲ケン氏ノ說ニ曰ク

五〇

五二

攻撃者ヲ殺傷スルコ足ルヘキ事實ノ存在スルモノト信スヘキ適當ノ原因アリタルトキ其錯誤ニ出テ、人ヲ害シタルトキト雖之ヲ無罪トセサルヲ得ス正當防衛ノ權利ハ其當時ニ現ハレタル事實ニ從ヒ之ヲ行フヘキモノトス

故ニ他ニ事實ノ存在スルモノアリテ其攻撃ヲシテ正當ナラシムルニ足ルヘキ場合ト雖尙ホ其不正不法タル事實ヲ知ラサリシモノトナシ以テ之ヲ無罪トセサルヲ得ス

第二攻撃ハ現在タラサルヘカラス 故ニ若シ攻撃ニシテ現在ナラサレハ防衛權ヲ使用スルコトヲ得サルナリ然レトモ我刑法第三百十六條ニ於テハ身体財産ヲ防衛スルニ出ツルト雖已ムコトヲ得サルニ非スシテ害ヲ暴行人ニ加ヘ又ハ危害已ニ去リタル後ニ於テ勢ニ乘シ仍ホ害ヲ暴行人ニ加ヘタルモノハ不論罪ノ限リニ非ス但シ情狀ニ依リ第三百十三條ノ例ニ照シ其罪ヲ宥恕スルコトヲ得ト規定シ之ヲ宥恕ノ原因トセリ

第三攻撃ハ必ズ暴行タルコトヲ要ス 若シ暴行ニ非レハ防衛權ナシト雖法文ノ暴行ナル語ハ強迫ヲモ含蓄スルモノト解スル方或ハ適當ナラン



第四攻撃ハ一般ニ生命身体ニ對スルモノナラサルヘカラス。然レトモ本邦刑法ニ於テハ財産ニ就テ特例ヲ設ケ第一放火其他暴行ヲ防止シ第二盜犯ヲ防止シ又ハ盜賊ヲ取還ス爲メ第三夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入り若クハ門戸牆壁ヲ踰越損壞スルヲ防止スルニ出テタルノ場合ハ正當防衛ニ準シタリ(第三百十五條)但シ生命ニ係ル場合ニ於テハ自己ノ爲メニスルト他人ノ爲メニスルトヲ問ハスト雖此等ノ特例ニ於テハ必ス自己ノ爲メニスルヲ要ス。

第五防衛ニ欠クヘカラサルモノナラサルヘカラス。故ニ容易ニ官ノ助力ヲ乞ヒ又ハ避クルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ正當防衛ノ權ナカルヘシ。

第六不正ノ所爲ニ依リ自ラ攻撃ヲ招キタルニアラサルコトヲ要ス。此條件タルヤ實ニ我刑法ノ外他邦ノ刑法ニ於テ未ダ曾テ見サル所ニシテ學理上決シテ之ヲ設クルノ必要ヲ見サルナリ蓋シ立法官ハ不正ノ所業ヲナシ故ラニ暴行ヲ招キ而シテ後正當防衛ノ權利ヲ濫用シテ人ヲ殺傷スルモノ、如キ場合ヲ豫想シテ此條件ヲ設ケルノ必要アルモノト認メタルニ由ルヘシト雖苟モ自己ノ生命ヲ防衛スルニ必要ナルノ場合ニ臨マハ其始メ自己ノ所爲ニ依リ攻撃ヲ招クニ

至ルモ正當防衛ノ權ナシトスルハ理論ニ適スルモノニ非ス故ニ此條件ノ解釋ハ最モ其適用ヲ狹隘ナラシメ攻撃ヲ招ク處ノ不正ノ所業ハ重大且直接ニ攻撃ノ原因タリシ場合ニ限ラサルヲ得ス。

### 第三 挑發則チ特別ノ宥恕減輕

挑發ニ出テタル罪トハ自己ノ身体ニ暴行ヲ受ケルニ當リ直ニ怒ヲ發シテ行フタル所爲ヲ云ヒ本刑ニ二等又ハ三等ヲ減スルコトヲ得ヘキモノニシテ刑法第三百九條及第三百十三條ニ規定スル處ノ罪是ナリ今其條件ヲ掲クレハ將ニ左ノ如シ。

第一 不正ノ暴行ヲ受ケサルヘカラス。此暴行ノ不正ナラサルヘカラスルハ前ニ陳述シタルカ如シ。

第二 暴行ハ自己ノ身体ニ對スルモノナラサルヘカラス。然レトモ我カ法律カ單ニ之ヲ自己ノ身体ノミニ止メタルハ敢テ理由ナキニ似タリ彼ノ親族ノ生命身体ニ對シ暴行ヲ受ケタル場合ノ如キモノハ充分宥恕ノ原因トスルニ足ルヘシ。

第三 自己ニ過失ナキコトヲ要ス。法文ニハ不正ノ所爲ニ依リ自ラ暴行ヲ招キタルモノ云々ト明言スレトモ其意甚ク廣漠ニ失シテ明晰チ欠クト雖モ予ハ唯之



ヲ憤怒ノ必要ナル場合ニ非レハ宥恕ノ原因ニアラストセルコ外ナラストセム例  
 令ハ公然ノ演説ニ依リ人ヲ誹毀シ爲メニ其暴行ヲ受ケ怒ヲ發スルカ如キハ憤怒  
 ヲ發スヘキ正當ノ理由ナキモノナリ

第四 憤怒ノ繼續間ナラサルヘカラス。自己ノ身体ニ對シ暴行ヲ受クルト雖憤  
 怒ヲ發セサル以上ハ宥恕ノ限リニ非サルノミナラス殺傷ノ所爲モ亦憤怒ノ繼續  
 中タルコトヲ要ス但シ之ニ反シ豫メ謀テ暴行ヲ受ケ故ラニ暴行人ヲ殺傷シタル  
 場合ト雖苟モ眞ニ怒ヲ發シ其憤怒中ニ係ル者ハ仍ホ之ヲ宥恕ノ原因アルモノト  
 セサルヲ得ス其理ハ彼ノ罪ヲ犯スノ意ヲ以テ故ラニ醉狂シ眞ニ精神ノ喪失ニ依  
 リ其罪ヲ遂ケタルモノヲ以テ不論罪トスルノ場合ト異ルコトナカルヘシ

右ノ四條件ヲ以テ宥恕ノ原因タル挑發ニ必要ナルモノトスレトモ現行法ニ於テ  
 ハ第三百十一條ニ於テ本夫其妻ノ姦通ヲ覺知シ姦所ニ於テ直チニ姦夫又ハ姦婦  
 ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス但シ本夫先キニ姦通ヲ縱容シタルモノハ此限ニ  
 アラスト規定シ右ノ四條件ヲ全備セサルモ特ニ挑發ニ準シ犯罪ヲ宥恕セリ尤モ  
 人ノ妻タルモノハ其夫ノ他ノ婦ト姦通スル場合ニ於テ姦所ニ於テ之ヲ殺傷スル

モ其宥恕ノ特典ヲ受クルコトヲ得ス是レ蓋シ本邦ニ於テハ男尊女卑ノ因習尙ホ  
 消滅ニ歸セサルニ原因スルモノナラソカ

又刑法第三百十二條ニ於テモ晝間故ナク人ノ住居スル邸宅ニ入り若クハ門戶牆  
 壁ヲ踰越損壞セントスル者ヲ防止スル爲メ之ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕スト  
 規定シ前條ト同シク挑發ニ準シ其罪ヲ宥恕セリ若シ夜中故ナク邸宅ニ入ルモノ  
 ナルトキハ正當防衛ヲ以テ論スヘキモノトス而シテ其夜中若クハ晝間ノ區別ハ  
 何ヲ以テ標準トナシ定ムヘキヤト云フニ英國ノ如キハ國人皆ナ睡眠ニ巧ミニシ  
 テ大概子午前十時前後ニ於テ寢床ヲ離ル、ヲ以テ通常トスルカ故ニ法律ヲ以テ  
 午后九時ヨリ午前十時ニ至ル間ヲ夜間トスト規定スルト雖モ本邦ノ如キハ別ニ  
 之カ規定ナケレハ曆ニ從テ之ヲ區別スルノ外ナキナリ

### 謀殺故殺ノ罪

刑法第二百九十二條ニ曰ク豫メ謀テ人ヲ殺シタルモノハ謀殺ノ罪ト爲シ云々ト  
 又其第二百九十四條ニ曰ク故意ヲ以テ人ヲ殺シタルモノハ故殺ノ罪トナシ云々  
 ト是我刑法ノ下ス處ノ定義ニシテ此定義ニ從フトキハ謀殺ニハ故意ヲ要セサル



モノ、如ク甚ク不完全ナル定義ト云ハサルヲ得ス抑モ謀故殺ニ普通ナル原素ハ故意即チ死亡ノ結果ヲ發生スルノ意志トス故ニ苟モ故意ニシテ存セサレハ假令人ヲシテ死ニ至ラシムルノ結果ヲ生スルモ謀殺故殺ノ罪ヲ構成セスシテ過失殺トナルヘキナリ然レトモ必スシモ此結果ノ發生ヲ希望スルコトヲ要セス苟モ自己ノ行フ處ノ所爲ニシテ人ノ死亡ヲ來スヘキコトアルヘキヲ知ル以上ハ其死亡ヲ欲セサルモ仍ホ謀故殺ノ罪タルニ充分ナリ譬ヘハ或ル廢屋又ハ露積シタル芝草ヲ燒燬スルノ目的ヲ以テ之ニ放火スルモ其廢屋又ハ芝草中ニ人ノ現在スルコトヲ知リ且放火ノ所爲ニ依リ之ヲ燒死セシムルノ結果ヲ生スヘキコトヲ知リツ、爲シタルトキハ之ヲ謀殺若クハ故殺ニ問ハサルヲ得ス又タ貧困ニシテ子孫ヲ養育スルコト能ハサルニ依リ其幼兒ヲ遺棄スルノ父母ハ其幼兒ノ生存發育ヲ希望スルモノナルモ爲メニ死亡ヲ來スヘキコトヲ知リツ、之ヲ爲シタルトキハ之ヲ謀殺ノ罪アリト認メサルヘカラス此點ニ關シテハ我刑法ト英國刑法トノ間差異アリ則チ我刑法ニ於テハ死亡ヲ來スヘキコトヲ知リツ、爲シタルニ非レハ罪トセサレトモ英國刑法ニ於テハ知リツ、爲シタルハ勿論假令之ヲ知ラサルモ知

リ得可キ位置ニアレハ可ナリトセリ故ニ理論上ヨリ論スルトキハ日本刑法ニ依レハ他人ノ首ヲ斬ルモ多分死セサルヘシト信シ之ヲ斬リタル如キハ死スヘシト知リツ、爲シタルニ非レハ謀殺若クハ故殺トスルヲ得サルカ如シ以下謀殺故殺ノ區別ヲ講述セシ  
 謀殺ハ豫謀ニ出テタル殺人罪ニシテ故殺ハ感激ニ出テタル殺人罪タリ而シテ豫謀感激ノ何物タルニ就テハ已ニ汎論ニ於テ之ヲ詳述シタルヲ以テ今爰ニ之ヲ贊セスト雖現行刑法ニ於テハ豫謀ニ出ツルモノヲ謀殺トナシ豫謀ニ出テサルモノヲ故殺トシ積極的ヨリ故殺ノ定義ヲ與ヘ豫謀ノ有無ヲ以テ單ニ謀故殺ヲ區別スルノ標準ヲ定メタルカ故ニ豫謀ナキノ殺人ハ盡ク之ヲ故殺ノ罪トスルコトヲ得ヘシ然レトモ所謂謀殺ナルモノハ豫謀ニ出テタル故殺ニ非スシテ人ヲ殺スニ豫謀ヲ以テ之ヲ實行シタルモノナリ換言セハ豫謀ハ殺意ニ固着スルモノニ非スシテ所爲ノ實行ニ固着スルモノナリ故ニ豫メ謀テ人ヲ殺スノ意アリシモ殺時他ノ激スル所トナリ之ヲ殺シタルトキハ假令豫謀ノ前ニ存スルアルモ殺時ノ感激ニ依リ消滅シ實行ニ固着スルコトナケレハ之ヲ故殺ノ罪トセサルヲ得ス假令ハ君



父ノ仇ヲ報セント欲シ多年豫謀ヲ爲シ仇ヲ殺サントノ意ヲ持スルモ其實行ニ際シ感激ニ出ツルトキハ之ヲ故殺トシテ罰セサルヲ得サルカ如シ其他豫メ謀ルモ或ル條件ノ發生如何ニ從ヒ其實行ヲ爲ス場合ノ如キハ概ネ之ヲ故殺ト認定スルコトヲ得彼ノ本夫自己ノ妻他人ト姦通セシヲ知リ姦所ニ於テ之ヲ殺傷セントシ姦夫姦婦ノ同衾ヲ待ツ久矣偶々其相通スルヲ目撃シ直ニ感激ヲ發シ之ヲ殺シタル如キハ感激ニ出テタルモノニシテ條件附ノ故殺ナリトス

又タ共犯ノ場合ニ於テモ豫謀ハ實行ニ固着スルモノナレハ犯人豫メ互ニ謀リタリト雖實行ノ時ニ當リ或ハ感激ニ出テタルモノト然ラサルモノトアルトキハ其感激ニ出テタルト否トニ因リ其責任ヲ異ニシ感激ニ出テタルモノヲ故殺トシ豫謀ニ出テタルモノヲ謀殺トセサルヲ得ス其他殺人罪ニ於ケル教唆者從犯モ又タ此理由ニ依テ其區別ヲナスヘキナリ是ヨリ謀殺故殺罪ノ種類ヲ述ヘン

- 一 毒殺 即チ刑法第二百九十三條ノ場合
- 二 慘酷殺人 即チ刑法第二百九十五條ノ場合
- 三 重輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又ハ既ニ犯シテ其犯ヲ免リ、爲メ人ヲ故殺

スルノ罪 即チ第二百九十條ノ場合是ナリ然レトモ法文ノ所謂罪ヲ犯スニ便利ナル爲メトハ現ニ罪ヲ犯サ、ルモ單ニ便宜ナリト思料シタルヲ以テ足レリトセス必ス現ニ罪ヲ犯シタルコトヲ要シ又タ其罪ヲ免ル、爲メトハ罪ヲ免ル、ノ所爲アルコトヲ要シ單ニ免レントスルノ意アルヲ以テ足レリトセス故ニ本條ハ故殺ヲ以テ重罪輕罪ヲ犯ス所爲ノ方便トナシ又ハ已ニ犯シタル罪ヲ免ル、所爲ノ方便トナシタルモノヲ指示スルニ止マルモノト解釋スルヲ以テ可トス

- 四 人ヲ殺スノ意ニ出テ詐稱誘導シテ危害ニ陥レ死ニ致シタルモノ即チ刑法第二百九十七條ノ場合 本條ハ別段規定ヲ要セサルモノ、如シ何トナレハ本條ハ唯手段ノ異ナルノミニシテ罪質ニ於テハ謀故殺罪ニ異ルコトナケレハナリ

- 五 謀故殺ヲ行ヒ誤テ他人ヲ殺スモノ即チ刑法第二百九十八條ノ場合是ナリ 本條モ別ニ規定ヲ要セサル如シ蓋シ當然ノ事ヲ規定スルモノナレハナリ



右數種ノ謀故殺罪ノ外尙ホ決闘及ヒ子殺ノ罪ヲ以テ別種ノ罪トナシ通常ノ謀故殺罪ヨリ輕キ刑ヲ以テ罰スルノ邦國ナキニ非スト雖我刑法ハ全ク理論上ヨリ之ヲ謀故殺ノ罪ニ問フヘキモノトセリ蓋シ決闘ノ如キハ我邦ニ於テハ未タ其習慣ナキヲ以テ特ニ刑法ニ於テ寬典ニ處スルカ如キアラハ却テ此惡習慣ヲ養成スルノ弊ヲ生スルコトナキヲ期セス我立法者ノ通常ノ謀故殺ヲ以テ其罪ヲ處斷スヘキモノトセルハ實ニ其當ヲ得タルモノト云フヘシ

### 自殺ニ關スル罪

此犯罪ニ付テハ汎論ニ於テ論シタル如ク罪トナルモノニ非ス從テ此犯罪ノ教唆者補助者モ罪トナルコトナシ何トナレハ其基本トナルヘキ犯罪ニシテ成立セザレハ之ヲ教唆補助シタリトテ罪トナルノ道理ナケレハナリ然ルニ我刑法ニ教唆者補助者ヲ罰スルハ學理ニ適シタルモノト云フヘカラス(刑法第三百二十條反之加功者則チ手ヲ下シタルモノハ純然タル謀殺ナレハ之ヲ教唆者ト同一ノ刑ニ處スルハ大ニ權衡ヲ失スルモノト云フヘシ

### 過失殺

中過失殺ニ關シテハ汎論ニ就テ既ニ詳説シタレハ校外生諸氏ハ十分ニ了解セラレシナラント信スレハ今又タ茲ニ之ヲ贅セス

### 墮胎ノ罪

墮胎トハ不正ニ婦女ノ胚胎若クハ胎兒ヲ殺スノ意ヲ以テ之ヲ墮シ若クハ殺スノ所爲ヲ云フ而シテ本節ノ罪ハ之ヲ論セサルモ了解ニ難カラスト信スレハ爰ニ之ヲ詳説セス

### 身軀ニ對スル罪

#### 毆打創傷ノ罪

身體ノ傷害ハ凡テ暴行ノ手段ニ出ツルヲ要スルヲ以テ學術上一般ノ性質トスルトモ我刑法ハ其區域ヲ狹隘ニシ管ニ暴行ヲ以テ足レリトセス尙ホ毆打則チ暴行ノ一種ヲ以テ手段トシタル傷害ニアラサレハ此罪ナシトスレトモ毆打ノ文字ヲ以テ嚴正ニ其字義上ヨリ解釋スルトキハ實ニ刑法ヲシテ空文ヲラシムルニ至ルヘキヲ以テ予ハ毆打トハ身體ニ苦痛ヲ感セシムヘキ暴行ヲ指示スルモノト解釋スルヲ以テ當ヲ得タリトセム故ニ熱湯若クハ劇藥ヲ以テ人體ニ濺クカ如キ又ハ



他人ノ馬ヲ驚カシ騎手爲メニ落馬シ負傷シタルカ如キハ毆打ナリトスルヲ得ルモ暴行ヲ以テ驚駭若クハ恐懼ヲ生セシムルモノ、如キハ身体ニ苦痛ヲ感セシムルモノニアラサルヲ以テ之ヲ毆打ト云フコトヲ得ス

創傷トハ身体ノ完全ヲ侵害スル身体上ノ顯象ヲ指ス故ニ人ヲ毆打シ爲メニ他人ノ身体ニ赤色ヲ呈スルカ如キハ身体上ノ顯象ナリト雖モ身体ノ完全ヲ害セサルヲ以テ創傷トナスヲ得ス又タ毛髮指甲等ヲ切斷スルモ均シク創傷ニアラス

又タ毆打ニハ故意ヲ要スルハ勿論ナリト雖權利ナクシテ之ヲ行フタルモノタルヲ要ス故ニ外科醫若クハ其他ノ人ニシテ被害者ノ承諾ヲ得テ毆打シ又ハ父母其他ノ親屬其子孫ヲ懲戒スル爲メ之ヲ毆打スルカ如キハ法律上ニ認メタル權利ヲ行フモノニ過キサルヲ以テ之ヲ毆打罪トスルヲ得ス之ニ反シ此等ノ權利者若クハ被害者ノ承諾ナク又ハ權利若クハ承諾アルモ其權利ヲ超ヘ又ハ承諾ノ範圍外ニ於テ人ヲ毆打シタルトキハ善意ニ出ツルモ仍ホ毆打罪ヲ成立スルモノトス

以下毆打ノ種類ヲ掲載セン

一 毆打致死則チ第二百九十二條

- 二 毆打驚疾則チ第三百條第一項
- 三 毆打癡疾則チ第三百條第二項
- 四 人ヲ毆打創傷シ二十日以上ノ時間疾病ニ罹リ又ハ職業ヲ營ム能ハサルニ至ラシメタル者則チ第三百一條第一項
- 五 人ヲ毆打スルモ其疾病休業ノ時間二十日ニ至ラサル者則チ第三百一條第二項疾病休業ニ至ラサル者則チ第三百一條第三項
- 六 豫謀毆打則チ第三百二條
- 七 重輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又ハ已ニ犯シテ其罪ヲ免ル、爲メ人ヲ毆打創傷シタル者則チ第三百三條
- 八 過誤毆打則チ第三百四條
- 九 詐僞毆打則チ第三百八條
- 十 過失毆打則チ第三百十八條其疾病休業ニ至ラシメタルモノ則チ第三百十九條

### 第六回

刑法(本邦)(各論之部)



### 自由ニ對スル罪

自由ニ對スル罪ハ分テ強迫ノ罪、逮捕監禁ノ罪、幼者老疾者ヲ遺棄スル罪、略取誘拐ノ罪ノ四種トス今之ヲ順次講説セン

### 強迫ノ罪

刑法第三百二十六條ニ曰ク人ヲ殺サント脅迫シ又ハ人ノ住居シタル家屋ニ放火セント脅迫シ云々ト是レ脅迫罪ノ定義ヲ示シタルモノナリ此定義タルヤ一見スレハ甚タ活潑ニシテ能ク脅迫罪ノ性質ヲ明ニシタルカ如シト雖之ヲ學理上ヨリ考察スレハ殆ント意味ナキカ如シ則チ學理上ヨリ定義ヲ下セハ強迫トハ被強迫者又ハ其親屬ニ對シ謀殺放火其他ノ暴行ノ害惡ヲ行ハント通知スルノ所爲ト云フニ過キサルナリ

強迫罪ノ物体タルヘキモノハ害惡ノ通知ヲ受ケ及之ヲ理解スルノ能力ヲ有スル人タルコトヲ要ス故ニ瘋癲白痴者其他嬰兒ニ對シ其家屋ニ放火センコトヲ通知スルモ其害惡ノ何物タルヲ知ラサルヲ以テ強迫罪ヲ構成スルコトナカルヘシ然レトモ被害者ハ害惡ノ通知ヲ受ケ現ニ恐怖若クハ驚愕スルヲ要セス故ニ大膽不

敵ノ壯夫ニ對シ暴行ヲ加ヘンコトヲ強迫スルモ尙ホ此罪ヲ構成スヘシ通知ノ所爲タルコトハ被害者ニシテ強迫者ノ意志ヲ了知シタルヲ以テ充分トシ其了知ノ時ヲ以テ強迫罪ノ已遂トス故ニ人ヲ強迫スルモ被害者未タ其意志ヲ了知セサル以上ハ此罪ヲ構成スルコトナシ尤モ通知ハ必スシモ強迫者自ラ之ヲ爲スコトヲ要セス他人ヲシテ之ヲ爲サシムルモ敢テ不可ナルコトナシ強迫罪ノ手段タルニハ形容ヲ以テスルト兇器ヲ以テスルト又ハ言語文書ヲ以テスルトヲ問ハス凡テ害惡ヲ及ホスヘキ意志ヲ通知スルニ足ルモノタレハ充分ナリトスルヲ以テ其手段ハ必スシモ能力アルヲ要セス故ニ空砲若クハ銀箔ヲ塗リタル木刀ヲ携ヘ其罪ヲ犯ストキハ尙ホ強迫罪ヲ構成スヘシ前已ニ論シタルカ如ク被害者ハ必スシモ現ニ恐怖若クハ驚愕スルヲ要セサルモ強迫者ハ其通知シタル害惡ノ實行ヲ被害者ニ於テ恐怖シタリト思惟シタルコトヲ要ス故ニ戲レニ人ヲ殺サント強迫スルモ其強迫者ハ被強迫者ニ於テ其實行ヲ恐怖スヘシトノ意志ナキモノナルヲ以テ此罪ヲ構成セサルモノトス  
刑法第三百二十九條ニ依レハ強迫罪ハ親告罪ノ一種ニシテ被害者又ハ親屬ノ告



訴ヲ待テ其罪ヲ論スヘキモノトス蓋シ此罪ノ構成ニハ強迫ノ通知ヲ被害者ニ於テ了知スルコトヲ要スルモノナルカ故ニ被害者ノ親告ヲ待タサレハ果シテ其通知ヲ了知シタルヤ否ヤヲ知ルコト能ハス從テ其罪ノ構成スルト否トヲ知ルヘカヲサレハナリ然ルニ論者往々此理ヲ誤解シ強迫罪ヲ親告罪トナシタルハ被害者ニ於テ果シテ恐怖若クハ驚愕ヲ生シタルヤ否ヤヲ知ルヘカラサルニ由ルトスルトモ素ヨリ取ルニ足ルヘキ説ニアラス

逮捕監禁ノ罪

刑法第三百二十二條ニハ擅ニ人ヲ逮捕シ又ハ私家ニ監禁シタル者ハ云々ト規定シ別段之カ定義ヲ下サスト雖トモ學理上ヨリ之カ定義ヲ下セハ逮捕監禁トハ人ノ住居ヲ自由ニ撰定スルノ權ヲ不法ニ廢滅スル所爲ノ謂ナリ故ニ第三百二十二條ニ監禁ト逮捕トヲ分ツモ何レモ住居ノ自由ヲ害スルモノナレハ學理上敢テ其差異ヲ見サルモノトス而シテ本罪ノ物体ハ住居ノ撰定ノ自由ナルヲ以テ毫モ身体ニ對スルモノニ非ズ只人ノ自由ニ住所ヲ撰定スヘキ權利ヲ害スルニ由リテ成ルモノナレハ其身體ニハ接觸セサルモ可ナリ例ヘハ他人ノ住所ノ周圍ヲ閉鎖シ

テ其人ヲ自由ニ出入スルコトヲ得サラシムルモ本節ノ罪ヲ組成スレトモ毫モ身体ニ對スルノ所爲ナシ然ルニ日本刑法ハ之ヲ自由ニ關スル罪トナサスシテ身體ニ對スル罪トナシタルハ大ニ學理ヲ誤リタルモノ、如シ  
此犯罪ノ所爲ハ通常一ノ場所ヨリ他ノ場所ニ移轉シ若クハ或ル場所ニ監禁スルニ成ルト雖モ此等ノ所爲ハ必スシモ直接ニ腕力ヲ以テ人ヲ逮捕シ若クハ一室ニ監禁スルヲ要セス人ノ睡眠ニ乘シ其周圍ニ深溝ヲ穿テ之ヲシテ交通ノ便ヲ失ハシムルカ如キ間接ノ所爲ヲ以テスルモ妨ケナキモノトス而シテ其所爲ノ程度ハ如何ナル點ニ迄達スルヲ要スルヤニ就テハ場所ノ廣狹ニ關シ大ニ論議ノ存スル處ニシテ彼ノ印度刑法編纂ニ當テハ適當ナル範圍ノ場所タルヲ要スト規定シタレトモ理論上ニテハ之ヲ討究スルノ必要ナク只各事實ニ應シ現ニ住居ノ自由權ヲ廢滅シタルヤ否ヤヲ見ルヲ以テ足レリトス然レトモ日本刑法ニ於テ監禁ノ場所ヲ只私家ト限リタルハ甚ダ狹隘ニ失スルモノニシテ如何ニ私家ノ解釋ヲ擴張スルモ土窟若クハ礦坑ノ如キモノニ禁閉シタル場合ノ如キハ監禁トスル能ハサルヘシ但シ此等ノ場合ヲ逮捕トスルハ敢テ不可ナカルヘシ



又逮捕監禁ハ不法ナラサルヘカラス故ニ父母其子孫ヲ懲戒セシカ爲メ監禁シ若クハ私人ノ狂癪者ヲ監禁スルカ如キハ法律ニ於テ其權利ヲ認メタルヲ以テ不法ノ所爲ニ非ス然レトモ其權利ヲ濫用シ苛酷ノ所爲ヲ爲スハ固ヨリ不法ナリトス前已ニ述ヘタルカ如ク逮捕監禁ハ住居ノ自由ヲ消滅スルノ所爲タルヲ以テ承諾ニ出テタル場合ハ其權利アルモノトス故ニ人ヲ監禁逮捕スルモ承諾ノ繼續スル限リハ此罪ヲ構成セス

凡ソ監禁ノ罪ハ一分間タルト一時間タルト一日間タルトヲ問ハズ苟モ住居ノ自由權ヲ全ク消滅スルトキ犯罪ノ既遂トナルモノナリト雖モ日本刑法ハ監禁日數十日ヲ過クル毎ニ一等ヲ加フヘキモノトセリ然レトモ此加重ハ刑ノ加重ニ非サルヲ以テ十日以内ハ同一罪トシ十日ヲ過クル毎ニ別罪ヲ構成シ十日目ニ於テハ十日間監禁ノ罪ヲナシ二十日目ニ於テハ二十日監禁ノ罪ヲナシ三十日目ニ於テハ三十日間監禁ノ罪ヲ爲スヘシ但シ此場合ニ於テハ數罪俱發ヲ以テ間フ可ラサルナリ何トナレハ數罪俱發ナルモノハ汎論ニ於テ已ニ述ヘタル如ク數罪各獨立ニ犯スヲ得而シテ俱發シタルモノナレトモ三十日間監禁ノ罪ハ二十日若クハ十日

間監禁ノ罪ヲ犯スニ非レハ構成スルコトヲ得サルヲ以テ恰モ彼ノ踰越盜及ヒ僞鍵盜ノ場合ニ於テ門戶牆壁ヲ踰越損壞シ若クハ鎖鑰ヲ開キタル罪ト竊盜トヲ以テ數罪俱發トセサルニ異ナラサレハナリ今此罪ヲ別罪トスルヨリ生スル結果ヲ示サン

- (一)ノ監禁罪ヲ犯シ其繼續中他罪ヲ犯シ他ノ犯罪ハ既ニ發覺シテ處斷ヲ受ケ刑期中ニ監禁罪發覺シタルトキ譬ヘハ五月一日ニ人ヲ監禁シ置キタルニ同廿日盜罪發覺シテ處斷ヲ受ケ六月一日ニ於テ先キノ監禁罪發覺シタルトキハ刑法第百二條一罪前ニ發シ已ニ判決ヲ經テ餘罪後ニ發シ云々ニ據リ數罪俱發ヲ以テ論スヘキヤ將ク又第九十四條再犯加重ニ依リ論スヘキヤト云フニ五月二十日以前即チ盜罪處斷以前ナレハ數罪俱發ノ如キモ監禁罪ノ發覺シタル六月一日ヨリ盜罪發覺ノ時ニ溯リ見レハ盜罪ノ判決ヲ經タル後モ尙時々刻々監禁罪ヲ犯シ居ルヲ以テ再犯加重ヲ以テ論セサルヘカラス
- (二)二十日ヲ過キタル監禁罪ヲ幫助シタル從犯ハ其實行日數十日ニ滿タサルモ尙ホ二十日以上監禁ノ罪ヲ以テ論セサルヲ得ス例令ハ甲者已ニ二十日間人



ヲ監禁シタル場合ニ於テ乙者之ヲ幫助シタルトキハ假令其幫助ハ一日間タ  
リト雖尙二十日間監禁罪ノ從犯タルカ如シ蓋シ乙ハ二十日間監禁ナル一種  
ノ罪ヲ幫助シタルモノナレハナリ

### 幼者老疾者ヲ遺棄スル罪

本節ノ罪ハ別ニ之ヲ説明セサルモ了解ニ難カラスト信スレハ只遺棄ナル語ノ解  
ヲ與ヘ餘ハ之ヲ省略セン

遺棄トハ管ニ老疾者幼者ヲ棄ツル而已ナラス保養ノ義務アルモノニシテ此罪ヲ  
犯ス場合ニ在テハ幼者若クハ老疾者ノ現存セル場合ヨリ保養者自ラ逃走シタル  
場合ヲモ包含スルモノニシテ幼者若クハ老疾者ヲ自活スル能ハサル地位ニ置ク  
ノ所爲ナリ

### 略取誘拐ノ罪

略取誘拐ノ罪トハ詐欺脅迫若クハ暴行ニ依リ權利ナクシテ幼者ヲ父母又ハ後見  
人ヨリ奪收スルノ所爲ヲ云ヒ刑法第三百四十一條ニ規定スル所ノ罪是ナリ

此犯罪ノ物体タルヘキモノハ幼者ナレトモ其被害者ハ幼者ノ父母若クハ後見人

ナリ故ニ父母若クハ後見人ノ承諾アレハ其幼者ヲ奪收スルモ此罪ヲ構成セサレ  
トモ之ニ反シ幼者ハ假令承諾スルモ此犯罪ノ構成ヲ妨ケサルナリ譬ヘハ妙齡ノ  
女子或ル男子ニ戀着シ男子ニ勸メテ相共ニ驅落シタル如キハ幼者ノ承諾アルモ  
父母ノ承諾ナケレハ若シ父母之ヲ告訴スレハ其罪ハ成立スルカ如シ由是觀之被  
害者クルモノハ父母若クハ後見人ニシテ被害者ニ非ラサル幼者ノ承諾如何ヲ問  
フヲ要セサルヤ明了ナルヘシ

又此犯罪ノ手段ハ詐欺脅迫暴行ニ出ツルヲ要ス而シテ其詐欺ニ出ツルヲ誘拐ト  
云ヒ暴行脅迫ニ出ツルヲ畧取ト云フ去レハ前例ノ如キハ此條件ヲ具備セサルカ  
如シ如何トノ疑ナキニ非スト雖是是畢竟幼者ヲ以テ被害者ナリト誤解シ暴行強  
迫詐欺ノ手段ハ幼者ニ對シテ而已施スヘキモノト思惟スルニ坐スルノミ抑モ詐  
欺暴行脅迫等ハ奪収ノ手段トシテ其父母若クハ後見人ニ對シテ行フヲ常トスル  
ハ恰モ彼ノ強盜罪ニ於テ暴行強迫ヲ受クル物体ハ其所有主若クハ保管者ニシテ  
其財物ニアラサルカ如シ然レトモ幼者モ亦人類ナルヲ以テ幼者ニ對シテ暴行ヲ  
行フコトヲ得ヘキコトハ猶ホ強盜罪ニ於テ物品ノ所有主ニ對シ必スシモ暴行ヲ



行フヲ要セス其僕婢ニ對シテ行フモ可ナルニ異ナラサルナリ  
 誘拐擧取ノ罪ハ幼者ヲ其父母若クハ後見人ヨリ奪収スルヲ以テ成立スレトモ日  
 本刑法ハ單ニ之ヲ奪収スル而已ヲ以テ足レリトセス尙之ヲ藏匿シ若クハ他人ニ  
 交付スルノ時ヲ以テ始メテ罪トスルヲ以テ之ヲ盜罪ニ比スレハ其贓物ヲ藏匿シ  
 又ハ他人ニ交付販賣シタル時ヲ以テ盜罪已遂トスルニ異ナラス  
 又此罪ハ略取誘拐シ藏匿交付スルノ意則チ故意アルヲ以テ足レリトシ別段惡意  
 アルヲ要セスト雖モ權利若クハ被害者ノ承諾ナキヲ要ス尤モ花見若クハ遊山ノ  
 爲メ隣家子女ヲ誘引スルカ如キハ父母後見人ノ承諾ナキモ暗黙ノ承諾アルヘキ  
 モノト法律ハ推測スルモノトス  
 此犯罪ハ被害者又ハ親屬ノ告訴ヲ俟テ其罪ヲ論スルモノニシテ所謂親告罪ナリ  
 而シテ法文ニハ被害者又ハ親屬ノ告訴ヲ俟テ云々トアリテ其所謂被害者トハ幼  
 者ヲ指示シタルノ疑ナシト雖モ本罪ノ被害者ハ幼者ニ非スシテ父母若クハ後見  
 人ナルコトヲ銘記セラルレハ誤解ヲ生スルコトナカルヘシ  
 今ヤ本節ノ講義ヲ終ルニ當リ諸君ニ注意スヘキハ我刑法第三百四十五條ニ於テ

二十歳ニ滿タサル幼者ヲ略取誘拐シテ外國人ニ交付シタル者ハ云々ト規定シ擧  
 取誘拐罪ノ一種トナシタル一事是ナリ此罪タルヤ略取誘拐トハ大ニ其性質ヲ異  
 ニシ人身賣買ノ罪ニ屬スヘキモノナルヲ我刑法ニ於テ擧取誘拐罪ノ内ニ置キタ  
 ルハ大ニ理論ニ背馳スルモノト云フヘシ然レトモ此罪ヲ以テ親告罪トセサルニ  
 至リテハ純粹ノ擧取誘拐罪ト同視セサルハ我立法者ノ人身賣買ヲ禁スルノ精神  
 ニ出テタルモノ、如シ而シテ法文ニハ單ニ外國人トアレトモ這ハ内國ニ在ル外  
 國人ヲ指シタルニ非スシテ外國ニ在ルモノヲ指示シタルモノナリ

### 名譽ニ對スル罪

名譽ニ對スル罪ハ我刑法第三百五十八條ニ規定スル處ノ罪ニシテ公然ノ演說ヲ  
 爲シ又ハ書類圖書ヲ公布シ又ハ雜劇偶像ヲ作爲シ惡事醜行ヲ摘發シ人ヲ誹毀ス  
 ルノ所爲ヲ云フ其犯罪ノ物体ハ特定シタル人ノ名譽トス而シテ其名譽ニハ内外ノ  
 別アリテ内部ノ名譽トハ人ノ伎倆ヲ指シ外部ノ名譽ノ淵源トナルモノナリ然レト  
 モ人ノ伎倆ハ内部ニ屬スルヲ以テ法律ノ問フ處ニ非ス法律ノ問フ處ハ外部ノ名譽  
 中只一國ノ制度若クハ社會ノ習慣ニ基ク處ノ伎倆ヲ毀損スルノ所爲ナリ故習慣



制度ニ基カサル凡テノ伎倆稱號ヲ毀損スルモ之ヲ誹毀トシ罰スルヲ得サルナリ  
 又名譽ハ必ス或特定ノ人ニ屬スルモノタルヲ要ス  
 誹毀ハ之ヲ間接誹毀ト同時誹毀トニ區別スルヲ要ス間接誹毀トハ直接ニ第三者  
 ナ誹毀スルモノヲ云フ譬ヘハ人ノ子孫若クハ妻ヲ誹毀スルモノハ間接ニ父母若  
 クハ夫ヲ誹毀スルカ如シ又同時誹毀トハ一人ニ就テノ誹毀ニシテ同時ニ他人ニ  
 就テノ誹毀トナルモノナリ譬ヘハ人ヲ指シテ姦通ノ子ナリト云フ如シ是レ同時  
 ニ其母ヲ誹毀スルモノナレハナリ而シテ間接誹毀ノ場合ニ於テハ被害者ハ一人  
 ニ止マレトモ同時誹毀ノ場合ニ於テハ數多ノ被害者アルヘキモノトス死者ヲ誹  
 毀スル場合ニ於テハ取りモ直サズ遺族ヲ誹毀スルモノナレハ之ヲ間接誹毀トセ  
 サルヲ得ス蓋死者ハ權利ヲ有スルコト能ハス從テ誹毀罪ノ物件タルヲ得サレハ  
 ナリ  
 誹毀罪ノ所爲ハ惡事醜行ヲ摘發スルニ成ル而シテ其惡事醜行ハ事實ニ屬スヘキ  
 モノタルヲ以テ只人ヲ指シテ馬鹿若クハ痴呆ナリト云フカ如キハ誹毀トナラサ  
 ルモノトス

又誹毀罪ハ人ノ名譽ヲ害スルモノタルヲ以テ苟モ名譽ヲ害スル以上ハ其事實ノ  
 有無ヲ問ハサルナリ  
 此罪ノ手段ハ公然ノ演說若クハ文書圖畫又ハ偶像演劇等トス尙ホ此罪ニ關シテ  
 陳述スヘキノ點ナキニシモ非レトモ別段必用ニシテ了解ニ難キモノニ非レハ之  
 ナ省畧ス

### 祖父母父母ニ對スル罪

祖父母父母ニ對スル罪ハ之ヲ分テ二種トス則チ一ハ祖父母父母ニ對スルモ常人  
 ニ對スルモ罪トナルモノニシテ他ノ一ハ祖父母父母ニ對シテ而已罪トナリ常人  
 ニ對シテハ罪トナラサルモノ是ナリ今左ニ之ヲ説明セン

#### 第一 祖父母父母ニ對スル通常罪

我刑法ヲ按スルニ子孫其祖父母父母ニ對シテ謀殺故殺ヲ行ヒタル者ハ死刑ニ處シ  
 自殺ニ關スル罪身體ニ對スル罪自由ニ對スル罪名譽ニ對スル罪及誣告ノ罪ヲ犯  
 シタルトキハ常人ノ刑ニ二等ヲ加ヘ其癡疾ニ致シタルモノハ有期徒刑ニ處シ篤  
 疾ニ致シタルモノハ無期徒刑ニ處シ死ニ致シタルモノハ死刑ニ處スト規定シ順



次其刑ヲ加重シタル而已ナラス此罪ニ就テハ特別ノ宥恕減輕及正當防衛ノ例ヲ用ヒス實ニ嚴ナリト云フヘシ是蓋子孫ニシテ其祖父母父母ニ對シ犯罪ヲナスハ甚タ惡ムヘキノ所爲ニシテ特ニ東洋政治家ハ大概喜怒哀樂ノ感情強キヲ以テ自然立法者ノ此罪ヲ嚴ニナシタルモノナラン

第二 子孫奉養ヲ欠クノ罪

這ハ子孫其祖父母父母ニ對シ衣食其他生活上必要ナル奉養ヲ爲サ、ルモノナシト云ヒ通常人ニ對シテハ罪トナラサルモノナリ而シテ此犯罪ノ主体ハ子孫ニ限ルヲ以テ其配偶者ヲ包含セス又親屬例ニ依ルモ其配偶者ノ親屬タルコトヲ規定スル而已ニシテ子孫タルコトヲ定メタルモノニ非レハ其配偶者ノ奉養ヲ欠キタル場合ハ此罪ヲ以テ罰スルヲ得サルカ如シ實ニ其配偶者ノ奉養ヲ欠ク場合ハ世間多ク其例ヲ見ル處ナルニ之ヲ罰スルノ正條ナキハ我刑法ノ欠點ト云ハサルヲ得ス

第七回

社會ニ對スル罪

上來講述シタルハ則チ一私人ニ對スルノ罪ナリ是ヨリ社會ニ對スル罪ニ關シテ

講述スル所アラントス

抑モ社會ナルモノハ無形人タル資格ヲ有セス即チ所謂「ペルソン」ニハアラサルナリ然ラハ社會ニ對スル罪ハ如何ナルモノヲ害スルヤト云フニ其被害者ハ直接ニ各個人タル場合ヲ以テ多シトス然レトモ又場合ニ依リテハ各個人カ被害者ヲラサルコトナシトセス要スルニ此罪ニ於テハ社會一般ノ公衆カ損害ヲ蒙ルモノナリ而シテ此罪ニハ數個ノ種類アリ今其第一種ナル社會ノ靜謐ヲ害スル罪ヨリ講述セム

社會ノ靜謐ヲ害スル罪

兇徒聚衆ノ罪

兇徒聚衆ノ罪ハ之ヲ分テ二種トスルコトヲ得ヘシ其第一種ハ即チ刑法第三百三十六條多數集合ノ罪ニシテ其第二種ハ第三百三十七條多數暴動ヲ爲スノ罪是ナリ第三百三十六條ニ曰ク兇徒多衆ヲ囂衆シテ暴動ヲ謀リ官吏ノ説諭ヲ受クルト雖モ仍ホ解散セサル者首魁及教唆者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス附加隨行シタル者ハ二圓以上五圓以下ノ罰金ニ處スト又第三百三十七條ニ曰ク兇徒多衆ヲ囂衆シ



テ官廳ニ喧鬧シ官吏ニ強逼シ又ハ村市ヲ騷擾シ其他暴動ヲ爲シタル者首魁及教唆者ハ重懲役ニ處ス其囂衆ニ應シ煽動シテ勢ヲ助ケタル者ハ輕懲役ニ處シ其情輕キ者ハ一等ヲ減ス附加隨行シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處スト

余輩右二條ノ法文ヲ熟讀スルニ忽チ疑團ノ念慮ノ生スルアリ今先ツ其字義ニ依リ解釋センニ兇徒トハ兇惡ナル奴輩ヲ云ヒ多數トハ即チ人ノ大勢ナルヲ云ヒ囂聚トハウツブキ集ムルヲ云ヒ官廳ニ喧鬧シ又ハ村市ヲ騷擾スルトハ器々然トシテ官廳又ハ村市ニ喧噪スルヲ云フ斯ノ如ク解釋セハ右ノ法文ハ小説的タルヲ免レ到底單ニ一二ノ場合ノミヲ想像シテ法文ニ掲ケラレタルカ故ニ實際ノ適用ニ至テハ實ニ困難ヲ感スルナリ余輩之ヲ熟考スルニ此罪ヲ犯スノ主体ハ敢テ險惡ナル奴輩タルヲ要セサルカ如シ其實右二種ノ罪ハ多數相聚合シ其共同力ヲ以テ公安ヲ妨害スヘキ暴行ヲ爲スノ所爲ヲ云ヒ其未タ暴行ヲ實行スルニ至ラサルモ暴行ヲ爲スコトヲ謀議シ官吏ノ命令ニ背キ其集合ヲ解散セサル所爲ヲ以テ第三百三十六條ノ罪ヲ構成スルモノト云ハサルヘカラス而シテ右第二種即チ多數暴動ヲ爲スノ罪ヲ説明スルトキハ自ラ右第一種即チ多數集合ノ罪ノ何タルヤヲ了

解スルヲ得ヘキヲ以テ余ハ之ヲ分論スルノ勞ヲ取ラサルヘシ

多數暴動ヲ爲スノ罪トハ右ニ述ヘタルカ如ク多數相集リ其共同力ヲ以テ公衆ノ安寧ヲ害スルニ足ルヘキ暴行ヲ爲スノ所爲ヲ云フ今此定義ニ就キ逐次詳述セントス

(第一)此罪ヲ構成センニハ犯人ノ多數ナルヲ要スルカ故ニ唯犯者一人ニ過キサルトキハ此罪ヲ構成スルニ至ラサルナリ而シテ或國ニ於テハ法律ヲ以テ多數トハ何人以上ヲ指スカナ規定セリ例ヘハ英國刑法ノ如キハ三人以上ヲ以テ多數ナリト規定ス然レトモ斯ノ如ク人ノ數ヲ局限スルハ素ヨリ其當ヲ得タルモノニアラサルヲ以テ場合ノ情況ニ應シ其多數ナルヤ否ヤヲ論セサルヘカラス

(第二)此罪ハ多數相集リ且ツ其共同力ヲ以テ犯スヲ要ス故ニ縱令多數ノ人相集ルモ各人各別ニ暴行ヲ爲スカ如キハ兇徒聚衆ノ罪ニアラサルナリ例ヘハ共ニ相圖ラヌシテ多數ノ人各々或家屋ニ放火スル如キ敢テ其共同力ニ出テタルニアラス從テ其各人ハ單ニ放火罪ヲ犯シタルモノナリ其英國刑法ヲ論述セル書籍ニ於テ掲ケタル一例ニ或祭禮日ニ於テ競馬アルニ當リ多數群集シ赤勝ツヘシ黃勝ツヘシト



相叫ヒ遂ニ喧噪ヲ始メタルカ如キ亦此罪ニ問フコトヲ得サルモノトス何トナレハ共同力ナル原素ヲ欠クヲ以テナリ然ルニラツセル氏ハ此罪ニ付キ多少ノ豫謀アルコトヲ必要トシ此場合ヲ以テ豫謀ナキ一例トナセリ此點ヨリ見ルトキハ共同力ノ思想ハ毫モ氏ノ腦裡ニ存在セザリシヤ明カナリ

(第三)公衆ノ安寧ヲ妨害スルトハ何ソヤ社會ノ人民各其分ニ安シ商賈ハ商業ヲ營ミ學生ハ學術ノ研究ヲ黽勉シ農人ハ耕耘ヲ事トシ共ニ鼓腹シテ安寧ヲ樂ムニ當リ偶々百姓一揆ノ起ルアルハ人各々周章狼狽其生ヲ聊セサルヤ明カナリ是即チ公衆ノ安寧ヲ妨害シタルモノナリ即チ此罪ヲ構成セシムルハ世上公衆ノ恐怖(Terrorism Populi)ヲ生スルニ足ルヘキ暴行ヲ爲スヲ要ス故ニ例ヘハ諸君カ飛鳥山ニ至リ運動會ヲ催シ相撲擊劍以テ喧噪スルモ兇徒聚衆ノ罪ヲ構成セサルナリ何トナレハ是等ノ所爲ハ世上公衆ノ恐怖ヲ生セシムルモノニアラサレハナリ之ニ反シテ苟シモ公安ヲ害スル以上ハ縱令自己ノ權利ヲ實行スル場合ト雖モ此罪ヲ構成スルニ至ルヘシ例ヘハ一ノ會社ニ於テ現ニ甲者及乙者ナル原告被告間ニ争訟スル所ノ材木ヲ占有スル場合ニ其正當所有者ナリト主張スル所ノ原告又ハ被告ハ

兇

兇

之ヲ取還サントシ多數ノ人ト共ニ相呼ヒ相叫ンテ之ヲ運搬シ來ルカ如キハ即チ多數集合ノ罪ヲ構成スルモノトス蓋多數相集リ喧噪シテ公安ヲ害スレハナリ

(第四)此罪ヲ構成スル暴行ハ電氣力等ヲ用ユルニアラスシテ純然タル腕力ヲ用ユルモノヲ云フ而シテ暴行ニ公ケノ性質ヲ有スルモノト私ノ性質ヲ有スルモノトノ二種アレトモ苟クモ暴行ナル以上ハ共ニ此罪ヲ構成スヘシ然ルニ或學者ノ論スル所ニ依レハ總テ公ケノ暴行ハ國事犯ナリトセリ例ヘハ百姓一揆ノ縣廳ニ迫ルモノ、如キハ國事犯ナリト云フニアリ然レトモ彼ノ徵兵齡ノ規則又ハ租稅ノ割合ニ不服ヲ抱キ縣廳ニ迫ルカ如キハ敢テ國憲ヲ紊亂シ邦土ヲ篡僭スルノ意思アルニアラサルヲ以テ是亦兇徒聚衆罪タルニ外ナラス即チ國事犯タルニハ其國ノ主權ヲ奪フノ意思アルヲ要スルナリ又甚シキニ至テハ兇徒聚衆ノ罪ハ總テ國事犯ナリト論スル學者アリ然レトモ前ニ掲ケタル多數ノ人カ材木ヲ恢復スル例ノ如キ博奕ノ親方カ其子分ヲ集結シテ喧噪スルカ如キ又職工共賃銀ノ廉ナルヲ怒リ多數相集リテ職工場ヲ毀損スルカ如キハ之ヲ以テ國事犯ナリト云フヲ得ヘキヤ否ヤ其兇徒聚衆罪ナルコトハ識者ヲ俟テ後知ラサルナリ之ヲ要スルニ兇徒



聚衆罪ト國事犯トハ劃然之ヲ區別セサルヘカラス尙ホ終リニ臨ンテ諸君ニ注意ヲ請フノ點ハ兇徒聚衆ノ罪ニ於テハ特別ノ共犯例アルコト是ナリ蓋此罪ハ單ニ一人又ハ二人相謀テ犯スヲ得サルモノニシテ必スヤ二百人若クハ三百人ノ共犯者アルモノナリ而シテ此場合ニ於テ法律ハ共犯人ヲ所分スル法律ヲ特ニ規定セリ即チ第三百三十七條ノ規定是ナリ然ルニ之ヲ實際ニ適用スルニ當リテハ大ナル困難ヲ感セサルヲ得ス蓋首魁アリ子分アリ又附加隨行者アルハ八犬傳ノ如キ小說ニ於テ之ヲ見ルヲ得ヘシト雖モ實際ニ至テハ或ハ首魁ナキコトアルヘシ此場合ニ於テハ右ノ法律ニ從ヒ之ヲ處分スルコトヲ得サルナリ從テ百方盡力シテ其首魁トモ云フヘキモノヲ發見セサルヲ得サルニ至ルヘシ而シテ國事犯ノ場合ニ於ケルモ亦首魁及教唆者等ノ區別ヲ爲シ其刑ヲ異ニセリ然ルニ此場合ニ於ケルモ亦其適用ニ苦マサルヲ得サルコトアリ即チ内乱ヲ隱謀スルニ當リ單ニ二三人ノ之ニ關スルモノアルノミニシテ其首魁ナシトセンニ若シ強テ首魁子分等ノ區別ヲ附シ之ヲ罰セントスルトキハ其結果犯人ノ數ニ不足ヲ生スルニ至ルヘシ兇徒聚衆シ暴動ヲ爲スニ當リテハ或ハ人家ヲ毀損シ又ハ人ヲ毆打スル如キ所爲

五〇

アルヲ常トスレトモ是等ノ處爲ハ暴動ノ種類ニ過キサルヲ以テ各別ニ之ヲ問フコトナク單ニ兇徒聚衆ノ罪ヲ問フノミ然レトモ暴動ノ際人ヲ殺死シ又ハ家屋船舶倉庫等ヲ燒燬シタルトキハ現ニ手ヲ下シ及ヒ火ヲ放チタル者ヲ死刑ニ處ス首魁及教唆者情ヲ知テ制セサル者亦同刑ニ處セラルヘシ(第三百三十八條)

### 家宅侵入ノ罪

家宅侵入罪トハ權利ナクシテ各人ノ享有スル所ノ家宅權ヲ侵害シ以テ家宅ノ安寧ヲ害スルノ罪ヲ云フ前ニ述ヘタル兇徒聚衆ノ罪ハ一般ノ安寧ヲ害シ家宅侵入ノ罪ハ家宅ノ安寧ヲ害スルモノナリマイエル氏曰ク人ハ其住居スル場所ニ於テハ自己ノ意思ヲシテ專ラ其効力ヲ有セシメ之ヲ獨有スルノ權アリト乃チ家宅侵入罪ハ此權利ヲ犯スニ依テ成立スルモノニシテ印度及英國刑法ニ於テ類別スルカ如ク財產ニ對スル罪ニハアラサルナリ換言スレハ此罪ハ單ニ他人ノ土地内ニ入ルノ罪ニアラスシテ家宅ノ安寧ヲ犯スノ所爲ナリトス故ニ人ノ住居セサル場所ニ侵入スルモ此罪ヲ構成スルコトナク單ニ財產權ヲ侵害シタルノ點ニ依リ私犯上ノ犯權ヲ以テ問ハルニ過キサルノミ我刑法ハ其第七十一條ニ於テ家宅



侵入罪ノ定義ヲ掲ケテ曰ク晝間故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ人ノ看守シタル  
 建造物ニ入リタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス若シ左ニ記載シタル  
 所爲アル時ハ一等ヲ加フ 一門戸墻壁ヲ踰越損壞シ又ハ鎖鑰ヲ開キテ入タル時  
 二兇器其他犯罪ノ用ニ供ス可キ物品ヲ携帯シテ入リタル時 三暴行ヲ爲シテ  
 入タル時四二人以上ニテ入リタル時ト又其第七十二條ニ曰ク夜間故ナク人ノ  
 住居シタル邸宅又ハ人ノ看守シタル建造物ニ入リタル者ハ一月以上一年以下ノ  
 重禁錮ニ處ス若シ前條ニ記載シタル加重スヘキ所爲アル時ハ一等ヲ加フト即チ  
 我刑法上ノ家宅侵入罪ニハ二個ノ種類アリ晝間ニ關スルモノ及夜間ニ關スルモ  
 ノ是ナリ此二種ノ罪ハ共ニ故ナク他人ノ住所ニ入ルニ依テ成立スルモノトス是  
 ヨリ逐次詳述スル所アラム

(第一)故ナクトハ何ソヤ此句ニ就テハ學者間異說紛々何レヲ以テ正當ノ說トスヘ  
 キカ其判決ニ苦マサルヲ得サルナリ而シテ之ヲ皮相ヨリ論スルトキハ他人ノ女  
 子ニ通センカ爲メ又ハ他人ノ物件ヲ奪取センカ爲メ其他人ノ家屋ニ入ルカ如キ  
 モ又故アリト云フテ可ナルヘシ然レトモ其具ノ意義ハ權利ナシトノ謂ナリ故ニ〇

縱令他人ノ家宅ニ侵入スルモ權利ヲ有スルニ基クトキハ家宅侵入罪ヲ以テ問フ  
 ヘキモノニアラス則チ准現行犯ヲ逮捕スル場合ニ於テ警察官吏カ其犯人ヲ退跡  
 シテ其家屋又ハ他人ノ家屋ニ闖入スルカ如キ是法律ノ明許スル所ナリ換言スレ  
 ハ警察官吏ハ此場合ニ於テ侵入ノ權利アリトス又法律ノ明許ナキモ其家ノ主人  
 ノ承諾アレハ亦此罪ヲ構成スルコトナシ即チ主人ハ其家宅權ヲ拋棄スルコトヲ  
 得例ヘハ他人ヨリ晚餐ノ饗應ニ招カレ之ニ應シテ其家ニ至リタル場合ノ如キ其  
 賓客ハ家宅侵入罪ヲ犯シタルモノニアラサルナリ

故ナク他人ノ住所ヲ侵スノ罪ハ最初ヨリ權利ナク又承諾ナキ場合及最初ニ於テ  
 他人ノ住所ニ入ルトキハ其權利ヲ有セシカ其後主人ニ於テ其權利ヲ取消シ又ハ  
 其承諾ヲ取消シタルニ拘ハラス尙ホ其住所ニ在留スル場合ヲ包含スルモノナリ  
 然ラハ承諾上家宅權ヲ拋棄スルヲ得ル者ハ何人ナリヤト家宅權ヲ有スル人即チ  
 是ナリ故ニ家宅ノ主人ハ無論之ヲ拋棄スルヲ得ヘク又主人ノ不在ナル場合ニ於  
 テハ其妻ナルト留守居ナルトヲ問ハス主人ヨリ代理權ヲ附與セラレタル者ニ於  
 テ其家宅權ヲ拋棄スルヲ得ヘシ故ニ夫ノ不在ナルヲ奇貨トシ其妻ニ於テ竊カニ



姦夫ヲ誘フ場合ノ如キ姦夫ハ家宅侵入罪ヲ以テ問ハルヘキモノニアラス然レトモ婢僕ハ決シテ家宅權ヲ有セサルカ故ニ若シ其愛慕スル所ノ男子又ハ女子ヲ主人ノ家宅ニ誘フ如キ所爲アルトキハ其男又ハ女ハ家宅侵入罪ニ問ハルヘシ又數名ノ人カ下宿屋又ハ通常ノ家屋ヲ借受セル場合ノ如キハ敢テ主人ト云フヘキモノナク共同ニ家宅權ヲ享有スルモノナレハ其數名ノ中何人ニテモ之ヲ拋棄スルヲ得ヘシ故ニ他ノ借家人ノ厭惡スルニモ拘ハラス隨意ニ他人ヲ招クコトヲ得ヘキナリ即チ同一ノ權利ヲ以テ同一ノ家屋ニ住居スルトキハ其住居人ノ内何人ニテモ其家宅權ヲ拋棄スルヲ得ヘシ右ニ述ヘタルカ如ク主人ハ承諾ニ依テ家宅權ヲ拋棄スルヲ得ヘシ然ルニ其承諾トハ如何ナル範圍ヲ有スルヤト云ハ、敢テ明諾ノミナラス黙諾ノ場合ヲモ亦包含スルモノトス即チ法律ニ於テ承諾ヲ推測スル場合アリ例ヘハ余ノ知己ニシテ余ノ家屋ニ來ル場合ノ如キハ毫モ罪ノ問フヘキナシ即チ相識ノ者カ來ルトキハ主人ノ明諾ナキモ其黙諾ニ依テ入りタルモノト見做スモノナリ商店ニ至リ或ハ割烹店ニ登ルカ如キ是亦其黙諾上ニ出テタルモノナレハ其者ハ家宅侵入罪ニ問ハル、コトナシ然レトモ其者ニシテ其商店又

ハ割烹店ノ主人ニ拒絕セラレタルニ拘ハラス尙ホ存留シテ歸リ去ラサル場合ノ如キ是即チ明言ヲ以テ黙諾ヲ取消シタルモノナルカ故ニ其者ハ有罪タルヲ免レヌ又一面識ナキモノト雖モ他人ノ門ヲ通過シテ其玄関ニ至ルヲ得ヘシ即チ家宅侵入罪トハナラサルナリ何トナレハ門ヨリ玄関ニ至ルマテハ主人ニ於テ黙諾ヲ附與シタルモノトスルヲ以テナリ然ラサレハ其門ヲ閉鎖スヘキ筈ナリ斯ノ如ク黙諾アリト見做サル、場合ニ於テモ之ヲ取消シ得ルコト素ヨリ論ヲ俟タス故ニ紙屑買入ルヘカラストノ張札アルニモ拘ハラス敢テ其家宅ニ立入ルトキハ有罪ナルヲ免レス何トナレハ其家ノ主人ハ明カニ反對ノ意思ヲ表彰シテ黙諾ヲ取消シタルヲ以テナリ又或家宅ノ主人カ懸意ノ者ノ外立入ルヘカラスト公示スルトキハ懸意外ノ人ハ之ニ侵入スルコトヲ得ス

(第二)法律ニ於テ家宅侵入罪ヲ罰スル所以ハ家宅ノ所有權ヲ保護スルニアラス故ニ貸家主ヨリ借家主ニ對シテ此罪ヲ犯スヲ得ヘキナリ何トナレハ此罪ハ家宅ノ安寧ヲ害スル罪ニシテ而シテ借家契約繼續中ハ其家宅權ハ借主ニ存在スレハナリ又邸宅ナル文字ニ關シ學者中ニ異論ナキニアラス例ヘハ一ノ下宿屋ニ於テ甲



者ハ一ノ室ヲ占メ乙者ハ他ノ室ヲ占ムルトセシテ甲者カ乙者ノ室ニ侵入スルト  
 キハ家宅侵入罪トナルヘシ又旅人宿ノ如キハ其各室ヲ占ムル者ニ各家宅權アル  
 ナ以テ之ヲ犯スモノハ亦右ノ罪ニ問ハル、モノトス  
 家宅侵入罪一般ノ性質ハ右ニ述ヘタルカ如シ而シテ此罪ヲ三個ニ分チ晝間ニ係  
 ルモノ夜間ニ係ルモノ及皇居禁苑離宮行在所及皇陵内ニ入リタルモノトス  
 皇居禁苑等ニ侵入スルノ罪ニ於テハ通常人ノ住居ヲ侵ス場合ノ如ク家宅權拋棄  
 ノ行ハル、コトナシ蓋シ禁闕山陵等ノ家宅權ヲ拋棄シテ通常人ヲ入ラシムルコ  
 トハ到底之レ有ルヘカラサルコトナレハナリ又右ノ如ク晝夜ノ區別ニ依リ家宅  
 侵入罪ノ刑罰ニ輕重ノ差違ヲ生スルト雖モ晝トハ何時マテチ云フヤ又夜トハ何  
 時マテチ云フヤ之ヲ區別スルハ實ニ困難ナラサルヲ得ス到底曆ヲ緝テ其犯罪ノ  
 時間ノ晝夜ヲ分ツノ外ナカルヘシ然ルニ曆ヲ見ルトキハ其時間ハ既ニ夜ナリト  
 雖モ未タ日光ノ絶ヒサル時ナルコトアルナキヲ保セス故ニ右ノ如ク曆ニ依テ區  
 別セサルヲ得サルハ甚タ實際ニ合ハサルコト、ナルヘシ此點ニ關シテ英國刑法  
 ニテハ午後九時ヨリ翌午前十時マテチ以テ夜間トセリ然レトモ此規定モ亦感服

スヘキモノニアラサルナリ

前ニ家宅侵入罪ノ定義ヲ下スニ當リ刑法第七十一條ノ法文ヲ掲ケタリシカ同  
 條ニ於テ踰越損壞兇器暴行等ノ情狀アルトキハ刑ニ一等ノ加重ヲ爲スト規定セ  
 リ然ルニ右ノ法文ヲ一見スルトキハ此四箇ノ條件ハ一個毎ニ一等ヲ加フルモノ  
 ナルヤ否ヲ疑ハシムルモノアルニ似タリ然レトモ汎論ニ於テ講述シクルカ如ク  
 特別ノ加重ハ單ニ本刑ヲ加重スルノミニニアラスシテ特別ナル一種ノ犯罪ヲ爲ス  
 ヘキモノナルカ故ニ此等二個若クハ三個ノ條件同時ニ存在スルトキハ之ヲ二個  
 若クハ三個ノ罪ト見做シ宜シク之ヲ數罪俱發ノ例ニ照スヘク決シテ一個毎ニ一  
 等ヲ加フヘキモノニアラサルナリ

### 第八回

前回ノ講義ニ於テハ社會ノ靜謐ヲ害スル罪ノ内兇徒聚衆ノ罪及人ノ住所ヲ犯ス  
 罪ニ就キ講了セリ是ヨリ其第三種ナル私ニ軍用ノ銃砲彈藥ヲ製造所有スル罪ニ  
 就テ講述スヘキ順序ナリ然ルニ此罪ハ別ニ説明ヲ爲スノ必要アラサルヲ以テ直  
 チニ社會ノ危險ヲ釀成スル罪ニ移リ講述スル所アラントス是即チ社會ニ對スル



罪ノ第二種ナリ

### 社會ノ危難ヲ醸成スル罪

#### 放火失火ノ罪

凡ソ犯罪ニシテ人ニ危険ノ思ヲ抱カシメ其身ヲ措ク所ヲ失ハシムルハ放火罪ヲ以テ第一ト爲サ、ルヲ得ス警鐘一鳴各人狼狽其膽ヲ塞カラシム然ルニ我邦ノ刑法ニ於テハ放火罪ヲ愍然タル部分ニ入レ財産ニ對スル罪トナシ贓物ニ關スル罪ト其列ヲ同フセシメ一ハ之ヲ死刑ニ處シ一ハ之ヲ重禁錮ニ處セリ然レトモ放火罪ナルモノハ決シテ財産ニ對スル罪ニアラサルカ故ニ此點ニ付テハ我刑法ニ於ケル罪ノ類別其當ヲ失スルモノト云ハサルヘカラス古昔ノ學者及歐洲古代ノ刑法ハ放火罪ヲ以テ財産ニ對スル罪ノ一種トナシ又英國ノ或法律家ハ之ヲ「クリミナル、ミスチーフ」(Criminal Mischief)ノ一種トナシタレトモ共ニ其當ヲ得タルモノニアラサルナリ「クリミナル、ミスチーフ」ト云フ犯罪ハ如何ナルモノヲ指スヤト云フニ徒ラニ他人ノ犬又ハ馬等ヲ殺害スルカ如キ罪ヲ云フ抑モ放火罪ナルモノハ他人ノ家屋ニ火ヲ放テ之ヲ燒燬スルコアレハ他人ノ財産ヲ損害スルヤ疑フヘカラス

五四

五五

ト雖モ之ヲ財産ニ對スルノ罪トナスハ往時ノ社會ニ行フヘク現今ノ社會ニ行フヘガラサルナリ則チ豆腐店ヘ三里酒屋ヘ五里ト云フカ如キ寒鄉僻邑ニ於テハ財産ニ對スル罪ノ如クナレトモ人家稠密ナル市町村ニ於テ放火罪ヲ犯ストキハ管ニ財産ニ損害ヲ及ホスノミナラス社會公衆ノ人ニ危険ノ思ヲ懷カシムルヤ鮮少ナラサルナリ故ニ理論上ヨリ云ハ、放火罪ハ社會ニ對スル罪ノ一種類トナサ、ルヲ得ス從テ縱令ヒ自己所有ノ家屋ナルモ之ニ放火スルトキハ亦罰セサルヘカラス蓋既ニ社會ヲ爲シ人家稠密ナル以上ハ自己ノ家ニシテ自己ノ家ニアラス他人ノ家屋ニ關係ヲ有スレハナリ而シテ財産ニ對スル罪ニシテ唯過失ニ出テタルモノハ民事上ノ賠償ニ止マルト雖モ失火罪ハ刑法上ノ一罪ナリ然ルニ前ニ述ヘタルカ如ク我刑法ハ放火罪ヲ以テ贓物ヲ故買スル罪ト其列ヲ同フセシメ第三篇第二章財産ニ對スル罪ノ一種トナスト雖モ其性質ヲ以テ財産上ノ罪トナシ第八十六條第八十七條ニ記シタル自首輕減ノ例ヲ用ルノ意ニアラサルヘシ

儲放火罪トハ如何ナルモノナリヤト云フニ火ト稱スル自然力ヲ以テ人ノ家屋ヲ燒燬スルノ罪是ナリ則チ此罪ヲ構成センニハ火力ヲ用ヒテ家屋ヲ燒クコトヲ要



大若シ火力ヨリハ他ノモノヲ用ユルトキハ別種ノ罪トナルヘシ然レトモ火藥其  
 他激發スヘキ物品又ハ煤氣并蒸氣罐ノ破裂ヲ以テ人ノ家屋ヲ燒クモノハ亦放火  
 罪ニ准セラル、モノトス是敢テ純然タル放火罪ニハアラサルナリ今我刑法第四  
 百二條ノ法文ニ基キ此罪ニ就テ詳述セントス

刑法第四百二條ニ曰ク放火テ人ノ住居シタル家屋ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ處  
 スト則チ此條ノ要點ハ放火ヲ放ツコト人ノ住居シタル家屋ノ何タルコト及燒燬ノ  
 何タルコトノ三者ナリ

(第一)放火ヲ放ツトハ何ソヤ此語ニ就テハ種々ノ解釋アリト雖モ要スルニ家屋ニ火  
 ノ附ク様ニナスヲ云フ

(第二)人ノ住居シタル家屋ナル句ニ就キ亦學者間ニ異論アリ然レトモ放火罪ヲ構  
 成セシニハ現ニ人カ住居セサルヘカラス又其物體ハ家屋ナラサルヘカラス故ニ  
 人ノ住居セサル家屋ヲ燒燬スルモ第四百二條ノ問フ所ニアラサルナリ例ヘハ石  
 炭坑ヲ燒クカ如キ是ナリ

右ニ述タルカ如ク第四百二條ノ放火罪ノ物體タル家屋ハ現ニ人ノ住居スルモノ

ナラサルヘカラス故ニ唯住居スヘキ家屋ナリト云フノ點ヲ以テ此罪ニ問フチ得  
 サルナリ則チ家賃ノ不廉ナル明長屋ノ如キハ人ノ住居スヘキモノナルヤ更ニ疑  
 フヘカラスト雖モ現ニ住居セルモノニアラサルヲ以テ之ヲ燒燬スル者アルモ第  
 四百二條ヲ以テ論スヘカラス

(第三)燒燬トハ何ソヤ蓋單ニ火ヲ放チタルノミチ以テ燒燬ト云フチ得サルナリ未  
 タ家屋ノ燒盡セサル以上ハ此語ヲ用ユルチ得サルヘシ英國ノ法律ニ依レハ火力  
 ニ依リ放火セラレタル物體カ化學上ノ作用(Chemical Decomposition)ヲ始メタル時チ  
 以テ燒燬トセリ佛國法モ亦同シ化學上ノ作用トハ物體ノ原素カ火ノ爲メニ分離  
 セラレ漸次消滅ニ歸スルチ云フ之ニ反シテ物理的ノ作用ニ於テハ物體チ如何ニ破  
 碎スルモ決シテ滅盡スルコトナク尙ホ殘存スルモノトス英國及佛國ノ法律既ニ  
 右ノ如シ故ニ火ヲ放チタル物體カ化學的ノ分離ヲ始ムルニ於テハ既遂トセラ  
 ルヘシ然レトモ我刑法ニ於テハ英佛兩國ノ法律ニ異ナリ放火セラレタル物體カ  
 化學的ノ作用ヲ始メ遂ニ滅盡ニ歸シタルトキチ以テ燒燬トス是獨逸ノ法律ヲ摸  
 倣シタル點ナリ蓋我刑法ニ於テハ放火罪ヲ待ツニ死刑ヲ以テスレハナリ右ニ述



タルカ如ク家屋ノ全ク燒燬シタルト否トノ區別ハ實ニ困難ナルモノトス例ハ煉瓦石造ノ家屋ノ如キハ内部ノ構造ハ全ク燒盡スルモ尙ホ煉瓦ノ組立ハ依然トシテ殘存スルカ故ニ此場合ニ於テハ燒燬ト云フヲ得サルヤ又木造ノ家屋ヲ燒キ柱一本殘存スルトキハ未遂犯ナルヤ床板又ハ硝子障子一枚殘存スルトキハ未遂犯ナリヤト云フニ苟クモ放火セラレタル家屋カ家屋タルノ形狀ヲ失スルトキハ是既遂ナリトス故ニ縱令柱木ノ一カ殘存スルアルモ是ノミヲ以テ家屋ト稱スルヲ得サレハ其既遂犯タルヤ明カナリトス然レトモ此點ニ就テハ實際困難ナル問題ヲ生シ半燒四分ノ三燒又ハ十分ノ九燒等ノ區別ヲ爲スコトヲ得ヘシト雖モ此點ハ裁判官ノ認定ニ一任セサルヘカラス

(第四)放火罪ニ於テハ如何ナル意思ヲ必要トスルヤ火ヲ放ツノ意思アレハ燒燬ノ意ナクシテ可ナルヤ又ハ家屋ヲ燒盡スルノ意アルヲ要スルヤト云フニ唯火ヲ放ツノ意アルノミヲ以テ足レリトセズ全ク家屋ヲ燒盡スルノ意思アルヲ要スルナリ則チ故意ヲ以テ火ヲ放チ其結果トシテ之ヲ燒燬スヘキコトヲ知ルトキハ即チ燒燬ノ故意アリトナサ、ルヲ得ス

我刑法ニ於テハ人ノ住居シタル家屋ニ放火シタルトキト人ノ住居セサル家屋ニ放火シタルトキトハ犯人ノ死生ニ關スルコトナルヲ以テ住居シタルト住居セサルトノ區別ニ就テ法學者中異論紛々タリ例ハ新富座ノ如キ演劇場ニ於テ見物人ノ多數カ群集スルニ當リ之ニ放火スル者アルトキハ刑法第四百二條ニ問フヘキモノナルヤト云フニ元來演劇場ノ如キハ縱令現ニ人ノ集リ居ルモ是人ノ住居シタル家屋ト云フヲ得ス第四百二條ニ照スヘキ場合ハ現ニ人ノ住居スル家屋ニ放火シタルヲ要スルナリ諸君ニシテ新富座ニ於ケル演劇ヲ見ラル、コトアルモ諸君ハ新富座ニ住居シタリトハ云フヲ得サルヘシ然ラハ斯ノ如キ場合ニ於テ見物人ノ數千カ燒死スルコトアルモ刑法第四百三條ニ照シ人ノ住居セサル家屋ニ放火シタルモノトシテ其犯人ヲ無期徒刑ニ處スルニ止マルヤト云フニ敢テ然ラス既ニ新富座ノ如キ大厦高樓ヲ燒燬シ剩ヘ人ヲ燒死セシメタルノ恐ルヘキ罪ヲ犯シタルニ拘ハラス之ヲ右ノ刑罰ニ處スルニ止ムルハ到底人ノ許サ、ル所ナリ即チ此場合ニ於テハ謀殺罪ト人ノ住居セサル家屋ニ放火シタル罪トノ數罪俱發トナサ、ルヘカラス何トナレハ其犯人ハ劇場中ニ多人數アリ之ニ放火スレハ必



ス燒死スルナラント云フ未來ノ結果ヲ思慮シテ放火シタルモノナレハナリ或學者ノ曰ク住居スルトハ現在人ノ存留スル場合ヲモ含蓄スルヲ以テ新富座ノ如キモ亦人ノ住居スル家屋ナリト云ハサルヘカラスト實ニ牽強ノ甚タシキ説ト云ハサルヲ得サルナリ

實際の放火  
又為像的ノ  
到死後  
トシテ放火  
スルハ  
罪トシテ  
罰トスル  
也

右ニ述ヘタル如クナルヲ以テ人ノ住居シタル家屋ニ放火スルニ當リ現ニ其屋中ニ住居人アリ其者ハ火災ノ爲メニ燒死スルナラント知リツ、放火スルトキハ則チ人ノ住居シタル家屋ヲ燒燬シタル罪ト謀殺罪トノ數罪俱發トナルヘシ若シ然ラストセハ刑ノ不權衡ヲ生スルヤ鮮少ナラサルナリ則チ火ヲ放テ癡屋及ヒ柴草等ヲ貯フル屋舎ヲ燒燬シタル場合ニ於テ其屋舎中ニ人ノ熟睡シツ、アルコトヲ知リ之ニ放火シ其結果其者ヲ燒死セシメタルモ單ニ重懲役ニ止マルノ不權衡ヲ生スルニ至ルヘシ其他第四百六條火ヲ放テ山林ノ竹木田野ノ穀麥又ハ露積シタル柴草等ヲ燒燬シタル場合ニ於ケルモ犯人カ其竹木中ニ人ノ睡眠シツ、アルコトヲ知リ放火シタルトキハ是亦謀殺罪ト右ノ條トノ數罪俱發ナリ若シ之ヲ然ラストセハ茲ニ亦大ナル不權衡ヲ生スルヲ如何セン則チ第四百七條火ヲ放テ己

ノ家屋ヲ燒燬シタル場合ニ於テ其犯人カ己ノ厭惡スル人ヲ殺害セントシ之ヲ己ノ家ニ誘ヒタル後放火シテ之ヲ殺シタルモ單ニ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ過キサルニ至ルヘシ豈斯ノ如キ理アラザヤ之ヲ要スルニ犯人カ放火セントスル物體中ニ人ノ存留スルコトヲ知リ從テ之ニ放火スルトキハ其燒死スルコトヲ知リツ、之ニ放火スルトキハ放火罪ト謀殺罪ノ數罪俱發トナルモノトス

刑法第四百九條ニ曰ク火ヲ失シテ人ノ家屋財產ヲ燒燬シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處スト則チ本條ノ場合ハ過失ニ依テ他人ノ家屋財產ヲ燒燬タルトキチ云フ然ルニ家屋財產トハ如何ナル範圍マテヲ包含スルヤト云ハ、財產トハ動産及不動産ヲ包含スレトモ他人ニ屬スル一葉ノ紙片ヲ取り之ヲ燒燬スルカ如キハ本條ノ間フ所ニアラサルナリ要スルニ本條ノ所謂家屋財產トハ刑法第四百二條ヨリ同第四百七條ニ於テ記載セラレタル家屋財產ノミヲ指スモノニシテ總テノ財產ヲ指スニアラサルナリ

又我刑法ニ於ケル放火罪ハ其物體ニ依リ刑ニ輕重ノ區別アルコト左ノ如シ  
一、火ヲ放テ人ノ住居シタル家屋及ヒ人ヲ乘載シタル船舶瀛車ヲ燒燬シタル者



- ハ死刑ニ處ス(第四百二條及第四百五條第一項)
  - 二、人ノ住居セサル家屋其他ノ建造物ヲ燒燬シタル者ハ無期徒刑ニ處ス(第四百三條)
  - 三、廢屋及柴草肥料等ヲ貯フル屋舎ヲ燒燬シタル者ハ重懲役ニ處ス(第四百四條) 又人ヲ乘載セサル船舶汽車ヲ燒燬シタル者亦同シ(第四百五條第二項)
  - 四、山林竹木田野ノ穀麥又ハ露積シタル柴草竹木其他ノ物件ヲ燒燬シタル者ハ輕懲役ニ處ス(第四百六條)
  - 五、自己ノ家屋ヲ燒燬シタル者ハ二年以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス(第四百七條)
  - 六、火ヲ失シテ人ノ家屋財産ヲ燒燬シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス(第四百九條)
- 失火ノ罪ヲ除キ總テ有意ノ放火罪ハ輕罪ノ刑ニ處スル場合ト雖モ六月以上二年以下ノ監視ニ附ス(第四百八條)

### 決水ノ罪

決水ノ罪ハ我刑法第四百十一條以下第四百十四條ニ至ル四條ニ於テ規定セラレ

、モノニシテ其放火罪ト異ナルノ點ハ放火罪ハ火ト云フ自然力ヲ假リテ犯サル、モノナレトモ決水罪ハ水ト云フ自然力ヲ假リテ人ノ家屋等ヲ漂失セシムルニアリ而シテ我刑法ニ依レハ此罪ヲ犯サンニハ堤防ヲ決潰シ又ハ水閘ヲ毀壞セサルヘカラス又人ノ家屋等ヲ漂失セサルヘカラス然ルニ堤防ヲ決潰セス又水閘ヲ毀壞セサルモ尙ホ人ノ家屋等ヲ漂失セシムルヲ得ルコトアリ例ヘハ既ニ開キアル水閘ヲ閉チ水量ヲ増加シテ水閘ノ内部ニ存スル家屋ヲ漂失スルカ如キ是レナリ故ニ此點ハ我刑法ノ脫漏ト云ハサルヲ得ス又煉火石造ノ家屋ナラハ漂失セシムルコト能ハサルヘシ

決水ノ罪ヲ犯サンコハ如何ナル犯意ヲ要スルヤト云フニ放火罪ノ場合ト同シシ過失ニ係ルトキ失火ノ例ニ照シテ處斷シ其他ノ場合ニ於テハ故意アルヲ以テ足レリトス故ニ家屋ヲ漂失シ田園ヲ荒廢スル等ノ危害ヲ發生スヘキコトヲ知リツ、堤防ヲ決潰シ又ハ水閘ヲ毀壞シタルトキハ充分ナル故意ノ存在スルモノニシテ其結果ニ依リ既遂又ハ未遂ヲ以テ論セサルヘカラス又堤防ヲ決潰シ又ハ水閘ヲ毀壞スルニ當リ人家漂失シ其住居人ノ溺死スルコトヲ知ルトキハ則チ謀殺罪



ト決水罪トノ數罪俱發トナルヘシ  
 又決水罪ニシテ少シク異様ナル種類ノモノアリ第四百十三條ノ場合是ナリ同條  
 ニ曰ク他人ノ便益ヲ損シ又ハ自己ノ便益ヲ圖ル爲メ堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シ  
 其他水利ヲ妨害シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以  
 下ノ罰金ヲ附加スト則チ此條ノ罪ヲ犯サンコハ他人ノ便益ヲ損スルノ意思又ハ  
 自己ノ便益ヲ圖ルノ意思アルヲ要シ徒ラニ犯シタル場合ヲ包含セサルナリ換言  
 スレハ別段ノ意思アルヲ要スルモノトス  
 決水罪モ亦放火罪ト同シク其物体ニ依リ刑罰ニ輕重ノ差ヲ生スルコト左ノ如シ  
 一、人ノ住居シタル家屋ヲ漂流セシメタル者ハ無期徒刑ニ處ス(第四百十一條)  
 二、人ノ住居セサル家屋其他ノ建造物ヲ漂流セシメタル者ハ重懲役ニ處ス(第四  
 百十一條)  
 三、田園礦坑牧場等ヲ荒廢シタル者ハ輕懲役ニ處ス(第四百十二條)  
 四、他人ノ便益ヲ損シ又ハ自己ノ便益ヲ圖ル爲メ堤防ヲ決潰シ水利ヲ妨害シタ  
 ル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

(第四百十三條)

船舶ヲ覆沒スル罪

船舶ヲ覆沒スルノ罪ハ刑法第四百十五條ニ規定セラレ財産ニ對スル罪ノ一種ト  
 ナサル、ト雖モ是亦其當ヲ得サルモノニシテ當然社會ニ對スル罪ノ内ニ含蓄ス  
 ヘキモノナリ而シテ右ノ條ニ於テハ衝突其他ノ所爲ヲ以テ人ヲ乗載シタル船舶  
 ヲ覆沒シタル者ハ死刑ニ處ストアルヲ以テ右等ノ所爲ニ依リ單ニ船舶ニ損害ヲ  
 與ヘタルニ止ルトキハ同條ヲ適用スルコト能ハサルヘシ而シテ此場合ニ於テモ  
 亦困難ナル問題ヲ生スルコトアリ例ヘハ衝突トハ此罪ヲ犯サントスル船ヨリ他  
 ノ船ヲ衝キ之ヲ覆没スナ云フハ無論ナレトモ一ノ船カ此罪ヲ犯サントシテ他ノ船  
 ヲ衝キタルニ却テ其加害船カ覆沒シタルトキハ其乗客又ハ荷主ノ損害實ニ鮮少  
 ナラスト雖モ此點ニ就テハ我刑法ニ明文ナキ所ナリ又第四百十五條但書ニ曰ク  
 船中死亡ナキ時ハ無期徒刑ニ處スト是果シテ何等ノ意ナルヤ余ハ其了解ニ苦マ  
 サルヲ得サルナリ前ニ述ヘタル放火ノ罪ト同シク荷クモ船中ニ人ノ居ルコトヲ  
 知リ之ヲ覆沒セハ謀殺罪ナルコトハ明カナリ然ルニ幸ヒニシテ乗客ノ助カリタ



ルトキハ謀殺ノ未遂犯ナレハ總則ニ照シテ二等ヲ減スルコトヲ得ヘシ然レトモ  
 我刑法ハ右但書ノ規定ヲ爲シ之ヲ無期徒刑ニ所スト定メタリ  
 船舶ヲ覆没スル罪ト共ニ論スヘキハ第六十九條ノ場合はナリ即チ瀛車ノ往來  
 ナ妨害スル爲メ鐵道及標識ヲ損壞シ其他危險ナル障礙ヲ爲シ又ハ船舶ノ往來  
 妨害スル爲メ燈臺浮標等ヲ損壞シ又ハ詐僞ノ標識ヲ點示シ因テ瀛車ヲ顛覆シ又  
 ハ船舶ヲ覆没シタルトキハ無期徒刑ニ處シ人ヲ死ニ致シタルトキハ死刑ニ處セ  
 ラル、モノトス而シテ此場合ニ於テハ人ヲ死セシムルノ故意アルヲ要セス過失  
 ニ出テタル場合ニモ包含スルカ故ニ刑ノ權衡實ニ奇怪タルヲ免レサルナリ

### 社會ノ健康ヲ害スル罪

社會ノ健康トハ社會ヲ組織スル各人ノ健康ヲ云フモノニシテ此犯罪ヨリ生フル  
 ノ害ハ各人各自ニ波及スルモノナリ此罪凡ソ六種アリ左ニ其大概ヲ示サム  
 第一阿片ニ關スル罪 ハ阿片烟及阿片烟吸食ノ器具ヲ製造シ或ハ輸入シ或ハ販  
 賣シ或ハ受寄シ若シハ阿片烟ヲ吸食シ又ハ吸食スル爲メ房室ヲ供給シ以テ利ヲ  
 圖リ又ハ稅關官吏情ヲ知リテ阿片烟及其吸食器ヲ輸入セシメタル等ノ所爲ヨリ

構成ス而シテ其刑罰ハ阿片烟ヲ輸入製造販賣シタル者ハ有期徒刑第二百三十七  
 條其吸食器ヲ輸入及製造販賣シタル者ハ輕懲役第二百三十八條稅關官吏情ヲ知  
 リテ阿片烟及其器具ヲ輸入セシメタル者ハ前二條ノ刑ニ照シ各一等ヲ加ヘラル  
 (第二百三十九條)人ヲ誘引シテ阿片烟ヲ吸食セシメ又ハ房室ヲ給與シタル者ハ輕  
 懲役第二百四十條之ヲ吸食シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮第二百四十一  
 條所持又ハ受寄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮第二百四十二條ニ處セラ  
 ル而シテ此等ノ物件ハ禁制物トシテ沒收スト雖モ醫師藥舖等ノ如キ法律上特許  
 サレタル者ハ此限ニアラス  
 第二飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪 ハ第二百四十三條乃至第二百四十五條ノ規定ス  
 ル所ニシテ人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シ因テ用ユルコト能ハサルニ至ラシメ  
 又ハ人ノ健康ヲ害スヘキ物品ヲ用ヒテ水質ヲ變シ或ハ腐敗セシメタル等ノ所爲  
 ナ云フ故ニ其水ハ常ニ人ノ慣用セル處ノモノナラサルヘカラス一椀ノ水若シハ  
 常ニ人ノ慣用セサル流水等ヲ汚穢變質腐敗セシメタルモ此罪ヲ構成セサルハ勿  
 論ナルヘシ而シテ此罪ハ凡テ其結果ニ對スル故意ノ有無ヲ問ハス故ニ故意ナシ



シテ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタルモノト雖モ共ニ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ於テ處斷ス

第三、流行病豫防規則ニ關スル罪 ハ傳染病豫防ノ爲メ設ケタル規則ニ違背スルノ所爲ヲ云フ(第二百四十六條乃至第二百四十九條)但此等ノ罪ハ該病流行ノ際ニ發覺シタルモノニアラサレハ之ヲ罰スルコトヲ得ス其詳ハ已ニ汎論ニ於テ説述セリ

第四、危害品製造ノ罪 ハ官許ヲ得シテ危害ヲ生スヘキ物品又ハ健康ヲ害スヘキ物品ノ製造所ヲ創設シ又ハ官許ヲ得ルモ危害ヲ豫防シ健康ヲ保護スル爲メニ設ケタル規則ニ違背スルノ所爲仮ヘハ猥リニ火藥製造所ヲ設立シ若クハ毒煙等ヲ噴散スル製作所等ヲ置キ因テ以テ他人ノ身体ヲ害シタルモノハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス(第二百五十條乃至第二百五十二條)

第五、健康ヲ害スヘキ飲食物及藥劑ヲ販賣スル罪 ハ有害ノ物品ヲ飲食物ニ混和シテ販賣シ若クハ規則ニ背キ毒藥劇藥等ヲ發賣スルノ所爲ヨリ構成ス因テ以テ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタルモノハ其刑罰前項ト同シ

終リニ第六ハ私ニ醫業ヲナスノ罪ニシテ此罪ハ官許ヲ得スシ醫業ヲ營ムノ所爲ヲ云フ若シ治療ノ方法ヲ誤リ因テ人ヲ死傷ニ致シタルトキ其罰又前項ニ同シ(第二百五十六條及第二百五十七條)但此犯罪ハ所謂慣習ニヨリテ始メテ其罪ヲ構成スヘキモノナレハ急病患者等ノ場合ニ於テ一時纏綿ノ爲メニ治術ヲ施スモ此罪ヲ構成スヘキモノニアラス他ナシ此等ハ醫術ヲ業トナシタルモノト云フ能ハサレハナリ

### 往來通信ヲ妨害スル罪

往來通信ヲ妨害スル罪トハ標題自身ニ其意ヲ明ニシテ敢テ解明スルヲ用サスト雖モ我立法官ハ之カ記案ニ際シ多少紛乱セシモノ、如シ見ヨ現行刑法ノ規定ハ之カ適用上頗ル奇異ノ結果ヲ生スヘシ今先ツ其要領ノ一二ヲ示サン  
第一、法律ハ精密ナランコトヲ欲シ其必要ヲ見サル場合ニモ尙特ニ犯罪ノ手段タルヘキモノヲ明示シタルカ故ニ却リテ爲メニ多少ノ欠點ヲ來スニ至レリ即第六十二條ニ往來ヲ妨害スルノ手段ヲ明示シ道路橋梁等ヲ損壞シト云ヘルカ故ニ其手段ヲ異ニシ巨大ノ木石若クハ土砂ヲ堆積シテ道路ヲ阻塞シ以テ往來ヲ妨害



シタル者ハ之ヲ罰スルコトヲ得ス又第六十四條モ之ト同シク其手段ヲ電信ノ柱木器械等ヲ損壞シテト云ヘルカ故ニ之ヲ損壞セスシテ金屬其他誘導性アル物質ヲ以テ電氣ヲ他ノ方向ニ導ク等ノ場合ヲ罰スルヲ得ス又第六十五條ハ詐欺ノ標識ヲ指示シタル場合ヲ包含セシムルニ由ナカラン

第二立法官ハ斯ク犯罪ノ手段ヲ特定シ置キ而シテ其手段タル所爲ニシテ故意アル以上ハ交通妨害ノ結果ニ對シテハ故意ノ有無ヲ問ハスシテ之ヲ罰セントセシカ故ニ法律ノ保護スヘキ主眼タル所爲ノ結果ヲ罰スルニハ故意ニ出ルト過失ニ出ルトヲ區別セス同一ノ刑ニ處セサルヘカラサルノ不權衡ヲ生セリ即第六十條ハ道路橋梁等ヲ損壞スルノ所爲ニシテ故意アリセハ往來ヲ妨害スルノ故意アルト否トヲ問ハスシテ只其結果ノ生シタル時ニ於テ此罪ヲ構成シ第六十四條モ亦電氣ヲ不通ニ致スノ結果ニ付テハ故意シテ有無ヲ問ハス更ニ進テ第六十九條ニ至リテハ故意ナキモ尙無期徒刑若クハ死刑ノ重刑ヲ以テ處斷スヘキ重罪ト定メタリ豈其罪ニ比シテ不權衡ト云ハサルヘケンヤ

第三立法官ハ斯クノ如ク往來妨害ノ結果ニ付テハ故意ノ有無ヲ問ハサルモノト

NO. 11

定メ乍ラ第七十條ニ於テハ此罪ハ輕罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサル場合ト雖モ仍ホ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷スヘキコトヲ定メタレトモ故意ナキ犯罪即チ過失罪ニ未遂犯ナキハ三歳ノ童子ト雖モ已ニ經驗スル所タルヘキヲ以テ此罪ニ就テモ亦未遂犯罪ヲ罰スルハ單ニ故意アル場合ニ限ラサルヲ得ス設例ヘハ往來ヲ妨害スルノ意ヲ以テ道路ヲ損壞シテ現ニ往來ヲ妨害シタルトキハ其未遂犯ヲ問フコトヲ得ヘキモ道路ヲ損壞シタルカ爲メ豫メ期セサル所ノ往來妨害ノ結果ヲ生シタルトキハ罰スヘキ未遂犯ナカルヘシ第六十四條及第六十九條ノ場合ニ於テモ亦同一理ニ歸スヘシト雖モ第六十四條第二項ハ故意ナキ場合ニ就テハ結果ノ不通ニ至ラサルモノヲ罰シ故意アル場合ニ就テハ未遂犯ノ特例ヲ設ケタルモノト解釋セサルヲ得ス

以上講述シタル所ハ往來通信ヲ妨害スル罪ニ關スル現行法ノ性質ニシテ他ノ文明諸邦ニ於テ其比ヲ見サル所ノ一大奇觀ナリ然レトモ此等異常ノ要點ニシテ已ニ明カナルトキハ此罪ニ就テハ特ニ詳述ヲ要スルモノナキヲ以テ左ニ現行法律ノ規定ヲ示サム



- 一、道路橋梁河溝港埠ヲ損壞シ往來ヲ妨害シ又ハ偽計威力ヲ以テ郵便ヲ妨害シ若クハ阻止シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第六十二條及第六十三條)往來ヲ妨害シ因テ人ヲ殺傷シタルトキハ毆打創傷ノ例ニ照シ重キニ從フ(第六十八條)
- 二、電信ノ器械柱木ヲ損壞シ又ハ條線ヲ切斷シ電氣ヲ不通ニ致シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其電信ヲ妨害スルモ不通ニ至ラサルモノハ一等ヲ減ス(第六十四條)
- 三、往來ヲ妨害スル爲メ鐵道及其標識ヲ損壞シ其他危險ナル障礙ヲ爲シ又ハ航海ノ安寧ヲ保護スル標識ヲ損壞シ若クハ詐僞ノ標識ヲ點示シタルモノハ重懲役ニ處ス(第六十五條及第六十六條)仍テ流車ヲ顛覆シ又ハ船舶ヲ覆没シタル時ハ無期徒刑ニ處シ人ヲ死ニ致シタルトキハ死刑ニ處ス(第六十九條)
- 四、第六十二條乃至第六十六條ノ罪其事務ニ關スル人自ラ犯シタル時ハ各本刑ニ一等ヲ加フ(第六十七條)

### 第九回

#### 商業及農工ノ業ヲ妨害スル罪

抑モ商業及農工ノ業ヲ妨害スル者ヲ罰スル所以ハ全ク經濟上ノ理由ニ出テタルモノニシテ商工業ノ自由ヲ保護セントスルニアリ而シテ此犯罪ヲ構成スルノ手段ハ偽計若クハ威力ノ二者トス但シ物品ノ價格ヲ昂低スルノ罪ハ虛偽ノ風説ヲ流布スルニ依テ構成セラル、モノナリ

此犯罪ヲ構成センニハ一般ニ故意アルヲ以テ充分ナリトスレトモ第二百七十條及第二百七十一條ノ場合ニ於テハ雇賃ヲ増減シ又ハ農工業ノ景況ヲ變更セシムルノ意思アルヲ要ス而シテ此犯罪ニ依リ損害ヲ蒙ル所ノ物體タルモノハ賣買ノ自由雜賣入札ノ自由及農工業ヲ營ムノ自由ナリトス其物體ノ區別ニ依リ刑罰ニ輕重アルコト左ノ如シ

- (一) 衆人ノ需用ニ欠クヘカラサル食物ノ賣買ヲ妨害スル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但シ日用欠クヘカラサル食料品以外ノモノニ係ルトキハ一等ヲ減ス(第二百六十七條)



茲ニ所謂衆人ノ需要ニ欠クヘカヲサル食料品トハ如何ナルモノヲ云フ乎我邦ニテハ米麥ノ如キ之ヲ必要ノ食料ト云フテ可ナリ然レトモ米麥若クハ牛肉ヲ食セズシテ尙ホ他ニ生活ノ方法アルヲ見レハ到底右ノ條文ハ曖昧タルヲ免レサルナリ又偽計ヲ以テ食料品ノ賣買ヲ妨害スルトハ如何ナルコトヲ指スヤ之ヲ想像スルニ由ナシ故ニ實地ノ適用ニ際シテハ稍困難ヲ感セサルヲ得サルヘシ

(二)農工ノ業又ハ糶賣若クハ入札ヲ妨害スルモノハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第二百六十八條、第二百六十九條)

農工ノ業ヲ妨害スルトハ大工ノ飽ヲ掛クルヲ妨害スル如キ所爲ヲ云フニアラス世上ニ於テ一ノカトシテ現ハル、所ノ農工業ヲ妨害スルヲ云フナリ  
(三)農工ノ雇人其雇賃ヲ増シ若クハ雇主ニシテ其雇賃ヲ減シ又ハ農工業ノ景況ヲ變スル爲メニ妨害スル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第二百七十條、第二百七十一條)

(四)虚偽ノ風説ヲ流布シ衆人需用品ノ價直ヲ昂低セシメタルモノハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス(第二百七十二條)

### 公務ヲ行フコトヲ拒ム罪

公務ヲ行フコトヲ拒ム罪ハ刑法第七十九條乃至第八十一條ニ規定セラル、モノヲ云フ其他第七十七條及第七十八條モ亦此罪ノ内ニ列セラル、ト雖モ此ニテ條ノ犯罪ハ公務ニ對スルモノニアラサルヲ以テ余ハ之ヲ他ノ章ニ於テ講述セントス

醫師化學家其他専門ノ職業アル者官署ヨリ其職業上知り得ヘキ事實又ハ其他ノ者ト雖モ裁判所ヨリ證人トシテ其知了シ得タル事實ヲ陳述スヘキコトヲ命ゼラレ故ナク之ヲ肯セサル者ハ公務ヲ行フコトヲ拒ムノ罪ヲ犯シタルモノトス此罪ニ關シ注意スヘキ要點左ノ如シ

(第一)此犯罪ノ主体タルモノハ醫師化學家其他専門ノ職業アル者及何人ト雖モ裁判所ヨリ證人トシテ召喚セラレ其宣誓ヲ爲シタル者ナルヲ要ス

(第二)右等ノ者ノ陳述ヲ命ゼラレタル事實ハ其職業上知り得ヘキモノナラサルヘ



カラス換言スレハ裁判官ニ於テ右ノ者等カ知り得ヘカラサル事實ノ陳述ヲ命シ  
之ヲ罰スルヲ得サルナリ故ニ證人トシテ召喚セラレタル者ニ對シ刀ニ附着セル  
赤キモノハ血塊ナルヤ否ヤノ分析ヲ命スルヲ得ス又化學家ニ對シテ創傷ノ鑑定  
ヲ命スルヲ得サルナリ

(第三)此犯罪ハ故ナク陳述ヲ肯セサルトキニ於テ始メテ成立スルモノトス而シテ  
故ナクトハ職業上知り得タル事實ナルニ之カ陳述ヲ肯セサルヲ云フ茲ヲ以テ職  
業上知り得ヘカラサル事實又ハ法律上陳述ヲ拒ムコトヲ得ヘキ場合ニ於テ其陳  
述ヲ肯セサルハ故ナキニアラサルナリ

(第四)我刑法ハ陳述ヲ命シタル事實ノ種類ニ依リ其刑罰ヲ異ニセリ即チ解剖分析  
又ハ鑑定及證據ノ陳述ヲ肯セサルトキハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處シ傳染  
病流行ノ際等ニ當リ病患ヲ檢査シ或ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルコトヲ肯セサルト  
キハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス其獸類傳染病ニ係ル場合ハ一等ヲ減ス(第  
百七十九條乃至第八十一條)

(第五)我刑法ニ於テハ徵兵ヲ忌避スル罪ヲ以テ此犯罪中ニ列スルト雖モ其性質稍

異ナル所アリ加之既ニ徵兵令ヲ以テ之ヲ改正セラレタレハ茲ニ講述ノ勞ヲ取ラ  
サルヘシ(第七十八條)

### 公ケノ信用ヲ害スル罪

公ケノ信用ヲ害スル罪ハ更ニ之ヲ細別シテ貨幣ヲ偽造スル罪、文書偽造罪、印書偽  
造ノ罪、免狀鑑札疾病證書偽造ノ罪、度量衡ヲ偽造スル罪及身分ヲ詐稱スル罪ノ數  
種トス是ヨリ逐次詳密ニ講述スル所アルヘシ

### 貨幣ヲ偽造スル罪

#### 貨幣偽造變造ノ罪

貨幣ヲ偽造スル罪ハ往々之ヲ政府ノ造幣權ヲ傷害スルモノトシ之ヲ國家ニ對ス  
ル犯罪ノ内ニ列スルノ論者アリト雖モ是必竟皮相ヨリ此犯罪ヲ觀察シタルニ過  
キス且外國ノ貨幣ニシテ内國ニ其通用ヲ許シタルモノニ對シ尙ホ偽造ヲ構成ス  
ルコトヲ得ヘキモノナルカ故ニ實體上ヨリ之ヲ公ケノ信用ヲ害スル罪ノ内ニ列  
スルヲ以テ其當ヲ得タルモノトス

此罪ハ我刑法第八十二條乃至第九十一條ニ於テ規定セラル、モノニシテ此



九ヶ條ニ就テハ諸君カ熟讀スヘキ點居多ナリトス

(第一)貨幣トハ一國ノ政府カ准了シタル交換ノ手段ヲ云フ (Means of exchange) 准了トハ其國ノ政府カ交換ノ手段タルヘキコトヲ許容スルヲ云フナリ儲其交換ノ手段ノ物質ニ至テハ各國多少ノ差異ナキニアラスト雖モ概シテ金銀銅若クハニツケルノ如キ金屬ヨリ製造セラレ及紙幣若クハ免許ヲ得テ發行スル銀行ノ紙幣ノ如キ非金屬ヨリ製造セラレタルモノヲ使用ス右ニ述ヘタル如ク貨幣ナルモノハ一國ノ政府カ准了シタル交換ノ手段ナルカ故ニ交換ノ手段トシテ使用セサルモノハ金銀銅塊若クハ紙片タルニ過キス又交換ノ手段トシテ使用スルモ政府ノ准了シタルモノニアラサルトキハ外國ノ貨幣若クハ其他ノ物品ニシテ之ヲ貨幣ト云フコトヲ得サルヲ以テ之ヲ偽造スルモ貨幣偽造ノ罪ヲ成立スルモノニアラス

(第二)此犯罪ノ所爲タルニハ偽造或ハ變造ヲ以テ充分ナリトスレトモ或場合ニ於テハ尙ホ其偽造貨幣ヲ行使スルヲ要ス而シテ偽造變造及行使ノ三者ニ就テハ學者間議論紛々甲論乙駁未ダ正當ナル説ヲ得サルノミナラス我刑法上ヨリ云ヘハ

其區別劃然タラサルナリ是ヨリ余ハ學理的ニ此三者ヲ論述シ次ニ我刑法ノ規定ノ何タルヤヲ講述セントス

(イ)偽造及變造ノ區別ヲ論センニハ貨幣自体ノ眞實 (Verity of the currency itself) ト貨幣ノ價值ノ眞實トヲ區別シテ之ヲ混淆セサルヲ要ス貨幣自体ノ眞實トハ眞確ナル官署ノ證明シタル定形ヲ云ヒ價值ノ眞實トハ實價 (Intrinsic value) ト聲價 (Nominal value) トノ二者ノ符合スルヲ云フ而シテ實價ト聲價ト相符合セサルノ一事ハ貨幣自体ノ眞實ヲ失フコトナシ例ヘハ我政府カ金七分及銀若クハ銅三分ヲ以テ一圓ノ金貨ノ成分ト規定シタリトセンニ若シ造幣局ニ於テ鑄造セル一圓金貨ニシテ金六分及銀若クハ銅ノ四分ニ依リ成立スルコトアルモ其金貨ハ敢テ貨幣自体ノ眞實ヲ害セラレタルモノニハアラサルナリ此點ヨリ觀察スレハ貨幣自体ノ眞實ト其價值ノ眞實トノ二者ハ其間劃然タル區別ノ存スルコトヲ知ルニ足ルヘシ

右ニ述ヘタルカ如ク實價及聲價ノ相符合セサルコトハ貨幣ノ眞實ヲ害スルコトナシト雖モ價值ノ完全即チ實價及聲價ノ相符合スルノ點ヲ以テ眞實ナラサ



ル貨幣ヲ眞實ナラシムルコトヲ得ス又通用授受ノ不完全ヲ消滅セシムルコトヲ得サルナリ蓋通用授受ノ安全ハ全ク貨幣ノ眞實ナルト然ラサルトニ關係スルヲ以テナリ

(ロ)偽造トハ貨幣自体ノ眞實ヲ摸擬スルヲ云ヒ變造トハ貨幣ノ價值ノ眞實ヲ紊スルヲ云フ換言スレハ實價及聲價ノ間ニ差異ヲ生セシムルハ即チ變造ナリ例ヘハ我造幣局ノ鑄造シタル一圓金貨ノ縁ヲ削リ或ハ其一部ヲ截斷スルトキハ其量ニ差異ヲ生シ實價ヲ減シテ聲價ト齟齬スルニ至ラシメタルモノナルヲ以テ即チ變造ナリトス

貨幣偽造及變造ノ定義右ノ如シ故ニ偽造シタル貨幣ノ成分ニシテ縱令政府規定ノ價值ニ符合スルト雖モ敢テ其偽造タルヲ妨ケス又其偽造サレタル貨幣ノ物質ニシテ造幣局鑄造ノモノヨリハ一層純良ナルコトアルモ是亦偽造タルヲ失ハサルナリ何トナレハ右ノ二者ハ等シク造幣局ノ鑄造シタルモノニアラヌシテ一私人ノ鑄造シタルモノナルカ故ニ貨幣自身ノ眞實ヲ紊亂シタルモノナレハナリ

今例ヲ舉ケテ之ヲ説明セシムルニ前述セル如ク我政府ニ於テハ金七分及銀或ハ銅ノ三分ヲ以テ一圓金貨ノ成分ト規定シタリト假定シ茲ニ甲者アリ此量ニ從ヒ金塊銀塊ヲ以テ一圓金貨ヲ造リタルトキハ縱令其量ノ同一ナルモ甲者ハ偽造ノ罪ヲ犯シタルモノナルヲ論テ俟タヌ又若シ甲者ニシテ金九分及銅一分ヲ以テ一圓金貨ヲ鑄造シタリトセハ是即チ眞正ノ貨幣ヨリハ一層純良ナルモノナリト雖モ尙ホ偽造罪タルヲ免レサルナリ

又他人カ既ニ偽造シタル貨幣ヲ偽造スル者アルトキハ是亦偽造罪ニ問フヘキモノトス何トナレハ其摸擬セントスル所ノモノハ即チ眞實ノ貨幣ナルヲ以テナリ

變造ハ金銀銅貨等ノ如キ金屬ノ貨幣ニ對シテ之ヲ行フコトヲ得ルノミ紙幣ノ如キ非金屬ノ貨幣ニ對シテハ決シテ之ヲ行フコトヲ得サルナリ何トナレハ變造ナルモノハ實價及聲價ノ間ニ差異ヲ生セシムルノ謂ナルニ紙幣ハ一ノ實價ヲ有セサルヲ以テナリ故ニ紙幣ニハ偽造アルノミニシテ變造ハ行ハレサルモノトス例ヘハ貳十錢ノ紙幣ヲ取リ貳ノ字ヲ改メテ五トシ其色ヲ青クシタリト



セシニ之カ爲メ其紙幣ノ量ニ變更ヲ生シタルニアラサルヲ以テ之ヲ變造ト云フヲ得サルナリ然ラハ斯ノ如キ所爲ハ法律ノ罰スル所ニアラサルヤト云フニ敢テ然ラス法律ハ之ヲ以テ偽造ノ罪ヲ犯シタルモノトスルナリ然レトモ此點ニ就テハ學者間議論紛々或ハ之ヲ變造ナリト論斷シ或ハ之ヲ偽造ナリト論斷スルモノアリ彼ノベルチル氏ノ如キハ千圓ノ紙幣ヲ一万圓ノ紙幣ニ偽造スルノ所爲ヲ以テ九千圓ノ偽造ヲ爲シタルモノト論斷セリ然レトモ余輩ハ斯ノ如キ説ニ感服スルヲ得ス余輩ハ原体ノ千圓紙幣ヲ以テ一万圓ヲ偽造スルノ材料ニ供シタルモノナリト論斷スルニ於テ躊躇セサルナリ

講述茲ニ至レハ畧偽造及變造ノ性質明瞭ナルニ至レリト信スルヲ以テ次ニ偽造ハ如何ナル點ニ達スルヲ要スルカノ問題ヲ論究セントス

諸君ハ夜中街衢ヲ散歩セラル、ニ當リ路傍ニ砂糖ヲ以テ製造シタル十錢札或ハ一圓札ヲ賣ル者アルヲ目撃セラレタルコトアルヘシ斯ノ如キ札ハ之ヲ目スルニ偽造紙幣ヲ以テスルコトヲ得ルカ如シト雖モ未タ模擬ニ至ラサルヲ以テ之ヲ偽造トスルヲ得サルナリ猶ホ金拾圓ノ文字ヲ記載シタル紙片ヲ以テ偽造

紙幣トスルヲ得サルカ如シ然ラハ模擬ノ標準ハ如何ナル點ニ於テ存スルヤト云フニ通常人カ其偽造貨幣ヲ以テ眞實ノ貨幣ナリト思惟シ之ヲ通用スルノ程度ニ至レハ是即チ模擬シタルモノト云フヲ得ヘシ

(ハ)銅貨ニ金銀ヲ鍍シ銀貨ニ金ヲ鍍スルノ所爲ハ之ヲ皮相ヨリ論スレハ變造ナルカ如シト雖モ余輩ハ此所爲ヲ以テ變造ニモアラス又偽造ニモアラスト論斷スルニ於テ躊躇スル所アラサルナリ何トナレハ此所爲タルヤ敢テ貨幣ノ眞實ヲ害セス又其價值ヲ損セサルモノニシテ銅貨ニ金銀ヲ鍍スルモ純然タル銅貨ナリ銀貨ニ金ヲ鍍スルモ純然タル銀貨ナレハナリ然レトモ其鍍金シタル貨幣ヲ行使シ物品ヲ買フトキハ詐欺取財ノ罪ヲ構成スヘシ蓋詐欺取財ノ罪ハ其手段ノ何タルヲ問ハサルヲ以テナリ

右ニ述ヘタルカ如シ單ニ銅貨又ハ銀貨ニ鍍金スルノ所爲ハ偽造又ハ變造ニアラスト雖モ鍍金ニ加フルニ其貨幣ノ文字ト形狀トヲ改メ世人ヲシテ之ヲ金貨ト誤認セシムル迄ニ加工スルトキハ偽造罪ヲ構成スヘシ

(ニ)現行刑法ニ於テハ金銀貨ノ偽造若シハ變造ト銅貨ノ偽造若シハ變造トハ大



ニ其刑罰ヲ異ニシ銅貨ノ偽造若クハ變造ハ其刑大ニ輕シトス故ニ其區別ニ就テハ學者ノ議論ヲ惹起セシコト屢ナリ則チ銅貨ニ銀ヲ鍍シタルモノハ銅貨ノ變造ナリヤ若クハ銀貨ノ偽造ナリヤ又銀貨ニ金ヲ鍍シタルモノハ銀貨ノ變造ナリヤ或ハ金貨ノ偽造ナリヤノ問題ノ如キ學者間異論紛々トシテ決セサル所ナリ然ルニ理論上ヨリスレハ銅貨ニ鍍銀シタルモノハ銀貨ノ偽造ヲ以テ論スヘク銀貨ニ鍍金シタルモノハ金貨ノ偽造ヲ以テ論スヘキモノトス何トナレハ其犯人ノ摸擬セントスルモノハ銀貨若クハ金貨ニシテ銅貨及銀貨ハ之ヲ偽造ノ材料ニ供シタルモノナレハナリ

以上ハ理論上ヨリ偽造及變造ノ區別ヲ論究シタルモノナリ我刑法ヲ註釋スルノ學者多クハ此區別ニ就テ一ノ確說ヲ提出スル能ハス却テ素人考ヲ以テ偽造ハ新タニ貨幣ヲ造ルヲ云ヒ變造ハ既ニ鑄造セラレタル貨幣ヲ變更スルヲ云フト論斷セリ故ニ此說ニ從ヘハ一圓金貨ノ一ノ字ヲ改メテ五ノ字ト爲スカ如キハ即チ變造ナリトス余ヲ以テ見レハ斯ノ如キノ定義ハ康熙字典ヨリ取り來リタルモノニ過キスシテ敢テ取ルニ足ラサルモノト信スルナリ又實際ノ斷例ヲ

此の如きモノは  
偽造トスル  
ハ其の性質上  
ノ區別ナリ

情狀輕キモノハ變造トシ其重キモノヲ偽造トスルカ如シ例ヘハ十圓ノ銀行紙幣ヲ百圓ニ改ムル所爲ノ如キハ之ヲ偽造トセリ然レトモ是亦不當ノ區別タルヲ免レス

(ホ)我刑法ニ於テハ偽造變造ノ所爲ヲ罰スルノミナラス仍ホ之ヲ行使シタル者ハ更ニ重キ罪トシテ之ヲ罰スヘキモノト規定セリ然テハ行使トハ如何ナルコトヲ指スカト云フニ例ヘハ五厘ノ銅貨ニ鍍銀シテ何人モ之ヲ廿錢ノ銀貨ト誤認スルマテニ加工スルモ或ハ之ヲ以テ賣買ノ手段トナシ或ハ之ヲ貨幣トシテ他人ニ附與スルニアラサレハ未タ行使シタルモノニアラサルナリ故ニ行使トハ犯人カ其目的ヲ達シタルト否トナ同ハス其偽造シタル貨幣ヲ貨幣トシテ通用セシムルヲ云フ

(第三)此罪ハ特ニ惡意ヲ必要トス即チ單ニ偽造若クハ變造ノ意思アルヲ以テ足レリトセスシテ飽迄モ眞實ノ貨幣トシテ之ヲ通用セシムルノ故意アルヲ要スルナリ茲ヲ以テ更ニ通用セシムルノ意思ナク唯博物館ニ出シテ衆人ノ觀ニ供セント欲シ金貨ヲ摸造スルカ如キハ偽造罪ヲ以テ問フヘキモノニアラサルナリ又商業



學校等ニ於テ實踐科用ノ爲メ貨幣ヲ偽造スルモ是亦通用セントスル意思ヲ欠ク  
モノナレハ偽造罪ハ成立セサルヘシ

(第四)此犯罪ニ依テ損害ヲ蒙ル所ノ物体ノ種類及偽造若クハ變造ノ差別ニ依リ刑  
罰ニ輕重アルコト左ノ如シ

(イ)金銀貨及政府並ニ銀行紙幣ヲ偽造スルモノハ無期徒刑ニ處シ之ヲ變造スル  
モノハ輕懲役ニ處ス(第八十二條及第八十四條)

(ロ)外國ノ金銀貨及外國銀行紙幣ヲ偽造スルモノハ有期徒刑ニ處シ之ヲ變造ス  
ルモノハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス(第八十三條及第八十四條)

(ハ)內國ノ銅貨ヲ偽造スルモノハ輕懲役ニ處シ之ヲ變造スルモノハ一年以上三  
年以下ノ重禁錮ニ處ス(第八十五條)

(ニ)貨幣ヲ偽造若クハ變造スルモ未ダ行使セサルモノハ前項ノ例ニ照シ各一等  
ヲ減ス(第八十六條)

(ホ)偽造變造ノ罪ノ未遂犯及中止犯ノ場合ニ於テハ前例ノ區別ニ從ヒ各々二等  
ヲ減ス(同上)

(ハ)變造ノ豫備及偽造ノ器械ヲ備ヘサル所ノ豫備ノ外單ニ偽造ノ器械ヲ豫備シ

タルトキハ前例ニ倣ヒ三等ヲ減ス(同上)

(第五)此罪ノ未遂犯ハ刑法ノ總則ニ從ヒ右ニ列舉シタル(イ)ヨリ(ハ)マテノ刑ヨリ一  
等又ハ二等ヲ減シタルモノヲ以テ其刑トス又第八十六條ノ場合ハ必スシモ未  
遂犯ノ特例ヲ示シタルモノニハアラサルナリ蓋偽造變造ノ所爲ハ獨立セル一ノ  
犯罪ナルヲ以テ法律ハ偽造變造シテ行使シタルモノ、刑ニ一等ヲ減スヘキ旨ヲ  
定メタリト雖モ是特ニ一個ノ刑ヲ配當スルノ代リニ一等ヲ減スト記載シタルモ  
ノニ外ナラス偽造ノ罪ハ偽造シテ行使シタル罪ノ豫備ニアラス又其未遂犯ニモ  
アラサレハ恰モ先ツ偽造變造ノ罪ニ對スル刑ヲ定メ偽造變造シテ行使シタルモ  
ノハ一等ヲ加フヘキモノト定メタルニ異ナラス茲ヲ以テ(イ)ヨリ(ハ)ニ至ル各場合  
ニ於テハ行使ニ着手シタルトキヲ以テ其未遂トシ(ホ)ノ場合ハ(ニ)ノ未遂犯ノ特例  
ヲ規定シタルモノト解釋セサルヲ得ス何トナレハ未遂犯ノ未遂犯及中止犯ノ未  
遂犯ハ法理上之ヲ推定スルヲ得サルヲ以テナリ

(第六)刑法ハ貨幣偽造罪ニ付キ其犯ノ特例ヲ設ケタリ即チ其情ヲ知テ雇ヲ受ケタ



ル職工ハ各一等ヲ減シ職工ノ補助ヲ爲シテ雜役ニ供シタル者ハ更ニ一等又ハ二等ヲ減シ房屋ヲ給與シタル者ハ二等ヲ減ス(第百八十七條及第百八十八條)

### 偽造貨幣ヲ收受行使スルノ罪

偽造變造ノ貨幣ヲ收受行使スル罪ハ之ヲ分テ三種トス(第一)情ヲ知テ收受シ且之ヲ行使スルノ罪(第二)情ヲ知テ之ヲ收受スルノ罪(第三)收受ノ際情ヲ知ラサルモ後ニ至リ之ヲ覺知シテ行使スル罪是ナリ第一ノ罪ハ偽造變造シテ行使シタル者ノ刑ニ照シ各二等ヲ減シ第二ノ罪ハ各三等ヲ減シ第三ノ罪ハ其價格二倍ノ罰金ニ處ス但其罰金ハ二圓以下ニ降スコトヲ得サルナリ(第百九十條及第百九十三條)此等ノ犯罪タル事頗ル簡短ナレハ特ニ説明スルノ必要ヲ見サレトモ茲ニ一二ノ要點ヲ掲クレハ(第一)右三種ノ犯罪ハ何レモ眞實ノ貨幣トシテ之ヲ行使スルノ惡意アルヲ要シ(第二)第百九十條第二項(即チ第二ノ罪)ハ(第一)ノ罪ノ未遂犯ニモアラス又其豫備ニモアラスシテ全ク別種ノ犯罪ナルカ故ニ其未遂犯ハ總則ノ例ヲ適用セサルヘカラス若シ夫レ之ヲ以テ未遂犯ノ特例ナリトセンカ第一ノ罪モ亦偽造變造シテ行使シタル罪ノ未遂犯ト云ハサルヘカラスナルニ至ランノミ豈斯ノ如キ

理アランヤ

以上講述シタル所ヲ以テ貨幣偽造罪ニ付キ注意スヘキ原理大則ヲ講了シタレトモ尙ホ一二ノ注意スヘキ必要ノ點ヲ示サム

(一)第百九十三條ノ罪ヲ除キ其他ノ偽造罪ハ輕罪ノ刑ニ處スルトキト雖モ六月以上二年以下ノ監視ニ附ス(第百九十一條)貨幣ヲ偽造變造シ若クハ輸入收受シタルモノ及職工雜役或ハ房屋ヲ給與シタル者未タ行使セサル前ニ於テ官ニ自首シタルトキハ本刑ヲ免シ職工雜役若クハ房屋ヲ給與シタル者ノ外六月以上三年以下ノ監視ニ付ス(第百九十二條)

(二)犯罪ノ用ニ供シ或ハ犯罪ニ依テ得タル物件ハ素ヨリ總則ニ照シテ之ヲ沒收スヘシト雖モ情ヲ知ラスシテ偽造貨幣ヲ收受シ若クハ之ヲ所有スルモ之ヲ沒收スルコトヲ得サルナリ然レトモ特別ノ布告アリテ之ヲ沒收スルカ如シ

### 文書偽造ノ罪

抑モ文書偽造ノ罪トハ或文書ヲ偽造シ之ヲ行使スルノ所爲ヲ云フ但シ其文書ハ特ニ法律ニ依テ規定セラレタルモノニ限ルヘク其詔書ニ關スル場合ニ於テハ之



ヲ行使スルヲ要セス偽造變造或ハ毀棄ノ所爲ニ依テ其罪ヲ構成スルモノトス  
以下此罪ニ付キ注意スヘキ要點ヲ講述スヘシ

(第一)此犯罪ニ依テ損害ヲ被ムル所ノ物体ハ官私ノ文書トス然ラハ法律ニ於テ偽  
造ノ罪ヲ問フヘキ文書ハ如何ナルモノナルヤト云フニ其文書ハ刊行ニ係ルト筆  
記ニ係ルトヲ論セス或事實ノ存否ヲ證明スル爲メニ作爲シタルモノナラサルヘ  
カラス又其證明スヘキ事實ハ敢テ權利義務ノ存否ニ關スルモノナルト否トヲ論  
セスト雖モ或事實ニ對スル信據力ヲ有スルモノニ限ルヘシ即チ信據力ヲ有セサ  
ル所ノ彼ノ反古紙ノ如キ又ハ信據力ヲ有スルモ事實ノ存否ニ關係ヲ有セサル文  
書ノ如キハ共ニ偽造罪ノ物体タルコトヲ得サルナリ彼ノ文人騷客ノ美術トスル  
詩文若クハ繪畫ノ如キハ即チ事實ヲ證明スルノ文書ニハアラサルヘシ又文書ハ  
之ヲ分テ官文書及私文書ノ二種トス官文書トハ官廳若クハ官吏カ其資格ヲ以テ  
一定ノ式ニ從ヒ其職權内ニ於テ認メタル文書ヲ云ヒ其他ノ文書ハ總テ之ヲ私文  
書ト云フ

(第二)此犯罪ヲ構成スルノ所爲ハ官私文書ノ偽造變造使用若クハ毀棄トス今逐次

之ヲ詳述センニ變造トハ權利或ハ承諾ナクシテ文書ノ信據力ヲ有スルニ必要ナ  
ル部分ヲ變更スルヲ云フ茲ヲ以テ縱令文書ノ或部分ヲ變更スルモ其信據力ヲ害  
セサルニ於テハ之ヲ變造ト云フコトヲ得ス例ヘハ無効ノ證書ヲ變造スル場合ノ  
如キ其證書ハ本來無効ナルヲ以テ其信據力ナキコト勿論ナルカ故ニ毫モ信據力  
ヲ傷害スルモノニアラス誤記セラレタル字ヲ改正シ二ノ字ヲ改メテ貳ノ字トナ  
スカ如キモ亦毫モ信據力ニ影響ヲ及ホスモノニアラサレハ之ヲ見ルニ變造ヲ以  
テスルヲ得サルナリ我刑法ヲ註釋スルノ學者多クハ害ヲ生シ若クハ害ヲ生シ得  
ヘキコトヲ以テ文書偽造罪ヲ構成スルニ必要ナル一原素トスルハ必竟此意ヲ指  
シタルニ外ナラス

變造ノ定義右ノ如シ故ニ變造トハ單ニ文書ノ外形ヲ増減スルノ謂ニアラサシテ  
文書中包含スル所ノ事柄ヲ變更スルノ謂ナリト雖モ文書ヲシテ變造ノ文書タラ  
シムルモノハ文書中含蓄スル所ノ事柄ノ眞實ヲ變更スルノ點ニアラスシテ其文  
書ノ記錄者タル資格ヲ僞ルニアリ茲ヲ以テ文書ニ記載シタルコトハ如何ニ虛構  
ノ事柄ナルモ何某ノ記錄スル所タルコトヲ明記スルニアラサレハ偽造ノ文書ニ



モアラス又變造ノ文書ニモアラサルナリ此理由ニ依リ其記錄者ニシテ此世ニ現存セサル假設ノ人ニ係ルトキハ文書偽造罪ヲ以テ之ヲ問フコトヲ得ス然レトモ記錄者ノ氏名ニシテ記載セラル、以上ハ縱令犯人カ記載シタル事柄ハ眞實ナルモ記錄者タル資格ヲ僞リタルモノナルカ故ニ尙ホ之ヲ偽造變造ノ證書ト云ハサルヲ得サルナリ茲ヲ以テ姓名ヲ記載セラレタル白紙ニ權利ナクシテ或事實ヲ記入スルトキハ其事實ノ眞實ナルト否トヲ論セス元來記錄者タル資格ヲ僞リタルモノナルヲ以テ偽造變造ノ罪ヲ構成スヘシ然レトモ記錄者ニ於テ其氏名ヲ記載シタル白紙ヲ他人ニ委任シタル場合ニ在リテハ唯受托者カ之ニ記載シタル事柄ノ不實ナル場合ニ於テ之ヲ詐欺取財等ノ罪ニ問フコトヲ得ルニ過ギスシテ文書偽造ノ罪ヲ構成スルコトナシ

偽造トハ眞實ナラサル文書ノ製造ヲ云フモノニシテ右ニ述ヘタル原則ハ偽造ニモ亦之ヲ適用スルコトヲ得ヘシト雖モ偽造ノ所爲ニ付キ茲ニ一ノ區別セサルヘカラサルモノアリ即チ或ル眞實ナラサル文書ヲ以テ何某ノ記錄シタルモノトシテ僞ルコト、或文書ニ眞實ナラサル事項ヲ記載スルコト、チ同一視スヘカラサル

コト是ナリ自己ノ氏名ヲ用ヒ自ラ眞實ナラサル事項ヲ記載スルモノハ眞實ノ文書ニシテ文書ヲ偽造シタルモノニアラス何トナレハ此場合ニ於テハ敢テ記錄者タルノ資格ヲ僞リタルモノニアラサレハナリ例ヘハ甲者カ其姓名ヲ用ヒ不實ニ乙者ニ若干ノ金圓ヲ貸附シタル旨ヲ記載セル文書ヲ作ルモ偽造ヲ以テ之ヲ論スルヲ得サルカ如シ又右ニ述ヘタル偽造ト相對立スル一種ノ偽造ハ事實ニ關スル不實ヲ文書ニ記入セシムルノ所爲是ナリ即チ不實ノ陳述チナシ官吏チシテ公然ノ簿冊等ニ之ヲ記入セシムルノ類チ云フ是等ノ所爲ニシテ偽造罪ヲ構成センニハ只ニ不實ノ事柄ヲ陳述スルニ止マラス其陳述ヲ以テ一ノ信據力ヲ有スル文書ヲ作焉スルノ場合ニ限ルヘシ

毀棄トハ文書ノ信據力ヲシテ消滅ニ歸セシメ文書タルノ性質ナキニ至ラシムルノ所爲チ云フ故ニ毀棄ハ文書ノ偽造ニアラスシテ文書ノ消滅ナリ而シテ毀棄トハ單ニ文書ノ形体ヲ損スル所爲ノミナラス尙ホ文書ニ塗墨シテ全ク讀ムヘカラサルニ至ラシメ又ハ文書ニ記載セラレタル姓名ヲ消ス如キ所爲チモ合審スルモノトス但シ文書毀棄ノ罪ヲ構成センニハ其文書ハ己レニ屬セサルモノナラサル



ヘカラス官ノ文書ト雖モ既ニ之ヲ一私人ニ下附シタルノ後ハ縱令之ヲ毀棄スルモ敢テ罪ノ問フヘキモノナシ又私文書ノ毀棄ハ其權利義務ニ關スル證書類ニ係ルトキハ偽造ノ罪ヲ以テ之ヲ罰セス單ニ財産毀損ノ罪ニ問フモノトス

使用トハ他人ニ對シ證據力ノ證據トシテ文書ヲ利用スルヲ云フ若シ夫レ文書ヲ偽造シ又ハ變造スルモ之ヲ筐中ニ投シテ使用スルコトナクンハ毫モ犯罪ヲ構成スルモノニアラス然レトモ其犯人カ之ニ依リテ其目的ヲ達シタルヤ否ヤノ點ハ敢テ之ヲ論スルノ必要ナク唯文書ヲ以テ證據力ノ用ニ供スレハ則チ足レリトス茲ヲ以テ既ニ證據力ノ用ニ供シタル所ノ文書ヲ偽造シ又ハ變造スルトキハ其所爲ト同時ニ使用ノ所爲ヲ行フモノニ外ナラサルナリ例ヘハ甲者カ乙者ノ債主タル丙者ニ對シテ保證人ノ位地ニ立ツニ際シ返濟期限ニ至リテ乙者ノ違約スルコトアルヲ豫知シ丙者ノ家ニ至リテ其證書ヲ搜索シ己レノ姓名ヲ取消シ他ノ姓名ヲ記入シタルトキハ縱令乙者ハ其翌日負債ヲ償却スルモ尙ホ甲者ハ文書ヲ偽造シテ使用シタルモノト云ハサルヘカラス之ニ反シテ右ノ如ク證書ヲ變更セス新ニ丙者ノ受取證ヲ偽造シ後日ノ用ニ供センカ爲メ之ヲ自家ニ藏置スルトキハ未

タ之ヲ行使シタルモノト云フコトヲ得サルナリ必竟スルニ既ニ授受シタル證書或ハ公然官廳ニ備ヘラル、所ノ簿冊ノ如キハ常ニ證據力ノ用ニ供スルモノナルカ故ニ詐僞ノ陳述ヲ爲シテ之ヲ官廳ノ簿冊ニ記入セシメタルモノ、如キハ文書ノ偽造ト之カ使用トヲ兼テタルモノト云フ可シ

(第三)文書偽造罪ハ他人ノ利害若クハ自己ノ利得ノ爲メ偽造ノ文書ヲ使用スルノ意思ヲ以テ犯サル、ヲ要ス茲ニ所謂他人ノ利害若クハ自己ノ利得トハ必スシモ金錢上ノ利害ニ限ラス自由名譽若クハ其他ノ權利等ヲ含蓄シ又他人トハ敢テ特定ノ人タルヲ要セス公衆若クハ國家等ノ利害ニ關スルモ妨ナキナリ

使用スルノ意思ハ法律ニ於テ使用ヲ罰スルノ場合ノミニ限り之ヲ要スルニアラス詔書ノ如キ單ニ偽造或ハ變造ノ所爲ノミヲ以テ其罪ヲ構成スル場合ト雖モ尙ホ使用スル意思ヲ以テ犯シタルヲ要ス

(第四)凡ソ偽造罪ノ物体タルヘキ文書ハ單ニ之ヲ偽造變造シタルノミヲ以テ未遂犯ヲ構成セシムルモノニアラス蓋單ニ文書ヲ偽造シ又ハ變造スルモ之ヲ筐中ニ收メテ使用ノ所爲ニ着手セサルニ於テハ未遂犯ヲ以テ之ヲ論スルヲ得サレハナ



リ然ラハ此罪ノ未遂ハ如何ナル所爲ノ未遂ナリヤト云フニ其證書ヲ使用スル所爲ノ未遂タルニ外ナラス然レトモ詔書ノ如キ單ニ偽造變造ノ所爲ヲ罰スル場合ニ於テハ此所爲ニ對シ更ニ總則ノ未遂犯ニ關スル規定ヲ適用ス

(第五)此罪ニ依リ損害ヲ蒙ル所ノ物体ノ區別ニ從ヒ刑ニ輕重アルコト左ノ如シ

(一)詔書ヲ偽造變造及毀棄スルノ罪ハ無期徒刑ニ處ス(第二百二條)

(二)官文書ノ毀棄及官文書公債證書地券其他官吏ノ公證シタル文書ヲ偽造變造

シテ行使シタルモノハ輕懲役ニ處シ無記名公債證書并ニ官吏ノ管掌スル文

書ニ係ルトキハ各一等ヲ加フ(第二百三條乃至第二百五條)

(三)爲替手形其他裏書ヲ以テ賣買スヘキ證書或ハ金額ト交換スヘキ約定手形ヲ

偽造變造シ及其手形證書ニ詐僞ノ裏書ヲ爲シ行使シタルモノハ輕懲役ニ處

ス(第二百九條)

(四)賣買貸借等權利義務ニ關スル證書ヲ偽造變造シテ行使シタルモノハ四月以

上四年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其餘ノ私書

ニ關スルトキハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰

金ヲ附加ス(第二百十條)

第十回

印章偽造ノ罪

余ハ前回ノ講義ニ於テ偽造罪ノ性質ヲ講述シ了リタルヲ以テ今印書偽造罪ヲ論述スルニ當テハ再之ヲ翻覆スルコトヲ爲サス又前回ノ講述ヨリ推定スルコトヲ得キモノヲ省略シ單ニ二三ノ要點ノミヲ講述スルニ止ムヘシ

(第一)印章トハ信確ヲ證明スルノ用ニ供スル記號ノ原体即チ印顆ヲ云フ紙上ニ署シタル姓名ノ如キ文書ニ捺用シタル印影ノ如キハ原体ニアラサルカ故ニ之ヲ印章ト云フコトヲ得サルナリ然レトモ凡ソ事物ノ性質ヨリ云フトキハ手段ノ彫刻ニ出ツルト否トヲ論ゼス既ニ文書ニ顯ハレタル印影若クハ花押等ヲ偽造スルコト却テ印書偽造ノ通常ナルヘキニ我刑法ハ唯印顆ヲ偽造スルモノヲ罰スルハ蓋犯罪ノ本源ヲ絶ツノ意ナルヘシ

(第二)此犯罪ヲ構成スルノ所爲ハ偽造盜用及使用ナリトス其所謂偽造ナルモノハ既ニ貨幣偽造罪ノ講義ニ於テ詳述シタルモノト同一ナルヲ以テ又茲ニ贅セス盜



用トハ他人ノ意ニ反シ其印章ヲ押捺シテ之ヲ使用スルヲ云フ又使用トハ既ニ偽造シタル印章ヲ以テ信確ヲ證明スルノ用ニ供スルヲ云フモノニシテ單ニ其印影ヲ文書ニ移シタルモノニ限ラサルナリ

(第三)此罪ヲ構成センニハ如何ナル犯意ヲ要スルヤ又其既遂及未遂ノ區別ハ如何ナル點ニ於テ存スルヤノ二點ハ總テ文書偽造罪ノ例ニ同シ(第二百十一條)

(第四)印書偽造罪ニ關スル刑罰左ノ如シ又其監視ハ總テ文書偽造罪ノ例ニ同シ(第二百七條及第二百十二條)

(一)御璽國璽ヲ偽造シ又ハ偽璽ヲ使用シタル者ハ無期徒刑ニ處ス(第九十四條)

(二)各官署ノ印ヲ偽造シ又ハ偽印ヲ使用シタル者ハ重懲役ニ處ス(第九十五條)

(三)產物商品ニ押用スル官印記號ヲ偽造シ又ハ偽印ヲ使用シタル者ハ輕懲役ニ處シ書籍什物等ニ押用スルモノニ係ルトキハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス(第九十六條)

(四)同上ノ印章ヲ盜用シタル者ハ右數項ノ例ニ照シテ一等ヲ減シ監守者自ラ犯シタルトキハ偽造ノ刑ニ同フス(第九十七條)

(五)他人ノ私印ヲ偽造シテ使用シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓

以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加シ其盜用ニ係ルモノハ一等ヲ減ス(第二百八條)

(六)官ヨリ發行スル印紙界紙及郵便切手ヲ偽造變造シ又ハ情ヲ知テ使用シタル

者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其既ニ貼用シタルモノヲ再用シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

(第九十八條及第九十九條)

### 免狀鑑札及疾病証書ヲ偽造スル罪

官ノ免狀鑑札ヲ偽造シテ之ヲ行使シ詐僞ノ所爲ヲ以テ之ヲ受ケ又ハ公務ヲ免ルヘキ爲メ醫師ノ疾病證書ヲ偽造シ或ハ偽造シタルモノヲ變造シテ行使スルノ所爲ハ皆ナ文書偽造變造罪ノ性質ヲ具備スルモノナリ然レトモ我刑法ニ於テハ是等ノ所爲ヲ以テ輕微ナル犯罪トシテ特例ヲ設ケ文書偽造罪ノ如キ重刑ヲ科スルコトナカラシム且醫師ニシテ他人ノ囑托ヲ受ケ詐僞ノ證書ヲ作爲スルカ如キハ自己ノ姓名ヲ用ユルモノナレハ文書偽造ノ罪ニ問フコト能ハサルヤ明カナリ故ニ特ニ之ヲ罰スルノ條ヲ規定シタルハ實ニ其當ヲ得タルモノナレトモ尙モ是等ノ特



例ニ該當セサルモノハ如何ニ瑣細ナル所爲ト雖モ文書偽造ノ罪ヲ以テ問ハサルヲ得ス又文書偽造ノ性質ヲ具備セサルモノハ同等ノ所爲ト雖モ之ヲ無罪トセサルヲ得サルノ不權衡ヲ生スルコトナキニアラス例ハ生命保險會社ヲ欺クノ目的ヲ以テ健康證書ヲ偽造スルモノハ文書偽造罪ヲ以テ之ヲ論シ他人ノ囑托ヲ受ケタルコアラステ醫師自ラ其氏名ヲ用ヒ自己ノ疾病證書ヲ作爲シ之ニ詐欺ノ記載ヲ爲スモノ、如キハ之ヲ無罪トセサルヲ得サルヘシ

此罪ノ物体所爲及犯意等ハ文書偽造罪ノ例ヲ推及シテ容易ニ之ヲ知了スルコトヲ得ヘシト信スルヲ以テ茲ニ之ヲ贅セス左ニ唯ク我刑法ノ規定ヲ掲グルニ止ムヘシ

(一)官ノ免狀鑑札ヲ偽造變造シテ行使スル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第二百十三條及第二百十七條)其詐僞ノ所爲ニ依リ之ヲ受クル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス官吏情ヲ知テ其免狀ヲ下附スルモノハ一等ヲ加フ(第二百十四條)

(二)公務ヲ免ルヘキ爲メ醫師ノ疾病證書ヲ偽造變造シテ行使シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮及三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ醫師其囑托ヲ受ケテ之ヲ作爲シタルモノハ一等ヲ加ヘ其徵兵ヲ免ルヘキ爲メニシタルモノハ總テ一等ヲ加フ(第二百五條及第二百十六條)

度量衡ヲ偽造スル罪

(第一)官許ヲ得タル製造人タルト通常人タルトヲ問ハス定規ニ違フタル度量衡ヲ偽造シテ販賣シ又ハ通常人ニシテ定規ニ違ハサルモノト雖モ之ヲ製造シタルモノハ真正ヲ害スルモノナルカ故ニ之ヲ偽造トシ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其偽造變造ノ情ヲ知テ販賣シタル者及人ノ囑托ヲ受ケテ偽造變造シタルモノハ各一等ヲ減ス(第二百二十七條)第二百二十八條及第二百三十條)但シ法律ハ單ニ之ヲ販賣スルモノニ限りタルヲ以テ交換或ハ貸貸ノ場合ハ刑法ノ間フ所ニアラサルヘシ

(第二)商賈農工ニシテ其職業上ニ用ユヘキ不正ノ度量衡ヲ所有(所持)シタルモノハ一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第二百二



十九條但シ不正ノ度量衡トハ法文ノ所謂定規ヲ増減シタル者ノ義ニシテ縱令偽造即チ真正ノ度量衡ニアラサルモ定規ヲ變更セサルモノハ此限ニアラサルヘシ  
〔第三〕此罪ヲ犯スニ依リ官印ヲ偽造變造盜用シタル者ハ重キニ從テ處斷シ不正ノ度量衡ヲ使用シ利ヲ得タルモノハ詐欺取財ヲ以テ論ス

### 身分ヲ詐稱スル罪

〔第一〕詐稱罪ノ物体ハ姓名、自分、年齢、屬籍、及職業ノ五者ニシテ是等ノモノハ皆社會活動上人ノ同一ナルコトヲ證明スルノ標識ナリトス今是等ノ五者ニ就キ逐一其定義ヲ下サンニ姓名トハ他人ヨリ各人各個ヲ識別スル爲メ法律上必ス有セサルヘカラサル各自ノ稱號ヲ云ヒ身分トハ人類自然ノ存在ニ免ルヘカラサル事爲ヨリ必ス發生スヘキ法律上ノ結果ヲ云フ茲ニ所謂事爲トハ即チ出產結婚及死亡ノ三者ノ謂ニシテ此三事爲ヨリ發生スル結果トハ父母子孫夫妻戶主相續人等ノ資格ヲ云フナリ又年齢トハ人々存在ノ時限ヲ云ヒ屬籍トハ人類自然ノ存在ニ免ルヘカラサル事爲或ハ人爲ニ係ル適法ノ所爲(入籍ノ許可)ニ依リ人々ノ屬スル所ノ地(本籍)及生存ノ道ヲ計畫スルノ地(住所)ヲ云ヒ職業トハ生存ノ道ヲ計畫スル方法

三三

ヲ云フ是等ノ點タル非常ニ錯雜ナルヲ以テ其間疑團ヲ發生スルヤ明カナリト雖モ尙モ右ノ區別ニ基キ之ヲ決定スルトキハ亦一點ノ疑ナキニ至ルヘシ例ヘハ文人雅士ノ別號ノ如キハ法律上必ス有セサルヘカラサル稱號ニアラス地主株主タルコトハ人々ノ隨意ニ存廢スルコトヲ得ヘキモノナレハ人類自然ノ存在ニ欠クヘカラサル事爲ヨリ生シタル身分ニアラサルナリ

右ノ外法律ニ於テ身分ニ準シ其詐僞若クハ僭用ヲ罰スルハ官職位階勳章及官ノ記章等ナリ

〔第二〕此罪ヲ構成スルノ所爲ハ官署ニ對シテ姓名身分等ヲ詐稱シ又ハ官私ニ對シ官職位階ヲ詐稱僭用スルニアリ而シテ身分ノ詐稱ハ言語又ハ文書ヲ以テスルコトヲ要ス茲ヲ以テ形容等ニ依リ老者ヲ少壯ニ裝ヒ或ハ妾ヲ以テ正妻ニ擬スルカ如キハ毫モ罪ノ間フヘキモノナシ

〔第三〕此犯罪ヲ構成センニハ故意アルヲ以テ足レリトス故ニ若シ自己ヲ利シ或ハ他人ヲ害スルノ意思アリ且詐稱ノ事項ニシテ之ヲ信據力ヲ有スヘキ書類ニ記入スヘキモノナレハ文書偽造ノ罪ヲ構成スルニ足ルヘシ



(第四)官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ服章勳章等ヲ借用スルモノハ十五日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其姓名身分等ノ詐稱ニ係ルトキハ單ニ罰金ノミヲ科スルモノトス(第二百三十一條及第二百三十三條)

第十一回

風俗道義ヲ紊亂スル罪

風俗道義ヲ紊亂スル罪ハ之ヲ小別シテ偽証ノ罪、誣告ノ罪、賭博及富籤興行ノ罪及猥褻姦淫重婚ノ罪ノ數種トス以下逐次之ヲ講述セム

偽証ノ罪

偽証罪トハ訴訟ノ争點又ハ審問ノ要點ニ重要ナル事實ニ關シテ知リツ、詐僞ノ陳述ヲ爲スノ所爲ヲ云フ但シ現行法ニ於テハ其刑事ニ係ルモノニ就テハ特ニ被告人ヲ曲庇陷害スルノ意思アルコトヲ必要トス(第二百十八條第二百十九條及第二百二十三條)

(第一)刑事民事商事若クハ行政ノ裁判ニ於テ證人鑑定人又ハ通事トシテ呼出サレタル者及賄賂等ノ方法ヲ以テ人ニ囑托シ此罪ヲ犯サシメタル者ハ即チ偽証罪ノ

四五

主体トス故ニ事實參考人ノ如キハ此罪ヲ犯スコトヲ得サルナリ(第二百十八條第二百二十四條及第二百二十五條治罪法第八十條乃至第八十二條)

(第二)詐僞ノ陳述ナルコトヲ知リツ、之ヲ爲ス以上ハ特ニ原告又ハ被告ヲ利シ或ハ之ヲ害スルノ意アルヲ要セス(刑事ヲ除ク)茲ヲ以テ裁判ヲシテ眞正公平ノ結果ヲ得セシメシカ爲メ詐僞ノ陳述ヲ爲スモノ、如キモ尙ホ此罪ヲ構成スヘシ現行法律ニ於テハ刑事ニ就テハ特ニ被告人ヲ曲庇シ又ハ陷害スルノ意思ヲ以テ偽証ヲ爲スコトヲ必要トス故ニ民事又ハ商事等ニ就テハ犯罪ヲ構成スルモノ刑事ニ就テハ無罪タルノ場合甚タ多カルヘシ而シテ刑法ノ規定ニ依ルトキハ陷害又ハ曲庇セントスル所ノ罪ノ重罪輕罪又ハ違警罪ナルトニ依リ其罪刑ヲ異ニシタルヲ以テ重罪ヲ曲庇陷害スルノ意アリシトキハ其實輕罪ナルモ尙ホ之ヲ以テ重罪ヲ曲庇陷害スルノ意アルモノトセサルヲ得サルカ如シ然ルニ事件ノ重罪ナルト輕罪ナルト若クハ違警罪ナルトハ法律上ノ問題ニ屬シ何人モ之ヲ知ラサルヘカラサルモノナルヲ以テ其意ノ如何ヲ論セス苟モ其實重罪タルトキハ重罪ヲ曲庇陷害シタルモノトナシ輕罪ナルトキハ輕罪ヲ曲庇陷害シタルモノトセサルヲ



得ス此理由ニ依リ事實ノ識不識ニ關スル教唆罪(第百八條)ノ例ニ照シテ之ヲ論スルコト能ハサルナリ(第二百十八條及第二百二十條)

(第三)詐僞ノ陳述ハ訴訟ノ争點又ハ審問ノ要點ニ重要ナル事實ヲラサルヘカラス即チ

(第一)事實ナルヲ必要トス單ニ證人ノ意見或ハ法律ノ解釋等ニ就テハ詐僞ノ陳述ヲ爲スモ僞證ヲ以テ之ヲ論スルコトヲ得サルナリ然レトモ鑑定人ノ意見ノ如キハ其技術上ノ範圍内ニ於テ之ヲ證據トスルコトヲ得ヘキモノナルカ故ニ尙ホ僞證罪ノ物体タルコトヲ得ヘシ

(第二)訴訟ノ争點又ハ審問ノ要點ニ關スルヲ要ス即チ證據ト名クヘキ事實ニ屬スルコトヲ要スルモノニシテ證人或ハ鑑定人等ノ陳述ニ係ルモノハ悉ク此罪ノ物体タルヘキ事實ニハアテサルナリ學者往々此意ヲ誤解シ害ヲ生シ得ヘキコトヲ以テ此犯罪ノ一要素トスレトモ苟モ證據ノ範圍ニ屬スル事實ナル以上ハ必スシモ害ヲ生シ得ヘキモノタルヲ要セス左レトモ前ニ述ヘタルカ如ク現行法ハ刑事ニ就テハ特ニ曲庇陷害ノ意アルコトヲ要スルヲ以テ必スシモ其結

果ノ發生スルヲ要セサルモ其僞證ニ關スル事實ハ曲庇陷害ノ結果ヲ生シ得ヘキ能力ヲ有スルコトヲ必要トシ單ニ證據タルヘキ事實ニ屬スルヲ以テ足レリトセス

(第四)此犯罪ノ所爲タル陳述ハ虛言ナルヲ要スレトモ其述ル所ノ事實ハ必スシモ虛妄タルヲ要セス即チ事實ハ現ニ眞實ナルモ其陳述ハ尙ホ虛妄タルコトヲ得ヘシ僞證ノ罪ハ詐僞ノ陳述ヲ爲スノ罪ニシテ虛妄ノ事實ヲ陳述スルノ罪ニアラス例ヘハ裁判官ニ於テ證人ニ對シ原被告ハ何月何日ニ云々ノ契約ヲ締結シタルヤ否ヤヲ訊問スルニ當リ其證人ハ毫モ其事實ノ有無ヲ知ラサルニ拘ハラズ尙ホ其契約ノ成立スルモノナルコトヲ確答シタリトセンニ縱令實際ニ於テハ此契約ノ其事實ハ虛妄ナラサルモ證據トシテハ詐僞タルヲ免レサレハナリ然レトモ刑事ノ場合ニ於テハ現行法ハ特ニ曲庇陷害ノ意アルコトヲ要スルヲ以テ詐僞ノ陳述ヲ爲スモ實際其事實ノ虛妄ナラサルトキハ其陳述ハ曲庇又ハ陷害ノ結果ヲ生シ得ヘキ能力ヲ具備セサルモノナルカ故ニ僞證罪ヲ構成スルコトナシ又自己カ充



分ニ知了セサル事實ト雖モ裁判官ニ對シテ之ヲ確言シタルトキハ正當ノ理由ナ  
クシテ眞實ヲ證スルモノナルヲ以テ亦詐僞ノ陳述タルコトヲ免レサルナリ  
〔第五〕現行法律ハ民事刑事及曲庇陷害ノ區別ニ就キ刑罰ノ差等ヲ設クルコト左ノ  
如シ

(一)民事商事及行政裁判ニ關シテ偽證ヲ爲シタル者ハ一月以上一年以下ノ重  
禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第二百二十三條)

(二)被告人ヲ曲庇スル爲メニセル偽證罪ノ刑罰ハ左ノ如シ

(イ)重罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四  
圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加シ輕罪ニ係ルトキハ一月以上一年以下ノ重  
禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加シ違警罪ニ係ルモノハ違警罪  
ノ本條ニ依テ處斷ス(第二百十八條)

(ロ)偽證ノ爲メ被告人正當ノ刑ヲ免レタルトキハ前項ニ照シ各一等ヲ加フ(第  
二百十九條)

(三)被告人ヲ陷害スル爲メニセル偽證罪ノ刑罰ハ左ノ如シ

(イ)重罪ニ陥ラシムル爲メ偽證シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ  
十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加シ輕罪ニ係ルトキハ六月以上二年以下ノ  
重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加シ違警罪ニ係ルトキハ一月  
以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第二百二十  
條)

(ロ)偽證ノ爲メ被告人刑ニ處セラレタル後ニ於テ偽證ノ罪發覺シタルトキハ  
偽證者ヲ其刑ニ反坐シ若シ被告人ノ處セラレタル刑ノ期限内ニ於テ發覺シ  
タルトキハ現ニ經過シタル日數ニ照シ反坐ノ刑期ヲ減スルコトヲ得但シ減  
シテ前項偽證ノ刑ヨリ降スコトヲ得サルナリ然レトモ偽證ノ爲メ被告人死  
刑ニ處セラレタルトキニ於テ尙ホ之ヲ反坐スルハ殘酷ニ失スルノ恐アルカ  
故ニ一等ヲ減シ其未タ刑ヲ執行セサル前ニ於テ發覺シタルトキハ二等ヲ減  
ス但シ被告人ヲ死ニ陥ル、目的ヲ以テ偽證ヲ爲シタルトキハ之ヲ死刑ニ反  
坐シ未タ刑ヲ執行セサル以前ニ發覺シタルトキハ一等ヲ減ス(第二百二十一  
條及第二百二十二條)



(四)偽證ノ罪ハ其裁判宣告ニ至ラサル前ニ於テ自首シタルトキハ本刑ヲ免セラルヘシ是畢竟此犯罪ノ發覺ヲ速カニシ無辜ヲ保護スルノ精神ニ出テタルモノナリ(第二百二十六條)

誣告ノ罪

我刑法ハ誣告罪及誹毀罪ノ二者ヲ同一視スレトモ此二罪ノ間劃然タル區別ノ存スルアリテ毫末モ關係スル所ナシ即チ誹毀罪ハ人ノ名譽ニ對スル罪ナレトモ誣告ノ罪ハ然ラサレハナリ學者往々誣告罪ト誹毀罪トノ區別ニ就キ喋々之ヲ論述スル所アリト雖モ若シ此二罪ノ區別ヲ論述スルノ必要アリトセハ誣告罪ト其他一切ノ犯罪トノ區別ヲ説明スルモ亦必要ナルヘシ豈斯ノ如キノ理アラシヤ予ハ茲ニ此等ノ區別ヲ喋々スルノ徒勞ヲ取ラス單ニ誣告罪ノ性質如何ヲ講究セント欲スレトモ一言諸君ニ注意スヘキモノアリ即チ或學者ノ如キハ此罪ヲ以テ官ノ犯罪搜查權ヲ紛亂スルモノトナセトモ是亦大ニ其性質ヲ誤解スルモノナリ何トナレハ誣告罪ハ人ヲ誣告スルニ依テ成立スルモノニシテ單ニ或犯罪ニ付キ不實ノ申告ヲ爲スニヨリ成立スルモノニアラサレハナリ

誣告罪トハ不實ナルコトヲ知リツ、犯罪人トシテ人ヲ官ニ申告スルノ所爲ヲ云フ以下此罪ニ就キ注意スヘキ要點ヲ示サム

(第一)此罪ハ或人ヲ以テ不實ニ犯罪ノ所爲アリタリト申告スルモノナリ故ニ此罪ノ物体タルニハ左ノ三個ノ條件ヲ要ス

(イ)申告セラレタル者ハ必ス何某タルコトヲ知リ得ヘキ現存ノ人タルヲ要ス  
既ニ死亡セル人、假設人又ハ姓名人相等ノ知レサル者ヲ誣告スルモ其罪ナシ

(ロ)犯罪ノ事實ヲ申告スルヲ要ス而シテ此犯罪トハ刑法上罪ト認メタル所爲ヲ指スト雖モ其申告セラレタル事實ニシテ罰スヘキモノタラシニハ必スシモ刑罰ニ處セラルヘキモノト否トヲ論セス故ニ未丁年者ノ犯罪又ハ既ニ期滿免除ヲ得タルモノニテモ尙ホ此罪ヲ構成スルニ足ルヘシ

(ハ)事實ノ不實ナルコトヲ要ス故ニ如何ニ惡意ヲ以テスルモ其中告セラレタル人ニシテ眞ニ犯罪人ナルトキハ誣告ノ罪ヲ以テ論スルヲ得サルナリ又其中告ハ必ス事實ヲ以テセサルヘカラス單ニ何某ハ重罪ヲ犯セリ又ハ輕



罪ヲ犯セリト申告スルモ其事實ヲ申告セサル以上ハ此罪ヲ構成スルコトナシ或學者ハ輕罪ヲ以テ重罪犯ト申告スル場合ニ於テモ亦誣告罪ヲ構成スルモノト論スレトモ苟モ輕罪ノ事實ヲ以テ重罪ノ事實ニ作爲シタル場合ニアラサレハ誣告ト云フヲ得サルナリ例ヘハ甲者カ人ノ物品ヲ竊取シタル後乙者ハ其竊取ノ事實ヲ詐ラス此事實ヲ以テ重罪ナリトシテ申告スルモ誣告ニハアラサルヘシ蓋該事實ノ輕罪ナルカ將タ重罪ナルカハ法律上ノ問題ニ屬スルヲ以テ官署ノ當然知了スヘキモノナレハナリ

申告シタル事實ハ全部虛妄ナルヲ要セス苟クモ重要ノ事實ナラシハ其幾部分ノ虛妄ナルヲ以テ充分ナリトス例ヘハ有罪ノ事實ノミヲ申告シ其事實ハ真正ナルモ他ニ無罪トナルヘキ事實アルヲ隱蔽シタル場合ノ如キハ誣告罪ヲ構成スヘシ

(第二)自己ノ申告スル事實ノ不實ナルコトヲ知リツ、故意ヲ以テ申告スルトキハ此罪ヲ成立セシムルモノニシテ敢テ害意アルヲ必要トセス又其事實ノ實否如何ヲ確知セス粗忽ニ之ヲ申告シタル場合亦同シ

(第三)申告トハ相當官署ニ向ヒ告訴告發ヲ爲スヲ云フ若シ告訴告發ニ依ラサルモノハ其意思次第ニテ偽證罪ノ成立スルコトアルヘシ

(第四)誣告ヲ爲スト雖モ未タ被告人ノ推問ヲ始メサル前ニ於テ誣告者自首シタルトキハ本刑ヲ免シ本罪ハ之ヲ偽證ノ例ニ照シテ處斷シ誣告ニ依テ被告人刑ニ處セラレタルトキハ第二百二十一條及第二百二十二條ノ例ニ照シテ處斷ス(第三百五十五條乃至第三百五十七條)然レトモ前ニ述ヘタルカ如ク此等ノ偽證罪ハ特ニ被告人ヲ曲庇シ又ハ陷害スルノ意アルヲ要ス之ニ反シテ誣告罪ハ單ニ不實ナルコトヲ知リツ、申告スルノ故意アルヲ以テ充分ナリトス故ニ之ヲ同一ノ刑ニ處スルハ其權衡ヲ失スルモノト云ハサルヲ得サルナリ

### 第十二回

## 賭博犯及富籤興行ノ罪

### 賭博犯

抑モ賭博ナルモノハ一ノ勝負事ナリト雖モ万般ノ勝負事ハ皆賭博犯ヲ構成スルモノニアラス即チ犯罪ヲ構成セサル勝負事ト之ヲ構成スヘキ勝負事トハ劃然之



ヲ區別セサルヘカラサルナリ犯罪ヲ構成セサル勝負事トハ其結局ヲ以テ巧拙ニ任スルモノニシテ其勝敗ヲ決スルモノハ常ニ力量熟練及思慮ノ三者ナリトス例ヘハ角力ノ如キハ力量ヲ以テ其勝敗ヲ決シ玉突紙牌圍碁及象棋ノ如キハ熟練ト思慮トヲ以テ其勝敗ヲ定ムルモノト又犯罪ヲ構成ヘキ勝負事トハ其結局ヲ以テ偶然ノ事爲ニ任スルモノヲ云ヒ偶然ノ事爲ヲ以テ勝敗ノ判定者トスルモノナリ例ヘハ雙陸、ハツセツト、フアロー(二者共ニ紙牌戯中ノ一ナレトモ勝敗ノ巧拙ニ關セサル者)等ノ類ヲ云フ是等ノモノハ則チ法律ノ認メテ以テ博奕ノ所爲トスル所ナリ

右ニ述ヘタルカ如ク巧拙ニ依テ勝敗ヲ決スル所ノ勝負事ハ法律ノ咎メサル所ノモノナレトモ其勝敗ノ結果勝敗者相互ノ間ニ止マラスシテ他人ノ勝敗ヲ以テ輸贏ヲ決スルニ至リテハ仍ホ之ヲ偶然ノ事爲ニ任シタルモノトセサルヲ得ス是ヨリ賭博犯ニ關スル二三ノ要點ヲ示サントス

(第一)勝敗ノ決ハ金錢ノ得喪ニ關スルモノニアラサレハ之ヲ賭博ノ所爲トスルコトヲ得ス然レトモ直ニ消費スルコトヲ得ヘキ飲食物ヲ賭スルハ一時ノ遊戯ニ過

キサルモノトシ法律之ヲ問ハサルナリ又本邦ノ慣習ニ依レハ苟モ飲食物ニアラサル其他ノ財物ヲ賭スル以上ハ彼ノ圍碁ノ如キ巧拙ニ依テ勝敗ヲ決スルモノト雖モ尙ホ賭博罪ヲ以テ論スルカ如シ茲ニ注意スヘキハ縱令飲食物ナルモ非常ニ多量ナルモノヲ賭スルニ至リテハ亦賭博罪タルヲ免レサルナリ例ヘハ米何俵ト云フカ如キ是ナリ

(第二)賭博ノ罪ハ現行犯ニアラサレハ之ヲ罰セス然レトモ賭場ヲ開張シテ利ヲ圖リ又ハ博徒ヲ招結スルノ罪ニ至テハ此限ニアラサルナリ(第二百六十條)

(第三)我刑法ニ於テハ賭場ヲ開張シテ利ヲ圖リ又ハ博徒ヲ招結スル罪及財物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ爲シ及其情ヲ知テ房屋ヲ給與スルノ罪ニ對スル刑罰并ニ現場ニ存在スル賭博ノ器具財物ノ沒收ヲ規定スレトモ實際ノ必要ヨリ當分ノ内之ヲ行政警察官ノ所分ニ一任セリ茲ヲ以テ警察署ニ於テ賭博犯ヲ審問スルニ方リテハ敢テ治罪法上ノ手續ヲ踐行スルニアラス唯其所爲アリト認ムレハ之ヲ懲罰ニ處スルニ過キサルナリ而シテ此懲罰ハ刑法ニ於テ規定シタル刑罰ニアラス從テ賭博ハ刑法上ノ犯罪ト云フヲ得サルヲ以テ其犯人カ後日重罪又ハ輕罪ヲ犯スモ之



ニ對シテ再犯加重ヲ爲スコト能ハス又其賭博犯ヲ爲シ服役中ノ者ニシテ監獄ヨリ逃走スルコトアルモ囚徒逃走ノ罪ニ問フコトヲ得サルハ理論上當ニ然ルヘシト雖モ實際ニ於テハ之ヲ囚徒逃走ノ罪ニ問フカ如シ又懲罰ハ懲役若クハ禁錮ト異リ大ニ輕キモノナルカ如シト雖モ敢テ然ラス二者同一ナリトス斯ノ如シ賭博犯ニ對スル懲罰ハ實際ノ必要ヨリ行政處分ニ任シタルモノナレトモ其理ニ合ハサル制度ナルコトハ又言ヲ俟タサルナリ

### 富籤興行ノ罪

抑モ富籤興行ノ罪ハ右ニ述ヘタル賭博罪ト同一ナル點ヲ有スレトモ二罪ノ間亦相異ナル要點ノ存スルアリ蓋富籤トハ或代價ヲ拂渡シ偶然ノ結果ニ依リ或ル豫定ノ財物ヲ得有シ若クハ拂渡シタル代價ノ全部又ハ幾部ヲ失フノ權ヲ得ヘキ計畫ヲ云フ故ニ此罪ハ賭博罪ト同シク偶然ノ結果ヲ以テ財物得喪ノ判定者トナスモノナリ又其賭博ト異ナル所ハ其僥倖セントスル所ノ利益ハ一定ノ財物ニ關シ其失フ所ハ拂渡シタル代價ノ全部若クハ幾部ニ過キス又富籤ニ於テハ必ス豫メ其僥倖ヲ得ヘキ方法ノ計畫(Plan)アルヲ要スルノ三點ニ在リトス

右ニ述ヘタル如ク富籤ニ於テハ之カ計畫ヲ爲ス者即チ興行元ナルモノアリテ刑法ノ目的トスル所ハ此者ヲ罰スルニアリ則チ刑法第二百六十二條ニ於テ財物ヲ醜集シ富籤ヲ以テ利益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加スト規定セリ故ニ富籤ヲ買フタル者ハ刑法上之ヲ罰セスト雖モ特別ノ布告ニ依テ其購買者賣買ノ牙保及幫助者ヲ罰スルノ方法ヲ規定シタリ  
茲ニ序ニ講述スヘキ本邦ニ於テハ斯ノ如ク富籤ノ興行ヲ以テ刑法上ノ犯罪トナスト雖モ歐米ニテハ富籤興行ヲ以テ政府ノ特權トスルノ國アリ又政府ノ許可ヲ經レハ之ヲ興行スルコトヲ許スノ國アリ

### 猥褻姦淫重婚ノ罪

#### 猥褻ノ罪

猥褻罪ノ定義ニ就テハ學者ノ大ニ困難ヲ感シタル所ナリト雖モ余ハ陰陽ニ關係スル醜陋背徳ノ所業ナリト云ハントス醜陋背徳ノ所爲ハ實ニ數多ナリト雖モ陰陽ニ關係スルモノニアラサレハ猥褻ノ罪ヲ構成セサルナリ換言スレハ陰陽ニ關



係スルコトハ此罪ヲ構成スルニ最モ必要ナル原素ナリトス以下此罪ニ關シ注意スヘキ要點ヲ述ヘム

第二猥褻ノ罪ハ何人カ之ヲ犯スコトヲ得ルヤト云フニ男女ヲ問ハス總テ此罪ノ主體タルコトヲ得ヘシ則チ男ヨリ男ニ對シ若クハ男女相對シテ此罪ヲ行フコトヲ得ヘキナリ

第三此罪ニ於テハ猥褻ノ公然ナルコトヲ要スルト否ラサル場合トノ區別アリ其公然タルコトヲ要スル場合(第二百五十八條及第二百五十九條)ニ在テハ特ニ直接ナル被害者ナキコトヲ得ヘシ即チ他人ニ關係ナク自ラ猥褻ノ事ヲ行ヒ又ハ獸類ニ對スル醜行ノ如キハ其被害者タルモノナカルヘク夫婦間又ハ馴染ノ男女ノ姦淫ニ於ケルモ亦同シカルヘシ

猥褻ノ公然タルト否トヲ問ハサル場合(第三百四十六條及第三百四十七條)ニ於テハ必ス特定ノ被害者アリトス但シ其被害者ハ男子タルト女子タルトヲ論ゼス然レトモ夫ハ其婦ニ對シテ此罪ヲ犯スコトヲ得ルヤ否ヤニ就テハ學者間議論紛々タリ佛國ノフオースタンエリー氏及同國ノ裁判例ノ如キハ積極論ヲ主張シ縱令

夫ト雖モ暴行脅迫ヲ爲シ通常有ル間敷所業ヲ爲ストキハ尙ホ此犯罪ヲ構成スルコトヲ得ヘシト論斷セリ

(第三)此罪ヲ構成センコトハ單ニ故意アルヲ以テ足レリトシ敢テ淫慾ヲ達セントスルノ惡意アルヲ要セス例ヘハ木造ノ陰莖ヲ市中ニ昇クカ如キハ毫モ淫慾ヲ逞フスルノ意思アルニアラスト雖モ猥褻ノ罪タルヲ免レサルヘシ春畫ヲ賣ルノ所爲亦同シ

(第四)猥褻ノ所爲ノ公然タルコトヲ要スル場合ニ於テハ其所爲ノ範圍極メテ廣ク尙モ猥褻ノ性質アル以上ハ姦淫ハ勿論猥褻ノ圖畫ヲ公然陳列スル等ノ所爲ヲモ含蓄スルモノナリ然レトモ公然ヲ要セル猥褻ノ所爲ハ單ニ第三百四十六條及第三百四十七條ノ場合ノミニ限リ姦淫強姦等ハ之ヲ別種ノ所爲トナシ猥褻ノ所爲トシテ罪ヲ問フコトナシ

玆ニ注意スヘキハ法律ニ於テ公然猥褻ノ圖畫ヲ陳列スルコトヲ禁スト雖モ其公然トハ如何ナルコトヲ云フヤ場所ノ公然タル謂ナリヤノ問題是ナリ此問題ニ就テハ店頭ニ於テ陳列販賣スルトキハ則チ公然ナリト答フルヲ得ルカ如シト雖モ



若シ之ヲ以テ正當ナル答トセハ店頭ニ屏風一枚ヲ立テ其内部ニ於テ猥褻ノ圖畫ヲ賣ルハ公然ノ販賣ニアラスト云フヲ得ルニ至ルヘシ豈奇怪ナラスヤ畢竟スルニ公然ノ販賣トハ一ノ營業トシテ販賣スルノ意ニ外ナラサルナリ

(第五)猥褻ノ罪ニ對スル刑罰左ノ如シ  
公然猥褻ノ所業ヲ爲シタルモノハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ風俗ヲ害スル冊子圖畫其他猥褻ノ物品ヲ公然陳列シ又ハ販賣シタル者ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處シ公然ナルト否トヲ問ハス十二歳未滿ノ男女ニ對シ猥褻ノ所業ヲ爲シ又ハ十二歳以上ノ男女ニ對スト雖モ暴行強迫ヲ以テナシタルトキハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處シ其十二歳未滿ノ男女ニ對シテ暴行強迫ヲ用ヒタルモノハ二倍ノ刑ヲ科ス但シ公然ノ猥褻罪ノ外ハ被害者若クハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論スト雖モ人ヲ死傷ニ致シタルトキハ歐打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

### 姦淫ノ罪

姦淫ノ罪ハ猥褻ノ罪ト異ニシテ必ズ男女ノ媾合ヲ要ス現行刑法ニ於テハ此罪ヲ

區分シテ幼女姦淫ノ罪、強姦ノ罪、姦通ノ罪、及淫行勸誘ノ罪ノ四種トセリ幼女姦淫トハ十二才未滿ノ幼女ヲ姦淫スルヲ云ヒ強姦トハ暴行脅迫ヲ用ヒテ婦女ヲ姦淫スルノ所爲ヲ云ヒ姦通トハ有夫ノ婦ニ通スルノ所爲ヲ云ヒ淫行勸誘トハ十六歳未滿ノ男女ノ淫行ヲ媒合スルノ所爲ヲ云フ(第三百四十八條乃至第三百五十三條)以下姦淫ノ罪ニ關シテ注意スヘキ要點ヲ示スヘシ

(第一)幼者ヲ姦淫スル罪及強姦ノ罪ノ主体ハ必ズ男子ニ限ルモノトス我刑法ハ婦女ヨリ十二歳未滿ノ男子ニ對スル姦淫罪ヲ認メサルカ如シ又姦通罪ノ主体ハ有夫ノ婦及其姦淫ヲ爲シタル對手ノ男子タルヘシ淫行勸誘ノ罪ハ男ナルト女ナルトヲ問ハス何人ト雖モ之ヲ犯スヲ得ヘシ而シテ男ヨリ男ニ對シ又ハ女ヨリ女ニ對シテ強姦ノ罪ヲ犯スコトヲ得サレトモ縱令女子タルモ其共犯トナルコトヲ妨ケス例ヘハ甲ナル女アリ乙ナル男子ニ勸ムルニ丙女ト強姦スヘキコトヲ以テシ乙ニ共力シテ丙女ノ手足ヲ捕ヘ以テ姦淫ヲ遂ケシメタルカ如キ場合ニ於テハ甲ナル婦女ハ乙ノ共犯ナルコト明カナリ

(第二)姦通罪ニ於テハ被害者ハ夫タルモノナルヘク強姦及幼女姦淫罪ノ被害者ハ



必ス女子ヲラサルヲ得ス然レトモ十二歳未滿ノ女子ヲ除キ被害者ニシテ最初ヨリ任意ノ承諾ヲ爲シタル場合ニ於テハ全ク犯罪ヲ構成セサルナリ或學者ハ娼妓其他賣淫者ニ對シテハ強姦罪ノ成立スルコトナシト論斷スレトモ斯ノ如キ説ハ誤謬ノ甚シキモノト云ハサルヲ得ス何トナレハ娼妓及其他ノ賣淫者ト夫婦トハ大ニ其關係ヲ異ニスルモノニシテ夫婦ノ間ニハ敢テ一事件ニ限ラス常ニ任意ノ承諾アルモノト推測シ苟モ離婚スルニアラサレハ此承諾ヲ取消スコトヲ得スト雖モ娼妓及其他ノ賣淫者ハ一事件毎ニ承諾ヲ與フルモノナレハ何時ニテモ其思フ儘ニ之ヲ取消スコトヲ得ヘシ既ニ此承諾ヲ取消シタル以上ハ強姦罪ノ構成ヲ妨クヘキ條件ノ存スルナキヲ以テ右學者ノ説ハ其當ヲ得タルモノニアラサルナリ

(第三)強姦罪ハ必ス暴行脅迫ノ手段アルコトヲ要ス然レトモ其他藥酒等ヲ用ヒ人ヲ昏睡セシメ又ハ精神ヲ錯亂セシメテ姦淫シタルモノモ亦強姦ヲ以テ論セラルヘシ又婦女ノ熟睡スルニ乘シ之ヲ姦淫シタルモノハ強姦ヲ以テ論スルノ國ナキニアラスト雖モ我刑法ニ於テハ右ニ掲ケタル手段ヲ以テセサルモノハ強姦ヲ以

テ論スルヲ得サルカ故ニ右ノ場合ハ此罪ヲ構成スルコトナシ

(第四)交媾トハ男子ノ生殖器ニ依リテ肉体ノ知覺ヲ感スヘキ陰貝ニ多少ノ没入ヲ爲シタル所爲ヲ云フモノニシテ必スシモ注射アルコトヲ要セス古代ノ法律ニ依レハ注射ヲ以テ此罪ヲ構成スル要素トセリ蓋古代ニ在テハ強姦ヲ以テ血統ヲ紊亂スルモノトシタレハナリ又現行法ニ於テ此没入ヲ要スルノ一事ヲ以テ之ヲ身体ニ對スル罪トスルコトアルヘカラス唯之ヲ婦女ノ節操ヲ破ルノ一手段ト見做スヘキモノニ過キサルナリ去レトモ姦淫罪ノ既遂及未遂ヲ區別スルニ就テハ專ラ没入ノ有無ニ依ルモノトス

(第五)姦淫罪ヲ構成センニハ單ニ故意アルヲ以テ足レリトシ亦惡意ノ有無ヲ問フヲ要セサルナリ學者往々此罪ニ就テハ特ニ惡意アルヲ必要トスルモノナキニアラサレトモ恐クハ是故意ノ何モノタルヲ了解セサルニ依ルナラム

(第六)十二歳ニ滿サル幼女ヲ姦淫スルノ罪及十二歳以上ノ婦女ヲ強姦スルノ罪ハ輕懲役ニ處シ十二歳ニ滿マサル幼女ニ對スル強姦罪ハ重懲役ニ處シ姦通ノ罪ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ十六歳ニ滿サル男女ノ淫行ヲ勸誘シテ媒合ス



ルノ罪ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但シ淫行勸誘ノ罪及公然ノ猥褻罪ヲ構成スル場合ノ外強姦及其他ノ姦淫罪ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論スト雖モ因テ人ヲ死傷ニ致シタルトキハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷シ強姦ニ因テ癩篤疾ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ處ス又姦通ノ罪ハ本夫ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス(第三百五十條乃至第三百五十三條)

### 重婚ノ罪

重婚ノ罪トハ配偶者アルモノ重テ婚姻ヲ爲スノ所爲ヲ云フ茲ヲ以テ男タリ女タルヲ問ハス配偶者アル者ニアラサレハ此犯罪ノ主体タルコトヲ得サルナリ而シテ我刑法ニ於テハ知リツ、配偶者アル者ト婚シタル未婚者ヲ罰スルコトナシ茲ニ注意スヘキハ男女共既ニ配偶者アル者重テ婚姻ヲ爲ストキハ必ス姦通ノ罪ヲ構成スルヤ否ヤノ疑問是ナリ凡ソ斯ノ如キ場合ニ於テハ姦通罪ノ成立スルコトアリ或ハ否ラサルコトアレハ一ニ其場合ノ情況ニ依リ之ヲ判定セサルヘカラス何トナレハ重婚罪ナルモノハ敢テ姦淫ノ事實アルヲ要セサルカ故ニ縱令配偶

者アル者相婚スルアルモ苟シモ同衾セサル以上ハ未タ姦通罪ヲ構成スルニ至ラサレハナリ但此場合ニ於テ重婚罪ノ成立スルハ勿論トス又此罪ニ關シ國際私法上ノ疑問タルヘキモノハ重婚ヲ許ス所ノ邦國即チ一夫數婦又ハ一婦數夫ヲ認ムル諸國ニ於テ既ニ結婚シタル内外人カ本邦ニ來リテ重テ婚姻ヲ爲シタルトキハ我刑法ニ依テ之ヲ處斷スルコトヲ得ルヤ否ヤノ點是ナリプツヘル氏及其他一二ノ學者ハ消極論ヲ主張シ或學者ハ積極論ヲ主張スレトモ凡ソ身分ノ事ハ概ネ其本管法ニ從フヲ以テ國際私法ノ原則トナスカ故ニ予ハプツヘル氏ノ説ニ左袒セント欲ス前ニ述ヘタル如ク重婚ノ罪ハ敢テ姦淫ノ所爲アルヲ要セス唯前後ノ結婚共ニ公認セラル、カ又ハ法律上ノ儀式手續ヲ盡スニ依テ成立スルモノナリ辭ヲ換ヘテ之ヲ言ハ、第一ノ婚姻ヲ取消サ、ル内ニ第二ノ結婚ヲ爲スノ所爲タルニ過キサルヲ以テ縱令第一ノ婚姻ハ實際無効ナルコトアルモ相當ノ手續ニ依テ其婚姻ヲ取消サ、ル以上ハ此犯罪ヲ構成スルニ充分ナルヘシ或學者ハ反對ノ説ヲ主張シ第一ノ婚姻ニシテ無効ナル以上ハ第二ノ婚姻ハ有効ニシテ重婚ノ罪ヲ構成スルコ